

## 2022年4月～2023年3月 愛媛大学農学部研究業績目録

- A : 著書
  - B : 学術論文
    - B1 : 総説
    - B2 : 査読ありの原著論文, 短報・速報論文及び Proceedings
    - B3 : 査読なしの原著論文, 短報・速報論文及び Proceedings
  - C : 学術講演
  - D : その他 (参考業績)
- (\*印付き著者は当該教育分野所属を表す)

### 食料生産学科

(Department of Agrobiological Science)

#### 農業生産学専門教育コース (Department of Agrobiological Science)

##### 作物学教育分野 (Laboratory of Crop Science)

- A-1 荒木卓哉\*. III. 収量関連形質と増収ポイント. ハトムギ高度利用マニュアル～品種・栽培・利用～. イノベ事業はとむぎコンソーシアム. 31-34. 2023年2月.
- B2-1 Kamiya K, Ogasahara M, Kenzo T, Muramoto Y, Araki T\*, Ichie T. Genetic diversity and structure of *Quercus hondae*, a rare evergreen oak species in Southwestern Japan. *Forests*. 13: 579. 2022.
- B2-2 Nakata K, Hatakeyama Y\*, Erra-Balsells R, Nonami H, Wada H. Dynamics and stabilization mechanism of mitochondrial cristae morphofunction associated with turgor-driven cardiolipin biosynthesis under salt stress conditions. *Scientific Reports*. 12: 9727. 2022.
- C-1 原口晃輔\*・松井菜奈\*・畠山友翔\*・荒木卓哉\*. 光学顕微鏡を用いたハダカムギの硝子質胚乳形成に関する定量解析. 日本作物学会第254回講演会. 日本作物学会第254回講演会要旨集29. 福島. 2022年9月20日.
- C-2 松井菜奈\*・原口晃輔\*・畠山友翔\*・荒木卓哉\*. 遅播きしたハダカムギ「ハルヒメボシ」の分けつの構成に着目した乾物生産および収量構成要因の解析. 日本作物学会第254回講演会. 日本作物学会第254回講演会要旨集29. 福島. 2022年9月20日.
- C-3 飯田裕人\*・小南司\*・畠山友翔\*・荒木卓哉\*. 開花期高温によるイネ不稔発生の品種間差異. 日本作物学会四国支部第59回講演会. 日作紀四国支報. 59: 4-5. 南国. 2022年11月24日.
- C-4 原口晃輔\*・松井菜奈\*・寺本堯生\*・岡田健汰\*・畠山友翔\*・荒木卓哉\*. ハダカムギ子実の浸水処理が硝子率に及ぼす影響. 日本作物学会四国支部第59回講演会. 日作紀四国支報. 59: 48-49. 南国. 2022年11月25日.
- C-5 寺本堯生\*・原口晃輔\*・松井菜奈\*・岡田健汰\*・畠山友翔\*・荒木卓哉\*. 茎数制限がハダカムギ品種「ハルヒメボシ」の硝子率に及ぼす影響. 日本作物学会四国支部第59回講演会. 日作紀四国支報. 59: 50-51. 南国. 2022年11月25日.
- C-6 畠山友翔\*. 酸化グラフェンの農業応用を目指したイネ栽培試験. 第18回酸化グラフェンナノシートシンポジウム. 岡山. 2022年11月25日.
- C-7 小南司\*・飯田裕人\*・畠山友翔\*・水口聡・荒木卓哉\*. イネ低易消化タンパク質品種「媛育83号」における窒素追肥時期の違いが収量および玄米の易消化ならびに難消化タンパク質含有率に及ぼす影響. 日本作物学会第255回講演会. 日本作物学会第255回講演会要旨集9. 府中. 2023年3月29日.
- C-8 畠山友翔\*・畠山一翔・小南司\*・荒木卓哉\*. 次世代2次元材料「酸化グラフェン」の稲作への応用

は可能か？日本作物学会第 255 回講演会. 日本作物学会第 255 回講演会要旨集 10. 府中. 2023 年 3 月 29 日.

- C-9 原口晃輔\*・松井菜奈\*・畠山友翔\*・荒木卓哉\*. 光学顕微鏡を用いたハダカムギの硝子質胚乳形成に関する定量解析. 日本作物学会第 255 回講演会. 日本作物学会第 255 回講演会要旨集 72. 府中. 2023 年 3 月 29 日.
- D-1 荒木卓哉\*. 光合成産物の転流の基礎知識. 愛媛大学植物工場研究センター2022 年度人材育成プログラム. A コース【発展偏】HA-1 植物生体情報活用のための植物生理生態. オンライン. 2022 年 9 月 15 日.
- D-2 荒木卓哉\*. ハダカムギ開発研究センターの取り組み. 裸麦が創る食と農の未来フォーラム 2022～裸麦の可能性を探る～. オンライン. 2022 年 12 月 10 日.
- D-3 荒木卓哉\*. 愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センターの取り組みとはだか麦を使った商品開発. 機能性表示促進セミナー. オンライン. 2023 年 3 月 22 日.
- D-4 荒木卓哉\*. 「本学会のパラダイムと学術用語」(第十一回) これからの転流解析. 植物環境工学 34 : 171-174. 2022 年.

#### 果樹学教育分野 (Laboratory of Pomology)

- D-1 山田寿\*. リン酸化合物によるウンシュウミカンの落果や落葉誘導によけるエチレンの役割. 情報の四季. 151 : 2-7. 2022 年 4 月.
- D-2 山田寿\*. マタタビ属植物内でのシマサルナシの相対的耐湿性評価. 情報の四季. 152 : 2-7. 2022 年 7 月.
- D-3 山田寿\*. シマサルナシ台キウイフルーツの相対的耐湿性評価. 情報の四季. 153 : 2-8. 2022 年 10 月.

#### 蔬菜花卉学教育分野 (Laboratory of Vegetable and Flower Science)

- C-1 佐伯駿\*・大橋広明\*. 灌水条件・食塩水処理がツルナの生育に及ぼす影響. 国際植物増殖者会議日本支部第 27 回岐阜大会. 国際植物増殖者会議日本支部第 27 回岐阜大会 講演要旨集 20-21. 岐阜市. 2022 年 10 月.
- D-1 大橋広明\*. 「佐田岬しあわせプロジェクト」への発展を目的とした教育研究活動— 集客を目的とした自生植物の栽培・活用 —. 令和 3 年度 伊方町地域調査研究等事業 事業報告書. 2022 年 4 月.

#### 畜産学教育分野 (Laboratory of Animal Production)

- B1-1 Tachibana T\*, Cline MA. Biomolecules triggering altered food intake during pathogenic challenge in chicks. *Journal of Poultry Science*. 60(2): 1-12. 2023.
- B2-1 Takahashi M\*, Sengan A\*, Khan S, Makino R\*, Cline MA, Tachibana T\*. Effect of sodium nitroprusside on feeding behavior, voluntary activity, and cloacal temperature in chicks. *Physiology and Behavior*. 251: 113805. 2022.
- B2-2 Tachibana T\*, Takahashi M\*, Khan MSI, Makino R\*, Cline MA. Poly I:C and R848 facilitate nitric oxide production via inducible nitric oxide synthase in chicks. *Comparative Biochemistry and Physiology Part A*. 269:111211. 2022.
- B2-3 Tachibana T\*, Nakatani A\*, Khan S, Makino R\*, Cline MA. Effect of lithium chloride on food intake, cloacal temperature, voluntary activity, and crop-emptying rate in chicks. *Comparative Biochemistry and Physiology Part A*. 273:111284. 2022.
- B2-4 Tachibana T\*, Asaka T\*, Khan S, Makino R\*, Cline MA. Effect of ornithokinin on feeding behavior, cloacal temperature, voluntary activity and crop emptying rate in chicks. *General and Comparative Endocrinology*. 328:114101. 2022.
- C-1 橘哲也\*. ニワトリヒナにおける神経ペプチドによる摂食調節機構の解明. 日本アミノ酸学会第 9 回

夏のシンポジウム. 愛媛県松山市道後温泉大和屋本店. 2022年8月27日. 招待講演.

- C-2 高橋真紀\*・牧野良輔\*・シャキル カーン・橘哲也\*. ザイモサンは延髄のニューロペプチド Y 遺伝子の発現を誘導する. 日本家禽学会 2022 年度秋季大会. 東京農業大学. オンライン. 2022 年 9 月 17 日.
- C-3 高橋真紀\*・牧野良輔\*・シャキル カーン・橘哲也\*. ザイモサンとガラクトサミンはニワトリヒナの肝損傷に影響を与えない. 日本畜産学会第 130 回大会. 東京農業大学. オンライン. 2022 年 9 月 16 日 (14 日~17 日).
- C-4 竹本世識\*・橘哲也\*・牧野良輔\*. 落下麦麴添加飼料がブロイラーの成長成績および腸内細菌叢に与える影響. 第 72 回関西畜産学会岡山大会. 岡山大学. 2022 年 10 月 15 日~16 日.
- C-5 大根千聖\*・牧野良輔\*・橘哲也\*. 血小板活性化因子がニワトリヒナの行動と生理反応に与える影響. 第 72 回関西畜産学会岡山大会. 岡山大学. 2022 年 10 月 15 日~16 日.
- C-6 石田知久\*・牧野良輔\*・橘哲也\*. LPS はニワトリヒナの神経型一酸化窒素合成酵素の遺伝子発現量を低下させる. 第 72 回関西畜産学会岡山大会. 岡山大学. 2022 年 10 月 15 日~16 日.
- C-7 上田尚\*・牧野良輔\*・橘哲也\*. 低タンパク質飼料へのメトホルミン添加がブロイラーの生産性に与える影響. 第 72 回関西畜産学会岡山大会. 岡山大学. 2022 年 10 月 15 日~16 日.
- C-8 沖野芽衣子\*・橘哲也\*・牧野良輔\*. ジカルボニル化合物がニワトリ筋芽細胞の細胞生存能に与える影響. 第 72 回関西畜産学会岡山大会. 岡山大学. 2022 年 10 月 15 日~16 日.
- C-9 橘哲也\*・奥山裕文\*・高橋真紀\*・牧野良輔\*・シャキル カーン. 感染時のニワトリヒナにおけるコルチコステロンの役割. 日本家禽学会 2023 年度春季大会. オンライン. 2023 年 3 月 29 日.

#### 植物病学教育分野 (Laboratory of Plant Pathology)

- B2-1 Koide H\*, Hisano H, Yaeno T\*. CRISPR/Cas9-based generation of *mlo* mutants for allelic complementation experiments to elucidate MLO function in barley. *Journal of General Plant Pathology*. 89:153-158. 2023. DOI: 10.1007/s10327-023-01120-w.
- C-1 八丈野孝\*・小出陽菜\*・和根崎洸\*・片山貴博\*・井上智絵\*・香口智宏\*・小林括平・西内巧・中神弘史・山岡直人\*. 宿主ペルオキシソーム局在型オオムギうどんこ病菌エフェクターAPEC1 の解析. 日本植物学会. 京都. 2022 年 9 月.
- C-2 小出陽菜\*・片山貴博\*・井上智絵\*・香口智宏\*・小林括平・山岡直人\*・西内巧・中神弘史・八丈野孝\*. オオムギうどんこ病菌エフェクターAPEC1 の標的タンパク質であるグリコール酸オキシダーゼの機能解析. 日本植物学会. 京都. 2022 年 9 月.
- C-3 在間玄香\*・井上博\*・久野裕・松島良・小林括平・山岡直人\*・中神弘史・八丈野孝\*. オオムギうどんこ病菌侵入細胞におけるプラスチド崩壊メカニズムの解析. 日本植物学会. 京都. 2022 年 9 月.
- C-4 岡久真也\*・小川翔也\*・清水茜\*・小林括平・吉田健太郎・八丈野孝\*. レーザー熱膨張式マイクロインジェクション技術を利用した HR 細胞死のシングルセル解析. 日本植物病理学会関西支部会. 高知. 2022 年 9 月.
- C-5 小出陽菜\*・和根崎洸\*・片山貴博\*・井上智絵\*・香口智宏\*・小林括平・西内巧・中神弘史・八丈野孝\*. オオムギうどんこ病菌エフェクターAPEC1 のペルオキシソーム局在性と病原性機能. 日本植物病理学会関西支部会. 高知. 2022 年 9 月.
- C-6 福井奈緒\*・小林括平・八丈野孝\*. エンドウうどんこ病菌に寄生する菌寄生菌 *Simplicillium* sp. の解析. 日本植物病理学会関西支部会. 高知. 2022 年 9 月.
- C-7 在間玄香\*・井上博\*・久野裕・松島良・小林括平・山岡直人\*・中神弘史・八丈野孝\*. オオムギうどんこ病菌侵入細胞内のデンブシ可視化によるプラスチド崩壊の動態解析. 日本植物病理学会関西支部会. 高知. 2022 年 9 月.
- C-8 福井奈緒\*・小林括平・八丈野孝\*. オオムギうどんこ病菌に寄生する菌寄生菌の解析. ムギ類研究会. つくば. 2022 年 12 月.
- C-9 小出陽菜\*・片山貴博\*・井上智絵\*・香口智宏\*・小林括平・山岡直人\*・西内巧・中神弘史・八丈野

孝\*. オオムギうどんこ病菌エフェクター候補 APEC1 の局在性と宿主標的候補. つくば. 2022 年 12 月.

#### 環境昆虫学教育分野 (Laboratory of Entomology)

- A-1 吉富博之\*. ナガヒラタムシ科 (p. 1)・チビナガヒラタムシ科 (p. 1)・ミズスマシ科 (p. 2-4)・コガシラミズムシ科 (p. 4-5)・コツブゲンゴロウ科 (p. 6-7)・ツブミズムシ科 (p. 28)・ケシマルムシ科 (p. 28)・ニセマルハナノミ科 (p. 29)・マルハナノミ科 (p. 29-35)・タマキノコムシモドキ (p. 36-37)・マルハナノミダマシ科 (p. 37)・マキムシモドキ科 (p. 38)・ヒメトゲムシ科 (p. 39)・ホソガムシ科 (p. 40)・マルドロムシ科 (p. 40-41)・セスジガムシ科 (p. 41)・オニガムシ科 (p. 42)・マルトゲムシ科 (p. 78-82)・ナガハナノミ科 (p. 83-85)・ダエンマルトゲムシ科 (p. 86)・ヒラタドロムシ科 (p. 86-88)・ヒメドロムシ科 (p. 89-94)・ドロムシ科 (p. 95)・チビドロムシ科 (p. 95-97)・ナガドロムシ科 (p. 97)・ホソクシヒゲムシ科 (p. 98). 日本昆虫目録編集委員会 (編) 日本昆虫目録第 6 巻鞘翅目第 1 部, 131pp. 権歌書房. 福岡市. 2022.
- A-2 渡部晃平・吉富博之\*. ゲンゴロウ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編) 日本昆虫目録第 6 巻鞘翅目第 1 部. 8-27. 権歌書房. 福岡市. 2022.
- A-3 蓑島悠介・保科英人・吉富博之\*. ガムシ科. 日本昆虫目録編集委員会 (編) 日本昆虫目録第 6 巻鞘翅目第 1 部. 42-58. 権歌書房. 福岡市. 2022.
- A-4 田中宏卓\*. Twitter で出会えた憧れの存在. 馬場友希・福田宏 (編) 新種発見一見つけて, 調べて, 名づける方法-. 180-187. 山と溪谷社. 東京. 2022.
- B2-1 Ruta R, Yoshitomi H\*. *Calvariomorphus* - a new genus of marsh beetles (Coleoptera: Scirtidae) with remarkable elytral excitators. *Zootaxa*. 5120: 65-82. 2022.
- B2-2 Yasuda K\*, Yoshitomi H\*. Revision of the genus *Georissus* (Coleoptera, Hydrophiloidea, Georissidae) of Japan. *European Journal of Taxonomy*. 817: 111-142. 2022.
- B2-3 Li YD, Hsiao Y, Yoshitomi H\*, Huang DY, Cai CY. *Homalenchodes*, a new genus of Serropalpini from mid-Cretaceous amber of northern Myanmar (Coleoptera: Tenebrionoidea: Melandryidae). *Palaeoentomology*. 5: 246-253. 2022.
- B2-4 Yoshitomi H\*. Revision of the genus *Trogocryptoides* (Coleoptera, Salpingidae) of Japan and Taiwan. *Japanese Journal of systematic Entomology*. 28: 79-84. 2022.
- B2-5 Iwata T, Hayashi M, Yoshitomi H\*. Revision of the genus *Zaitzevia* (Coleoptera: Elmidae) of Japan. *Japanese Journal of systematic Entomology*. 28: 116-141. 2022.
- B2-6 Liu HC, Ma CH, Yoshitomi H\*. First report of the family Scirtidae (Insecta: Coleoptera) from Kinmen Island and Lanyu Island, Taiwan. *Taiwanese Journal of Entomological Studies*. 7: 43-45. 2022.
- B2-7 Konishi K\*, Chen HP, Pham NT. A taxonomic review of the genus *Netelia*, subgenus *Monomacrodon* (Hymenoptera: Ichneumonidae: Tryphoninae), with description of a new species. *Raffles Bulletin of Zoology*. 70: 376-384. 2022.
- B2-8 Shiiba R\*. The endophallic structures of *Pterostichus miyamai* Kasahara & Y. Ito, 1987 (Coleoptera: Carabidae), with new distributional records. *Japanese Journal of systematic Entomology*. 28: 342-345. 2022.
- B2-9 Kawano T, Higashiura Y, Tanaka H\*. *Cephaleta bruniventris* Motschulsky new to Japan with special remarks to the distribution of *Moranila californica* (Howard) in the Ryukyus (Hymenoptera: Pteromalidae: Eunotinae). *Japanese Journal of systematic Entomology*. 28: 26-29. 2022.
- B2-10 Shimoji H, Suwabe M, Kikuchi T, Ohnishi H, Tanaka H\*, Kawara K, Hidaka Y, Enoki T, Tsuji K. Resilience of native ant community against invasion of exotic ants after anthropogenic disturbances of forest habitats. *Ecology and Evolution*. 12: e9073. 2022.
- B2-11 Tanaka H\*, Sasaki D, Choi J, Husnik F, Kamitani S. Two new species of mealybugs (Hemiptera: Coccoomorpha: Pseudococcidae) from Japan. *Zootaxa*. 5168: 306-318. 2022.

- B2-12 Tanaka H\*. A taxonomic study of three mealybug species (Hemiptera: Coccoomorpha: Pseudococcidae) infesting dwarf bamboo in Japan, with description of a new species. *Zootaxa*. 5178: 334-346. 2022.
- B2-13 田中宏卓\*. 日本本土域に分布するクチナシカタカイガラムシ (マンゴーカタカイガラムシ) *Milviscutulus mangiferae* (Green, 1889) (カメムシ目: カイガラムシ下目: カタカイガラムシ科) の形態及び分布について. 初宿成彦さん退職記念論文集. 215-223. 2022.
- B2-14 Tanaka H\*, Kamitani S. Review of the genus *Crisicoccus* Ferris (Hemiptera: Coccoomorpha: Pseudococcidae) in Japan with description of a new species, and the identity of a South Korean mealybug misidentified as *Crisicoccus matsumotoi* (Shiraiwa 1935). *Zootaxa*. 5209: 555-572. 2022.
- B2-15 Maruyama M, Ando K\*. Review of the genera *Rondoniella* Kaszab, 1970 and *Durandius* Kaszab, 1970 (Coleoptera: Tenebrionidae), with description of *R. hosoishii* sp. nov. from an ant nest in Cambodia. *Zootaxa*. 5209: 293-300. 2022.
- B2-16 Ando K\*, Yamashita S, Meleng P, Itioka T. Tenebrionidae (Coleoptera) collected from fruiting bodies of polypores in Sarawak, Malaysia. *Contribution from the Biological Laboratory, Kyoto University*. 31: 159-210. 2022.
- B2-17 Ando K\*, Meleng P, Yamashita S, Itioka T. Two new species of the genus *Lycidioides* (Coleoptera, Tenebrionidae, Stenochiine) from Sarawak, Borneo. *Elytra*, Tokyo, (n. ser.). 12: 177-183. 12 figs. 2022.
- B2-18 Itioka T, Iku A, Kitora H, Tokumoto Y, Kishimoto-Yamada K, Shimizu-kaya U, Meleng P, Ando K\*. A new record of *Enaceratos inexpectus* (Coleoptera, Tenebrionidae) visiting on flowers. *Elytra*, Tokyo, (n. ser.). 12: 184. 2022.
- B2-19 Ando K\*, Meleng P, Yamashita S, Itioka T. A new species of the genus *Sakaiomenimus* (Coleoptera, Tenebrionidae, Gnathidiini) from Sarawak, Malaysia, with an additional record of the genus *Menimus*. *Elytra*, Tokyo, (n. ser.). 12: 187-190. 2022.
- B2-20 Yata N, Yoshitomi H\*, Arita Y. Discovery of *Tinthia cuprealis* (Moore, 1877) (Lepidoptera, Sesiidae) in Shikoku, Japan. *Tinea*. 26: 392-399. 2023.
- B2-21 Yoshitomi H\*. Myrmecophily of *Horniolus fortunatus* (Coleoptera: Coccinellidae). *Entomological Science*. 26: e12543. 2023.
- B2-22 Tanaka H\*, Kamitani S. Two new species of Eriococcidae (Hemiptera: Coccoomorpha) in Japan. *Zootaxa*. 5244: 387-395. 2023.
- B2-23 Maruyama M, Sasitorn H, Ando K\*. A description of the second species of the genus *Platybolium* Blair (Coleoptera: Tenebrionidae) collected from a nest of *Pheidole singaporensis* Özdikmen (Hymenoptera: Formicidae) in Thailand. *Zootaxa*. 5256: 289-294. 2023.
- B2-24 Kamimura Y, Lee CY, Yamasako J, Nishikawa M\*. Identification and reproductive isolation of *Euborellia* species (Insecta, Dermaptera, Anisolabididae) from East and Southeast Asia. *ZooKeys*. 1146: 115-134. 2023.
- C-1 小西和彦\*・阿部芳郎・佐々木由香・宮浦舞衣・小畑弘己. A102 縄文時代の貝塚から発見されたハチの巣. 日本昆虫学会第 82 回大会. 信州大学松本キャンパス. 2022 年 9 月 3 日.
- C-2 大松勇司\*・小西和彦\*. B301. 北日本と西南日本におけるヒメバチ科の季節消長調査. 日本昆虫学会第 82 回大会. 信州大学松本キャンパス. 2022 年 9 月 5 日.
- C-3 大松勇司\*. W1C1. 日本産ヒメバチ科キバラアメバチ亜科の分類. 日本昆虫学会第 82 回大会. 信州大学松本キャンパス. 2022 年 9 月 3 日.
- C-4 小西和彦\*. 寄生バチの多様な世界. 第 67 回四国植物防疫研究協議会大会. 松山市にぎたつ会館. 2022 年 11 月 16 日.
- C-5 椎葉瞭太\*. O-01. シコクヒラタナガゴミムシ *Pterostichus miyamai* の新分布記. 日本甲虫学会 2022 年度大会 (日本昆虫分類学会共催). オンライン. 2022 年 12 月 10-11 日.
- C-6 吉富博之\*. O-11. 好蟻性テントウムシの日本からの発見. 日本甲虫学会 2022 年度大会 (日本昆虫分類学会共催). オンライン. 2022 年 12 月 10-11 日.

- C-7 椎葉瞭太\*. W-01. ゴミムシ分科会：ヒョウゴナガゴミムシ種群に関する知見及びアマミナガゴミムシの現状について. 日本甲虫学会 2022 年度大会 (日本昆虫分類学会共催). オンライン. 2022 年 12 月 10-11 日.
- C-8 山下聡・安藤清志\*・Paulus Meleng・市岡孝朗. 東南アジア熱帯多雨林で採集された枯死木依存性ゴミムシダマシ科甲虫. 第 134 回日本森林学会大会. 2023 年 3 月.
- D-1 椎葉瞭太\*. ヤスデを捕食するキバナガゴミムシ. さやばねニューシリーズ. 46 : 12-15. 2022.
- D-2 野村周平・吉富博之\*. 愛媛県石鎚山山頂の水たまりで採集されたアリヅカムシ 2 種. さやばねニューシリーズ. 46 : 49-50. 2022.
- D-3 吉富博之\*. フィールドノートをつけよう. さやばねニューシリーズ. 46 : 59-62. 2022.
- D-4 小西和彦\*・阿部芳郎・佐々木由香・宮浦舞衣・小畑弘己. 縄文時代の貝塚からはじめて発見されたドロジガバチ類の巣. 昆虫 (ニューシリーズ). 25 : 117-120. 2022.
- D-5 吉富博之\*・安田昂平. ヒラタトガリカメムシ (カメムシ目, カメムシ科) の四国からの記録. 昆虫 (ニューシリーズ). 25 : 124-125. 2022.
- D-6 加藤智哉・山下知聡・重信雄哉・越智恒夫・吉富博之\*. ミカド TENTU の愛媛県における越冬時期の生態および食性. さやばねニューシリーズ. 47 : 1-5. 2022.
- D-7 池田大・吉富博之\*・明尾亮佑\*. 愛媛県におけるオオセンチコガネとクロボシヒラタシテムシの低標高地での採集例. さやばねニューシリーズ. 47 : 59-60. 2022.
- D-8 安藤清志\*. 大澤省三先生を偲んで. さやばねニューシリーズ. 47 : 63-64. 2022.
- D-9 吉富博之\*. 四国のニホンアミカモドキ. 月刊むし. 621 : 59-60. 2022.
- D-10 吉富博之\*. イソヒヨドリがアブラムシを捕食. Niche Life. 10 : 36. 2022.
- D-11 東尚登\*・吉富博之\*. 徳島県でヒラタトガリカメムシを確認. Niche Life. 10 : 32. 2022.
- D-12 吉富博之\*. ヒノキアブラムシのその後. Rostria. 67 : 121-122. 2022.
- D-13 吉富博之\*・林成多. 日本から最近に記録されたアブラムシ 3 種の追加記録. Rostria. 67 : 123-125. 2022.
- D-14 吉富博之\*・兵頭謙志・兵頭康介・武智礼央・大松勇司\*. 愛媛県に侵入したムネアカハラビロカマキリ. 月刊むし. 624 : 18-20. 2023.
- D-15 吉富博之\*. 図鑑で新種を記載すべきではない. 月刊むし. 626 : 36-38. 2023.
- D-16 吉富博之\*. ニシクロジョウカイを島根県本土で採集. さやばねニューシリーズ. 49 : 55-56. 2023.
- D-17 椎葉瞭太\*. オオヨツボシゴミムシ. ジュニアえひめ新聞 448 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 4 月 10 日付け.
- D-18 大松勇司\*. キアシオナガトガリヒメバチ. ジュニアえひめ新聞 452 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 5 月 8 日付け.
- D-19 明尾亮佑\*. ナガヒラタムシ. ジュニアえひめ新聞 457 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 6 月 12 日付け.
- D-20 長谷川杏乃\*. オオスカシバ. ジュニアえひめ新聞 461 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 7 月 10 日付け.
- D-21 木本大貴\*. オオシロカミキリ. ジュニアえひめ新聞 466 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 8 月 14 日付け.
- D-22 魚住暢\*. アオバセセリ. ジュニアえひめ新聞 470 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 9 月 11 日付け.
- D-23 伊佐南輝\*. ハマヒョウタンゴミムシダマシ. ジュニアえひめ新聞 474 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 10 月 9 日付け.
- D-24 藤元遙哉\*. マイマイカブリ. ジュニアえひめ新聞 479 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 11 月 13 日付け.
- D-25 小西和彦\*. ナモグリバエ. ジュニアえひめ新聞 483 号. 5p. 愛媛新聞社. 2022 年 12 月 11 日付け.
- D-26 大松勇司\*. ナミキバラアメバチ. ジュニアえひめ新聞 487 号. 5p. 愛媛新聞社. 2023 年 1 月 15 日付け.
- D-27 椎葉瞭太\*. キバナガゴミムシ. ジュニアえひめ新聞 491 号. 5p. 愛媛新聞社. 2023 年 2 月 12 日付け.
- D-28 吉富博之\*. ホソフタホシメダカハネカクシ. ジュニアえひめ新聞 495 号. 5p. 愛媛新聞社. 2023 年

3月12日付け.

### 分子生物資源学教育分野 (Laboratory of Plant Molecular Biology and Virology)

- A-1 根岸克弥・遠藤真咲・賀屋秀隆\*. 4章 CRISPR/Cas9 ベクター構築法. 植物のゲノム編集実験プロトコール. 原奈穂・雑賀啓明・土岐精一編集. p33-44. 化学同人. 2022年12月25日出版.
- A-2 賀屋秀隆\*. 7章シロイヌナズナの標的変異. 植物のゲノム編集実験プロトコール. 原奈穂・雑賀啓明・土岐精一編集. p63-71. 化学同人. 2022年12月25日出版.
- A-3 Kimura S, Kaya H\*, Hashimoto K, Wrzaczek M, Kuchitsu K. Quantitative analysis for ROS-producing activity and regulation of plant NADPH oxidases in HEK293T cells. *Methods in Molecular Biology Reactive Oxygen Species in Plants*. pp 107-122. 2022.
- B2-1 中村遙花・中岡佳奈子\*・大野奈津美\*・賀屋秀隆\*. 花卉特異的プロモーターを用いたペチュニア・トレニア・トルコギキョウ由来の Flavonoid 3',5'-hydroxylase 遺伝子の異所的発現による青色花卉タバコ作製の試み. 愛媛大学農学部紀要. 67:27-33. 2022.
- C-1 Unung OO\*, Mori I, Goda H\*, Fujita Y\*, Kaya H\*, Kobayashi, K\*. Rapid activation of salicylic acid and systemic acquired resistance pathways by induced knock-down of HSP90C. 令和4年度日本植物病理学会関西支部会. 高知市. 2022年9月.
- C-2 平田峻也\*・大河優奈\*・池田陽子・高橋広夫・町田千代子・西村泰介・小林括平\*・賀屋秀隆\*. シロイヌナズナにおける DNA 脱メチル化編集技術開発の試み. 第39回日本植物バイオテクノロジー学会. 堺. 2022年9月.
- C-3 大野奈津美\*・山本真結香\*・吉田晟人\*・根岸克弥・遠藤真咲・小林括平\*・土岐精一・阿部光知・賀屋秀隆\*. シロイヌナズナ FT 遺伝子の ATG から約 5 kb 上流にある cis-element での 1 塩基挿入が花成に及ぼす影響について. 第86回日本植物学会. 京都. 2022年9月.
- C-4 平田峻也\*・大河優奈\*・池田陽子・西村泰介・小林括平\*・賀屋秀隆\*. シロイヌナズナにおける de novo DNA メチル化技術の開発. 第64回日本植物生理学会. 仙台. 2023年3月.
- D-1 小林括平\*. 分子カンキツ科学リサーチ・ユニットの活動総括. カンキツシンポジウム 2022 カンキツの品種改良の現状と分子育種の展望. 愛媛大学農学部. 2023年9月15日.
- D-2 賀屋秀隆\*. ゲノム編集の基礎とカンキツへの応用を目指して. カンキツシンポジウム 2022 カンキツの品種改良の現状と分子育種の展望. 愛媛大学農学部. 2023年9月15日.

### 土壌肥料学教育分野 (Laboratory of Soil Science and Plant Nutrition)

- B2-1 当真要・安黒守敬・森昭憲・金子真・秋山雄希・花木紅実\*・上野秀人\*・倉持寛太・波多野隆介. ドローン空撮画像と物体認識深層学習モデルによる放牧地の糞検出の試み. 日本草地学会誌. 68:164-166. 2023. doi.org/10.14941/grass.68.164.
- C-1 Ueno H\*. Development of Low cost sustainable crop cultivation technology using unused organic resources and leguminous manure. *International Conference on Agricultural Sustainability 2022. Plenary Session 1. Online. Sep 28, 2022.*
- C-2 Toma Y, Mizote M\*, Ueno H\*. Rice husk biochar mitigate global warming in barley field in Ehime, Southwestern Japan. *22nd World Congress of Soil Science. Glasgow, UK. Aug 4, 2022.*
- C-3 当真要・花木紅実\*・戸田克史・寺井智子・佐竹康明・上野秀人\*. 放牧地における牛糞の CH<sub>4</sub> および N<sub>2</sub>O の排出係数—愛媛県での測定事例—. *日本土壌肥料学会講演要旨集. 68:115. 東京. 2022年9月24日.*
- C-4 Mon WW\*, Ueno H\*. Growth of paddy rice and global warming gas emission in soils with combined application of rice husk biochar and various organic materials. *Shikoku Journal of Crop Science. 59: 6-7. Kochi, Nov 24, 2022. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_6.*
- C-5 蓮井勝貴\*・辻本泰地\*・当真要・山下陽一・阿立真崇・河野貴幸・上野秀人\*. マメ科緑肥施用水稲栽培における土壌養分・形態別リン酸濃度の推移と収量の関係. 日本作物学会四国支部第59回講

- 演会. 日作紀四国支報. 59 : 12-13. 高知県南国市. 2022 年 11 月 24 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_12
- C-6 岡村侑磨\*・森久瑠実\*・蓮井勝貴\*・菊池勝義・上野秀人\*. 愛媛県中山間地の自然農法水田における水稲生育と収量. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 14-15. 高知県南国市. 2022 年 11 月 24 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_14.
- C-7 森久瑠実\*・岡村侑磨\*・蓮井勝貴\*・菊池勝義・上野秀人\*. 愛媛県中山間地の自然農法水田における土壌養分供給特性. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 16-17. 高知県南国市. 2022 年 11 月 24 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_16.
- C-8 藤田大夢\*・渡部桃子\*・竹内洋貴・上野秀人\*. 低肥沃度土壌におけるケイ酸カリ肥料施用が水稲生育・収量に与える効果. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 26-27. 高知県南国市. 2022 年 11 月 25 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_26.
- C-9 渡部桃子\*・藤田大夢\*・竹内洋貴・上野秀人\*. 低肥沃度土壌におけるケイ酸カリウム肥料施用が水稲の高温障害回避に与える効果. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 28-29. 高知県南国市. 2022 年 11 月 25 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_28.
- C-10 阪本絵里奈\*・藤田大夢\*・渡部桃子\*・竹内洋貴・上野秀人\*. ケイ酸加里肥料が低肥沃度と高肥沃度水田の水稲生育に与える効果. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 30-31. 高知県南国市. 2022 年 11 月 25 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_30.
- C-11 後藤愛美香\*・岩崎廉\*・当真要・上野秀人\*. 籾殻炭および鉄鋼スラグの施用による土壌からの温室効果ガス発生抑制とコマツナ生育に与える効果. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 36-37. 高知県南国市. 2022 年 11 月 25 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_36.
- C-12 金丸丈能\*・当真要・上野秀人\*. 鉄鋼スラグの施用がカンキツ類の土壌, 植物養分状態, 果実品質に及ぼす効果. 日本作物学会四国支部第 59 回講演会. 日作紀四国支報. 59 : 38-39. 高知県南国市. 2022 年 11 月 25 日. doi.org/10.32307/csshikoku.59.0\_38.
- D-1 上野秀人\*. 施肥改善及び土づくりによる肥料高騰対策について. 愛媛県南予地方局主催「令和 4 年度南予ブロック青年農業者リーダー研修会」. 愛媛県大洲市. 2022 年 9 月 27 日.

## 植物工場システム学専門教育コース (Department of Bio-mechanical System)

### 植物工場情報システム学教育分野 (Laboratory of Information Systems for Plant Factory)

- B2-1 Islam MP, Hatou K. TheLR531v1 – A deep learning multi-branch CNN architecture for day-night automatic segmentation of horticultural crops. *Computers and Electronics in Agriculture*. 204: 107557. 2023.
- B2-2 Islam MP, Hatou K, Aihara T, Kawahara M, Okamoto S, Senoo S, Sumire K. TheLR547v1—an asymmetric dilated convolutional neural network for real-time semantic segmentation of horticultural crops. *Sensors*. 22: 8807. 2022.
- B2-3 Islam MP\*, Hatou K\*, Aihara T, Seno S, Kirino S, Okamoto S. Performance prediction of tomato leaf disease by a series of parallel convolutional neural networks. *Smart Agricultural Technology*. 2: 100054. 2022.
- C-1 Islam MP\*, Hatou K\*. TheLR531v2 – An asymmetric multi-branch dilated network for day-night autonomous image segmentation of horticultural crops. *The XX CIGR World Congress 2022*. 2022 年 12 月.
- C-2 羽藤堅治\*. スマート農業における生体情報の計測・収集・解析・利用. *JSAI*. 2022 年 5 月.

- C-3 Islam MP\*, Hatou K\*. DeepD381v1-A deep-learning architecture for the automatic detection of tomato leaf disease. International Conference on Organic Agriculture in the Tropics: State-of-Art, Challenges and Opportunities. JSAI. 2022年5月.
- C-4 Islam MP\*, Hatou K\*. TheLR531v1-A deep learning architecture for the automatic segmentation of horticultural crops. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.
- C-5 Aihara T, Kawahara M, Okamoto S\*, Senoo S, Islam MP\*, Hatou K\*. Visualization of SPAD values using image. The XX CIGR World Congress 2022. 2022年12月.
- C-6 相原孝徳\*・川原正己・岡本宗樹\*・羽藤堅治\*・Md Parvez Islam\*. 植物生育診断に最適な空撮画像計測方法の確立に向けた検討. JSAI. 2022年5月.
- C-7 相原孝徳\*・川原正己・岡本宗樹\*・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. SPAD値を用いた栽培時期キャベツの生育状態可視化. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.
- C-8 湊由梨香\*・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 植物工場における画像収集ネットワークシステムの構築. 農業情報学会全国大会. 2022年5月.
- C-9 妹尾脩平・桐野堇・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 植物工場内におけるミニトマト葉の SPAD 値を RGB 画像から推定する方法の研究. 農業情報学会全国大会. 2022年5月.
- C-10 川原正己\*・相原孝徳・岡本宗樹・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. ドローン画像を用いた単面葉植物の SPAD 値推定方法の検討. 農業情報学会全国大会. 2022年5月.
- C-11 川原正己\*・相原孝徳・岡本宗樹・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. ドローン画像を用いたタマネギの SPAD 値推定方法の検討. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.
- C-12 桐野堇・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 事前学習済みネットワーク CNN を用いたトマト葉病の Deep Learning 検出方法の研究. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.
- C-13 妹尾脩平・桐野堇・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 植物工場内におけるミニトマト植物体の SPAD 値推定に用いる植生指標の検討. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.
- C-14 岡本宗樹・相原孝徳・川原正己\*・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. ドローン空撮画像を用いたレタスの SPAD 値推定方法の検討と可視化. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.
- C-15 湊由梨香・相原孝徳・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 大規模温室への利用に向けた画像収集ネットワークシステムの検討. 日本生物環境工学会 2022年福岡大会. 2022年9月.

#### 緑化環境工学教育分野 (Laboratory of Physiological Green Systems)

- A-1 高山弘太郎\*. 施設園芸学 - 植物環境工学入門. 施設園芸学における応用領域. 3.4 日射 (分担). 後藤英司編集. 朝倉書店. 85-97. 2022.
- A-2 藤内直道\*・高山弘太郎\*. 施設園芸学 - 植物環境工学入門. 施設園芸学における応用領域 4.3 植物センシング (分担). 後藤英司編集. 朝倉書店. 170-179. 2022.
- B2-1 Toda S, Higuchi T, Kanoh T, Sakamoto T, Fujiuchi N\*, Takayama K\*. Practical use of deep learning-based daily stem elongation measurement of tomato plants in two commercial greenhouses. IFAC-PapersOnLine. 55: 113-118. 2022.
- B2-2 Endo M, Fukuda N, Yoshida H, Fujiuchi N, Yano RS, Kusano M. Effects of light quality, photoperiod, CO<sub>2</sub> concentration, and air temperature on chlorogenic acid and rutin accumulation in young lettuce plants. Plant Physiology and Biochemistry. 186: 290-298. 2022.
- B2-3 加納多佳留・戸田清太郎・海野博也・藤内直道\*・仁科弘重・高山弘太郎\*. トマト個体群を対象としたつり下げ型多元的植物生体画像情報計測ロボットの開発—仕様と動画取得安定性の評価—. Eco-engineering. 34 : 37-44. 2022.
- B2-4 Choi YH, Watanabe N, Takahashi K, Toda S, Takayama K\*, Noda T, Sawada K. Proposal of leaf chlorophyll

- content and its a/b ratio measurement method using a filter-free multiple wavelength sensor. Japanese Journal of Applied Physics. 61: 1-7. 2022.
- B2-5 Nuralisa M, Tokairin T, Kumazaki T, Takayama K\*, Inoue T. CO<sub>2</sub> distribution under CO<sub>2</sub> enrichment using computational fluid dynamics considering photosynthesis in a tomato greenhouse. Applied Sciences. 12: 7756. 2022.
- B2-6 Toda S, Sakamoto T, Imai Y, Maruko R, Kanoh T, Fujiuchi N\*, Takayama K\*. Smartphone-based strawberry plant growth monitoring using YOLO. Acta Horticulturae. 77: 270-277. 2022.
- B2-7 Takeuchi I, Mizuguchi M, Ishibashi H, Takayama K\*, Yamashiro H. Upper thermal tolerance of hermatypic coral *Acropora digitifera* collected from Sesoko Island, southern Japan, based on a laboratory experiment. Fisheries Science. 89: 181-189. 2023.
- B2-8 Khalil MM, Masuda N, Takayama K\*, Mashimo T. A closed-loop micro-ultrasonic motor control system with extremum seeking. IEEE Access. 11: 22329-22341. 2023.
- C-1 高山弘太郎\*. AI を駆使したスマート・メガスケール植物工場ネットワーク構想. 第 43 回施設園芸総合セミナー. 一般社団法人日本施設園芸協会. 2022 年.
- C-2 藤内直道\*・稲葉一恵・高山弘太郎\*. 光合成・蒸散リアルタイム計測チャンバの施設園芸現場への適用と収量予測への利用. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 21 日.
- C-3 高山弘太郎\*・稲葉一恵・羽藤有紀・坂本哲隆・藤内直道\*. キャベツの露地栽培における生育不良苗の早期検知. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-4 藤内直道\*・村井颯志郎・高山弘太郎\*. 植物体蒸散速度・コンダクタンスの環境応答フィードバックモデルに関する検討. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-5 藤内直道\*・稲葉一恵・高山弘太郎\*. 光合成・蒸散リアルタイム計測チャンバの施設園芸現場への適用と収量予測への利用. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-6 扨佳助・大林修一・戸田清太郎・井上隆信・高山弘太郎\*. 肥培管理の違いが観葉植物の光合成蒸散機能に及ぼす影響の評価 —閉鎖型チャンバ法を用いた植物個体全体を対象とした計測. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-7 坂口直己・山口陸・戸田清太郎・高山弘太郎\*. マスク型 VOC 計測システムを用いたスイートバジルの Flavor 評価. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-8 今井裕也・戸田清太郎・坂本哲隆・加納多佳留・高山弘太郎\*. つり下げ型画像計測ロボットを用いたイチゴ個体群の日単位葉量計測. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-9 戸田清太郎・丸小凌我・坂本哲隆・藤内直道\*・高山弘太郎\*. イチゴ検出モデルの適用可能圃場・品種拡大のための効率的学習方法の検討. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-10 田内楓・戸田清太郎・加納多佳留・藤内直道\*・高山弘太郎\*. 生育状態の概要把握を目的としたトマト個体群パノラマ画像の要約手法の提案. 農業情報学会 2022 年度年次大会. オンライン. 2022 年 5 月 22 日.
- C-11 高山弘太郎\*. 高精度フェノタイピングに基づくイチゴ培地レス栽培技術の確立. 日本養液栽培研究会および NPO 法人日本養液栽培研究会 2022 年度総会・第 92 回オンライン大会. 2022 年 5 月 26 日.
- C-12 高山弘太郎\*. 高精度フェノタイピングに基づくイチゴ培地レス栽培技術の確立. JSPB 第 2 回産学官協力セミナー. オンライン. 2022 年 6 月 3 日.
- C-13 高山弘太郎\*. 最先端工学がつなぐスマート農業と豊かな食. 食農産業クラスター推進協議会. 2022 年 6 月 8 日.
- C-14 高山弘太郎\*. 未来のカタチ×農業 カーボンニュートラルに貢献する 植物生体情報活用型施設生産. 施設園芸・植物工場展 2022 (GPEC) 特別セミナー. 2022 年 7 月 20 日.
- C-15 藤内直道\*・藤田光・加納多佳留・戸田清太郎・高山弘太郎\*. LI-6400 と LI-6800 を使用したトマト

- 個葉の光合成蒸散特性計測値の比較. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月 7 日.
- C-16 戸田清太郎・田内楓・樋口達哉・坂本哲隆・加納多佳留・藤内直道\*・高山弘太郎\*. ディープラーニングを活用したトマト個体群の栄養-生殖成長の評価. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月 8 日.
- C-17 藤内直道\*・澤頭梨里・加納多佳留・戸田清太郎・東海林孝幸・高山弘太郎\*. 光合成環境応答のランダムフォレストモデルによる各環境要因の重要度評価. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月 8 日.
- C-18 高山弘太郎\*・戸田清太郎・今井裕也・藤内直道\*. 垂直 2 段培地レス栽培システムの上段と下段で栽培されているイチゴ個体群の光合成の比較. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月 7 日.
- C-19 田端亜衣・位田晴久・小倉東一・神谷高裕・戸田清太郎・今井裕也・高山弘太郎\*. 垂直 2 段での培地レスイチゴ栽培の可能性. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月 7 日.
- C-20 磯山侑里・波部彰布・仲井琴音・佐藤裕久・加納多佳留・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 人工光型植物工場におけるイチゴの生育状態の画像診断. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月 7 日.
- C-21 高山弘太郎\*・増田佳乃子・加納多佳留・藤内直道\*・戸田清太郎・東海林孝幸. ビニルハウスにおける新たな遮光コンセプトの提案. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-22 碓井華帆・藤村和成・加納多佳留・大場佳成・戸田清太郎・秋月拓磨・藤内直道\*・高山弘太郎\*. A 光合成蒸散計測チャンバを用いた観葉植物の室内環境応答モデルの開発. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-23 今井魁人・稲葉一恵・橘佳菜子・藤内直道\*・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 週次生育調査データに基づいたキュウリの収量予測機械学習モデルの開発. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-24 藤村和成・加納多佳留・大場佳成・戸田清太郎・秋月拓磨・高山弘太郎\*. サイクリック閉鎖型チャンバを用いた太陽光植物工場実装型光合成速度計測システムの開発. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-25 戸田清太郎・戸田多哉・坂本哲隆・加納多佳留・大場佳成・秋月拓磨・高山弘太郎\*. ディープラーニングを用いた観葉植物の形状評価. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-26 戸田清太郎・松岡宏樹・坂本哲隆・加納多佳留・大場佳成・秋月拓磨・高山弘太郎\*. つり下げ型画像計測ロボットによる温室栽培キュウリの高精度生育評価. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-27 今井裕也・戸田清太郎・坂本哲隆・加納多佳留・高山弘太郎\*. ディープラーニングを用いたイチゴ個体群の栄養-生殖成長の評価. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 九州大学. 福岡. 2022 年 9 月.
- C-28 扨佳勲・松本博・大林修一・高山弘太郎\*. 観葉植物による室内空気浄化に関する研究. 2022 年度日本建築学会大会. オンライン. 2022 年 9 月.
- C-29 Toda S, Higuchi T, Kanoh T, Sakamoto T, Fujiuchi N\*, Takayama K\*. Practical use of deep learning-based daily stem elongation measurement of tomato plants in two commercial greenhouses. IFAC Agricontrol 2022. 2022 年 9 月 14 日.
- C-30 高山弘太郎\*. AI を活用した栽培・労務 管理の最適化技術の開発. アグリビジネス創出フェア 2022 セミナー講演 AI や昆虫を利活用した新名田技術と今後の展開. 2022 年 10 月 26 日.
- C-31 Takayama K\*. High-resolution plant growth monitoring for intelligent environmental control in greenhouse.

日蘭園芸セミナー. 2022年10月27日.

- C-32 高山弘太郎\*. 高精度フェノタイピングに基づくイチゴ培地レス栽培技術の確立. アグリビジネス創出フェア「イノベーション創出強化研究推進事業セミナー」. 2022年10月28日.
- C-33 高山弘太郎\*. 施設養液栽培キュウリのデータ駆動型栽培管理. 第93回日本養液栽培研究会・茨城大会(オンライン)「スマート農業技術を活用した施設野菜の生産性向上に向けた取組と今後の展望」. 2022年11月8日.
- C-34 高山弘太郎\*. 高精度植物生体情報を活用した施設生産のカーボンニュートラル戦略. 日本学術会議公開シンポジウム「施設園芸のグリーン化に向けた課題と展望」. 2022年11月15日.
- C-35 長浩輝・秋月拓磨・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 一人称視点画像を用いた果実個体数計測手法の検討. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-36 増田佳乃子・大場佳成・加納多佳留・磯山侑里・戸田清太郎・東海林孝幸・高山弘太郎\*. 均一な光環境を実現する遮光システムの開発. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-37 戸田多哉・戸田清太郎・高山弘太郎\*. A YOLOv5 を用いた観葉植物の輪郭抽出. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-38 山口陸・坂口直己・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 匂い成分計測を用いた野菜の劣化検知. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-39 代田智教・藤内直道・磯山侑里・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 光合成蒸散リアルタイムモニタリングシステムを用いたキュウリの高精度環境応答モデルの構築. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-40 山中愁翔・加納多佳留・秋月拓磨・戸田清太郎・高山弘太郎\*. つり下げ型ロボットによる自動受粉システムの検討. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-41 坂本真滉・加納多佳留・秋月拓磨・戸田清太郎・高山弘太郎\*. デジタルツイン農場の構築のための植物画像計測ロボットの開発. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-42 岸本健太郎・加納多佳留・戸田清太郎・高山弘太郎\*. ハンディ光合成・蒸散計測システムの開発. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-43 荒井駿平・大場佳成・磯山侑里・戸田清太郎・高山弘太郎\*. セミクローズド・パイプハウスのための複数のファンを用いた空気循環の制御. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-44 古田友木・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 植物生体情報に基づいた自動アノテーション手法の開発. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-45 坂口直己・Erdenekhuyag Tselmuune・山口陸・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 室内の香りの時空間演出. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-46 長浩輝・秋月拓磨・戸田清太郎・高山弘太郎\*. 一人称視点画像を用いた果実個体数計測手法の検討. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-47 増田佳乃子・大場佳成・加納多佳留・磯山侑里・戸田清太郎・東海林孝幸・高山弘太郎\*. 均一な光環境を実現する遮光システムの開発. 2022年度日本生物環境工学会東海・北信越支部合同支部大会. 2022年11月27日.
- C-48 小迫孝実・原誠・高山弘太郎\*・有馬暁澄. アグリフード領域におけるスタートアップ支援の重要性と今後注目のスタートアップ. 日経フードテック・カンファレンス. 2022年11月17日.
- C-49 高山弘太郎\*. 三河地域における農業先端技術の導入事例 - データ駆動型栽培管理の地域実装の兆し -. とよしん食農セミナー. 2022年11月25日.
- C-50 Kotaro Takayama\*. Plant growth monitoring for intelligent environmental control in greenhouse. Lecturer exchange program with Department of Agroecotechnology, Universitas Sultan Ageng Tirtayasa, Indonesia.

2022年11月29日.

- C-51 Kotaro Takayama\*. Plant growth monitoring for intelligent environmental control in greenhouse. SCIS&ISIS2022 Plenary Talk 1 (Nov. 30, 2022). 2022年11月30日.
- C-52 高山弘太郎\*. 高精度植物生育情報を活用した高品質イチゴの培地レス栽培技術. 「知」の集積と活用  
の場 産学官連携協議会. 令和4年度成果報告会. 2023年2月8日.
- C-53 高山弘太郎\*. フェノタイピング技術を用いた培地レス・イチゴ生産技術の開発. 植物工場先端技術  
シンポジウム 「イチゴ生産技術開発の現状 2023」. 2023年2月16日.
- C-54 高山弘太郎\*. 生産現場での利用が進む生体情報計測技術. 植物工場先端技術シンポジウム「施設園  
芸におけるDXの取り組み 2023」. 2023年2月21日.
- C-55 高山弘太郎\*. マルチモーダルセンシング技術による農業分野への展開. OPERA 共創コンソーシアム  
シンポジウム. 2023年3月6日.
- C-56 高山弘太郎\*. もとめられる農業のデジタル化. トライアングルエヒメ デモデイ. 2023年3月8日.
- C-57 高山弘太郎\*. 「高精度フェノタイピングに基づくイチゴ培地レス栽培技術の確立」の成果について.  
イチゴフォーラム小集会 2023年3月16日.
- C-58 藤内直道\*・高山弘太郎\*. 施設栽培トマトの光合成・蒸散および成育状態の計測, 分析, 活用. 日本  
農業気象学会 2023年全国大会. 2023年3月16日.
- C-59 丸小凌我・藤内直道\*・高山弘太郎\*. プロセスモデルと実測光合成量を用いた施設栽培トマト収穫量  
予測. 日本農業気象学会 2023年全国大会. 2023年3月16日.

#### 植物細胞システム計測学教育分野 (Plant Biophysics/Biochemistry Research Laboratory)

- B2-1 Nakata K\*, Hatakeyama Y, Erra-Balsells R, Nonami H\*, Wada H\*. Dynamics and stabilization mechanism of  
mitochondrial cristae morphofunction associated with turgor-driven cardiolipin biosynthesis under salt  
stress conditions. Scientific Reports. 12: 9727. 2022. <https://doi.org/10.1038/s41598-022-14164-3>.
- C-1 Erra-Balsells R, Nonami H\*, Wada H\*. picoPPESI-MS. What is new? C-02 - Mass Spectrometry Challenges  
and Applications. The 3rd Iberoamerican Conference on Mass Spectrometry. T02 - Major Ionization  
Techniques: Advances and New Applications. Leblon, Brazil. December 10-15, 2022.  
<https://www.iber2022.com/>
- C-2 和田博史\*. 1細胞生体計測法を用いた植物のリアルタイム環境応答解析. 令和4年度愛媛大学大学  
院農学研究科・愛媛県農林水産研究所合同研修会. オンラインパネル発表. 愛媛大学大学院農学  
研究科. 松山市. 2022年9月13日.
- D-1 中田佳佑\*・畠山友翔・ロザ エラ-バルセルス・野並浩\*・和田博史\*. 塩ストレスに対する植物のエ  
ネルギー代謝の順化機構: 1細胞スケールで見えてきた膨圧刺激によるカルジオリピン合成に同  
期したクリステの形態変化. 愛媛大学プレスリリース. 2022年7月4日. [https://www.ehime-u.ac.jp/  
data\\_relese/pr\\_20220704\\_agr/](https://www.ehime-u.ac.jp/data_relese/pr_20220704_agr/)
- D-2 和田博史\*. 蜜入りリンゴはどうやってできる!? 新たな代謝メカニズムを明らかにした独自の計測手  
法. リケラボ: 理系の理想のはたらき方を考える研究所. トピック [生物]. 2023年3月3日.  
<https://www.rikelab.jp/post/4300.html>

#### 農業機械システム工学教育分野 (Laboratory of Agricultural Mechanical System Engineering)

- B3-1 Ohata S\*, Arima S\*, Ueka Y\*. Development of a fruit detection model using deep learning for a tomato  
harvesting robot. Proceedings of The 10th International Symposium on Machinery and Mechatronics for  
Agriculture and Biosystems Engineering (ISMAB 2022). 144-149. 2022.
- C-1 横川巧\*・上加裕子\*・有馬誠一\*. ファンの電流データを利用した風選別精度検知. 第80回農業食料  
工学会年次大会, オンライン. 2022.
- C-2 指原豊\*・上加裕子\*・土居義典\*・大畑秀平\*・六車浩二\*・有馬誠一\*・武山絵美・小林範之. 急傾斜  
地小型ロボット農業システムの開発ー走行ユニット安定化のための重心制御機構ー. 第80回農業

食料工学会年次大会, オンライン. 2022.

- C-3 六車浩二\*・上加裕子\*・指原豊\*・大畑秀平\*・有馬誠一\*・武山絵美・小林範之. 急傾斜地小型ロボット農業システムの開発—音源定位を利用した人追従アルゴリズムの実装—. 第80回農業食料工学会年次大会, オンライン. 2022.
- C-4 大畑秀平\*・有馬誠一\*・上加裕子\*. トマト収穫ロボットにおける深層学習を用いた果実検出—検出精度向上のための背景削除アルゴリズムの開発—. 第80回農業食料工学会年次大会, オンライン. 2022.
- C-5 上加裕子\*・有馬誠一\*・武山絵美・小林範之・山田寿・羽生剛・井上久雄. 急傾斜農業の超省力化に向けた小型農業ロボットシステムの開発. 柑橘産業復興支援事業(復興支援活動調査研究)成果報告会. 2023.
- D-1 有馬誠一\*・上加裕子\*. 農業のスマート化とカーボンニュートラルの実現. 機械化農業. 2022年8月号. 44-50. 2022.

#### 流通工学教育分野 (Laboratory of Distribution Engineering)

- A-1 Konagaya K\*, Saito Y. "Encyclopedia of Smart Agriculture Technologies." ed. by Zude-Sasse, Manuela, Zhang, Qin. Springer Nature. 2023.
- B2-1 Takemoto T, Konagaya K\*, Kuramoto M, Fukugaichi S, Kondo N. Response of sweet pepper autofluorescence against solar radiation. Photochemical & Photobiological Sciences. 21: 2053-2060. 2022.
- B3-1 小長谷圭志\*・高橋憲子\*. トマトの表面蛍光に基づく硬度推定モデル -積算温度の観点から-. 愛媛大学社会共創学部紀要. 6: 79-85. 2022.
- C-1 杉谷葉菜\*・森松和也\*・高橋憲子\*. 飲料における高圧処理による枯草菌芽胞の耐熱性低下に関する基礎的検証. 日本食品工学会第23回(2022年度)年次大会. P55. 岡山. 2022年9月.
- C-2 Nguyen Ha Vy\*・森松和也\*・高橋憲子\*. 100MPaの高圧処理による枯草菌芽胞が発芽誘導への前熱処理の影響. 日本食品工学会第23回(2022年度)年次大会. P56. 岡山. 2022年9月.
- C-3 杉谷葉菜\*・森松和也\*・高橋憲子\*. 高圧処理による枯草菌芽胞の耐熱性低下およびジピコリン酸含量に対する圧力保持時間の影響. 日本防菌防黴学会第49回年次大会. 2P-Ca33. 東京. 2022年9月.
- C-4 森松和也\*・Nguyen Ha Vy\*・高橋憲子\*. 高圧処理を用いた枯草菌芽胞への発芽誘導に対する熱による前処理の影響. 第80回農業食料工学会年次大会. 3-27 (O-4). オンライン開催. 2022年9月.
- C-5 Takahashi, N.\*, Hirata, T.\*, Konagaya, K.\*, Morimatsu, K.\* Estimation of lycopene content in tomato fruit at different storage temperatures using visible / near-infrared spectroscopy. 19th Australian NIR Spectroscopy Group Meeting. Australia. 2022年9月.
- C-6 斎藤嘉人・下保敏和・大竹憲邦・長谷川英夫・小長谷圭志\*・倉本誠・鈴木哲仁・近藤直. 大豆イソフラボン含有量推定における蛍光分光法と近赤外分光法の比較. 第80回農業食料工学会年次大会. オンライン開催. 2022年9月.
- C-7 小長谷圭志\*・竹本哲行・倉本誠・福垣内暁・近藤直. トウガラシの生育中日射強度が果実の自家蛍光に及ぼす影響. 園芸学会令和5年度春季大会. 2023年3月.
- D-1 森松和也\*. 高圧発芽誘導殺菌における未発芽芽胞の耐熱性低下に関する基礎的検証. FOOMA JAPAN アカデミックプラザ 2022. 東京. 2022年6月.
- D-2 小長谷圭志\*. 青色蛍光に日射強度情報 甘長トウガラシで発見 愛媛大学など. 日本農業新聞 営農技術. 2022年9月22日.

## 地域資源管理教育分野 (Laboratory of Regional Resource Management)

- B2-1 間々田理彦\*・安江紘幸・河野洋一・野口敬夫・原温久・下口ニナ・大室健治. エシカルフードチェーンアプローチを適用した農福連携の事例分析. 食農と環境. 30:49-54. 2022.
- B2-2 原温久・間々田理彦\*・安江紘幸・下口ニナ・野口敬夫・河野洋一・大室健治. エシカル消費に対する消費者の認知状況と購買行動の特徴. 食農と環境. 30:61-67. 2022.
- B2-3 山本和博・間々田理彦\*・山本善久・松下秀介. 柑橘産地における臨時雇用の実態と新規就農への展開—愛媛県における柑橘産地を事例として—. 農業経営研究. 60:53-58. 2022.
- B2-4 野口敬夫・安江紘幸・大室健治・間々田理彦\*・下口ニナ・河野洋一・原温久. フェアトレードにおけるバリューチェーンの構造分析—フェアトレード認証紅茶を中心に—. 農村研究. 136:1-17. 2023.
- B2-5 間々田理彦\*・サム リアン. カンボジアの高度経済成長下における農業経営の実態と課題に関する一考察. 愛媛大学農学部紀要. 67:34-41. 2023.
- B2-6 アンディ ダリウス パツ イサ\*・松岡淳\*. インドネシアにおける SOBARI 技術の米栽培への適用可能性に関する研究—ゴワ地域を事例として—. 開発学研究. 33:1-10. 2023.
- D-1 松岡淳\*・間々田理彦\*. 柑橘作における樹園地面的集積の実態と制約要因—組織的な土地利用調整の実施地区を事例として—. 令和4年度愛媛大学大学院農学研究科・愛媛県農林水産研究所合同研修会. オンライン. 2022年9月.
- D-2 松岡淳\*. 第1回農業委員会活動評価検討会(農業委員会活動評価委員). 松山市. 2022年11月.
- D-3 松岡淳\*. 農地中間管理機構による整備樹園地における「受け手」の実態と柑橘作の将来像. 宇和島市受託研究報告会. 宇和島市吉田公民館. 2023年3月.
- D-4 間々田理彦\*. 柑橘類の購入に関する首都圏の消費者の意識. 宇和島市受託研究報告会. 宇和島市吉田公民館. 2023年3月.
- D-5 間々田理彦\*・山本和博. 「災害」に関する生産側と消費側の意識. 宇和島市受託研究報告会. 宇和島市吉田公民館. 2023年3月.
- D-6 松岡淳\*. 第2回農業委員会活動評価検討会(農業委員会活動評価委員). 松山市. 2023年3月.

## フードシステム教育分野 (Laboratory of Food Systems)

- A-1 橋本直史・天野通子\*. 農産物の規格・認証制度(農産・水産領域における GAP 認証を中心に). 木立真直・坂爪浩史. 食料・農産物の市場と流通. 筑波書房:231-251. 2022.
- B2-1 山尾政博・天野通子\*. 広島カキ養殖産地を支えるフードチェーン・アプローチ. 地域漁業研究. 62:45-56. 2022.
- C-1 天野通子\*・山尾政博. ホタテ貝殻を利用した地域資源循環システム—常呂式循環型一次産業を事例に—. 地域漁業学会. オンライン. 2022年11月.
- C-2 山尾政博・天野通子\*・鳥居享司. 西日本養殖産地にみる適正養殖規範の導入と普及—基礎的認証の役割を中心に—. 地域漁業学会. オンライン. 2022年11月.
- D-1 天野通子\*・山尾政博. フードチェーン・アプローチから考える日本産水産物の安全性. 養殖ビジネス. 緑書房. 59:4-7. 2022.

## 農業政策学教育分野 (Laboratory of Agricultural Policy)

- B2-1 椿真一\*. わが国畜産における輸入飼料依存の問題と飼料自給率向上に向けた取り組み. 愛媛大学農学部紀要. 67:42-51. 2022.
- B3-1 佐藤加寿子・椿真一\*. 水田活用の直接支払交付金見直し地域農業・社会に及ぼす影響—秋田県のそば生産を事例とした「水張り要件」の検討—. 農業・農協問題研究. 79:17-32. 2022.
- D-1 椿真一\*. 柑橘産地における臨時的労働力確保の現状と課題. 宇和島市受託研究報告会. 吉田公民館. 2023年3月2日.
- D-2 椿真一\*. 令和4年度水田農業生産力強化支援事業に係る水田利用調整検討会講師. 南予地方局産業

振興課鬼北農業指導班. 2022年12月5日.

- D-3 椿真一\*. 年120万人集客地産地消で地域活性化. 農業協同組合新聞. 一般社団法人農協協会. 2022年10月30日.

#### 農業経営学教育分野 (Laboratory of Agricultural Economics and Farm Management)

- B2-1 山本和博\*・間々田理彦・山本善久・松下秀介. 柑橘産地における臨時雇用の実態と新規就農への展開—愛媛県における柑橘産地を事例として—. 農業経営研究. 60:53-58. 2022.
- D-1 山本和博\*. 柑橘産業の経営戦略・柑橘産業の販売戦略. 愛媛大学柑橘産業人材育成プログラム. オンライン遠隔講習. 2022年10月22日.
- D-2 山本和博\*・板橋衛. 柑橘産業の経営戦略・愛媛県の果樹産地と農協. 愛媛大学柑橘産業人材育成プログラム. オンライン遠隔講習. 2022年10月22日.
- D-3 山本和博\*. 第1回愛媛県日本型直接支払検討委員会. オンライン会議. 2022年8月1日.
- D-4 山本和博\*. 第2回愛媛県日本型直接支払検討委員会. オンライン会議. 2023年2月2日.
- D-5 山本和博\*. 令和4年度近畿中国四国試験研究推進会議営農推進部会問題別研究会総評. オンライン会議. 2022年8月9日.
- D-6 山本和博\*. 令和4年度近畿中国四国試験研究推進会議営農推進部会総評. オンライン会議. 2023年1月25日.
- D-7 山本和博\*. 道前平野地区営農推進に向けた取り組みの方向性について. 道前平野地区営農推進にかかる意見交換会. 西条市. 2023年2月9日.

#### 水産社会研究分野 (Laboratory of Social studies of Fisheries)

- B2-1 若林良和\*. 鹿児島県奄美大島北部におけるカツオの産業と文化—「ぎょしょく」をもとにした地域モノグラフ(7)—. 愛媛大学社会共創学部紀要. 6:30-46. 2022.
- C-1 若林良和\*. 日本のカツオ文化とカツオ資源について—地域と生活の視点からカツオ文化とカツオ資源を考える!—. JICA (国際協力機構) 青年研修「資源管理型漁業」コースセミナー. JICA (リモート). 2022年11月9日.
- C-2 若林良和\*. 地域×産業イノベーションによる持続可能な共創社会の実現に向けて～愛媛大学のリカレント教育について～. 国立大学協会令和4年度大学マネジメントセミナー「これからのリカレント教育」. 国大協 (リモート). 2022年11月22日.
- C-3 若林良和\*. 農政局と愛媛大学が連携した取組について～愛媛大学のビジョンと社会連携～. 農林水産省中国四国農政局 (岡山). 2023年2月17日.
- D-1 若林良和\*. 無限の可能性を持つ女子高等教育: 更なる「たおやかさ」を拓くために (松山東雲女子大学開学30周年記念・特別寄稿). 松山東雲女子大学. 32:26-28. 2023.
- D-2 若林良和\*. 「ぎょしょく教育」のDXで日本の水産業を持続可能な成長産業へ!. 電気のふるさと. 69:8-11. 2022.
- D-3 若林良和\*. 成果報告書の刊行によせて: 地域専門人材育成の重要性. 令和4年度愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム (東予) <令和3年度補正予算文部科学省DX等成長分野を中心とした就職・転職のためのリカレント教育推進事業> 成果報告書. 愛媛大学社会連携推進機構. 1. 2023.
- D-4 若林良和\*. 愛媛大学の社会連携推進と観光人材育成. 2022年度産学官連携観光産業振興協議会記念講演会. 東京第一ホテル松山. 2022年6月15日.
- D-5 若林良和\*. 地域と「共進」する愛媛大学を目指して—愛媛大学のビジョンと社会連携推進機構の取組をもとに—. 愛媛経済懇話会3月定例会. ANAクラウンプラザホテル松山. 2023年3月16日.
- D-6 若林良和\*. 愛媛大学地域協働センター中予東温開所式閉会挨拶. 愛媛大学地域協働センター中予東温. 2022年4月7日.
- D-7 若林良和\*. 愛媛大学地域協働教育研究支援事業 (令和3年度) 成果報告会 開会挨拶. 愛媛大学愛

媛大学 E.U. Regional Commons (リモート). 2022 年 7 月 7 日.

- D-8 若林良和\*. 国立大学法人愛媛大学と公益財団法人松山市文化・スポーツ振興財団との包括連携に関する記念講演会 開会の挨拶. 愛媛大学南加記念ホール. 2022 年 8 月 29 日.
- D-9 若林良和\*. 愛媛大学のビジョン・戦略・取組について. 令和 4 年度愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム (南予). 愛媛大学地域協働センター南予&リモート. 2021 年 9 月 3 日.
- D-10 若林良和\*. 愛媛大学のビジョン・戦略・取組について. 令和 4 年度愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム (東予). 愛媛大学地域協働センター西条. 2021 年 9 月 24 日.
- D-11 若林良和\*. 愛媛大学地域専門人材育成・リカレント教育支援センターシンポジウム 2022「全世代の人材が活躍する社会」の構築につながるリカレント教育の推進に向けて」開会挨拶. 愛媛大学地域専門人材育成・リカレント教育支援センター (リモート). 2022 年 9 月 27 日.
- D-12 若林良和\*. 愛媛大学紙産業イノベーションセンター第 7 回シンポジウム「新たな技術や新製品を愛媛から全国へ! そして、世界へ! 発信する」閉会挨拶. 四国中央市市民文化ホール. 2022 年 10 月 17 日.
- D-13 若林良和\*. 愛媛大学社会共創フォーラム 2022 開会挨拶. 愛媛大学グリーンホール. 2022 年 10 月 24 日.
- D-14 若林良和\*. 愛媛大学四国遍路・世界の巡礼研究センター公開講演会・研究集会 開会挨拶. 愛媛大学南加記念ホール&リモート. 2022 年 10 月 29 日.
- D-15 若林良和\*. 愛媛大学社会連携推進機構協力会特別講演会「カーボンニュートラル社会の実現に向けて」 閉会挨拶. ANA クラウンプラザホテル松山. 2022 年 11 月 28 日.
- D-16 若林良和\*. 人口減少社会に挑む! フォーラム 2022 開会挨拶. 愛媛大学 E.U. Regional Commons. 2022 年 12 月 10 日.
- D-17 若林良和\*. 愛媛大学農学部・大学院農学研究科×農林水産省中国四国農政局 第 2 回愛媛の食農の未来とイノベーションシンポジウム 2022 閉会挨拶. 愛媛大学農学部・大学院農学研究科&リモート. 2022 年 12 月 17 日.
- D-18 若林良和\*. 地域のインフラメンテナンスの明日を考えるシンポジウム: 愛媛大学社会基盤 ME 養成講座の開講 10 年を前にして 開会挨拶. 愛媛大学南加記念ホール&リモート. 2023 年 1 月 13 日.
- D-19 若林良和\*. 四国人財育成塾シンポジウム「全世代対応型「地域における知の拠点」として大学はどうあるべきか 閉会挨拶. 愛媛大学南加記念ホール&リモート. 2023 年 2 月 10 日.
- D-20 若林良和\*. 令和 4 年度愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム (南予) 閉講式挨拶. 愛媛大学 (リモート). 2023 年 2 月 18 日.
- D-21 若林良和\*. 令和 4 年度愛媛大学地域創生イノベーター育成プログラム (東予) 閉講式挨拶. 愛媛大学地域協働センター西条. 2023 年 2 月 18 日.
- D-22 若林良和\*. シンポジウム「人口減少社会と文化遺産の未来」開会挨拶. 愛媛大学メディアホール. 2023 年 2 月 23 日.
- D-23 若林良和\*. 愛媛大学公開シンポジウム「カーボンニュートラル実現に向けて」閉会挨拶. 愛媛大学南加記念ホール. 2023 年 3 月 9 日.
- D-24 若林良和\*. マグロの生態 (大きくなったマグロは一生泳ぎ続ける). 日テレ系「クイズ! あなたは小学 5 年生より賢いの?」(全国ネット)・監修. 2023 年 1 月 20 日.
- D-25 若林良和\*. 愛媛出版文化賞受賞者に聞く「食育共創論: 食育の実践事例紹介 体系化 指導書の役割も」. 愛媛新聞. 2023 年 1 月 20 日.
- D-26 若林良和\*. 愛媛出版文化賞 受賞者喜び「共創を超えて「共進」に」. 愛媛新聞. 2023 年 1 月 24 日.
- D-27 若林良和\*. 愛媛大学の社会連携と地域協働センター中予「For Your Nature Life Supported by EHIME UNIVERSITY」. FM 愛媛. 2022 年 12 月 18 日.

#### 水産経営研究分野 (Laboratory of Fisheries Management and Business)

- A-1 竹ノ内徳人\*. ガバナンスとは、とにかく何?. 水面上の生命 (原著: Life Above Water: スウェイン・

イェントフト著, 2019). 169-178. 李銀姫・浪川珠乃編訳. TBTI Global. セントジョンズ, カナダ. 2022年.

- B3-1 西永豊光・竹ノ内徳人\*・松原孝博・金尾聡志. 愛媛県産スマの北米へのロジスティクスと評価. 養殖ビジネス. 59: 15-19. 2022年10月.
- B3-2 竹ノ内徳人\*. 漁業制度改革を背景としたアフターコロナに向けた地域漁業の展望. 農中総研情報. 91: 16-17. 2022年7月.
- C-1 Takenouchi Naruhito\*. Providing topics about “Shopping at Fisheries Direct Sales Market”. The 4th World Small-Scale Fisheries Congress (4WSFC) Asia-Pacific. 静岡県清水市. 2022年5月11日.
- C-2 松村俊吾・竹ノ内徳人\*. 北海道枝幸町における沿岸漁業の共同体基盤型管理とその構造比較—第一種共同漁業に注目して—. 地域漁業学会第64回大会一般報告. 三重大学 (オンライン). 2022年11月13日.
- D-1 竹ノ内徳人\*. ポストコロナを見据えた八幡浜水産物の展望. 令和4年度八幡浜経済研究会11月例会. 八幡浜市. 2022年11月30日.
- D-2 竹ノ内徳人\*. 愛媛県産養殖マダイの流通. 南海放送ラジオ Tips 今夜なに食べる. 南海放送ラジオ. 松山市. 2022年12月2日.
- D-3 竹ノ内徳人\*. 水産物の流通・販売. 愛媛大学水産人材育成講座—基礎編・水産学概論—. 愛媛大学南予水産研究センター. 2023年1月21日.
- D-4 竹ノ内徳人\*. 水産経済・経営—令和3年度版水産白書より—. 愛媛大学水産人材育成講座—基礎編・水産学概論—. 愛媛大学南予水産研究センター. 2023年2月18日.
- D-5 竹ノ内徳人\*. 愛媛県産ハタ類における流通ならびに需要動向に関する調査報告書. 愛媛県令和4年度未来型農林水産研究プロジェクト推進事業. 愛媛大学南予水産研究センター. 1-15. 2023年3月31日.

#### アグリビジネス教育分野 (Laboratory of Agribusiness)

- B2-1 劉在強・藤吉麗・加藤尊秋・西村武司\*・陀安一郎. 同位体を用いた地下水調査に対する住民意識: 山梨県忍野村を対象に. 環境情報科学. 52: 79-88. 2023. DOI: 10.11492/eis.52.1\_79.

#### 知能的食料生産科学特別コース (Special Course of Intelligent Food Production Science)

- B-1 Islam MP\*, Hatou K\*. TheLR531v1-A deep learning multi-branch CNN architecture for day-night automatic segmentation of horticultural crops. Computers and Electronics in Agriculture. 204: 107557. 2023.
- B-2 Islam MP\*, Hatou K\*, Aihara T\*, Kawahara M, Okamoto S\*, Senoo S\*, Kirino S\*. TheIR547v1-An asymmetric dilated convolutional neural network for real-time semantic segmentation of horticultural crops. Sensors. 22: 8807. 2022.
- B-3 Islam MP\*, Hatou K\*, Aihara T\*, Seno S\*, Kirino S\*, Okamoto S\*. Performance prediction of tomato leaf disease by a series of parallel convolutional neural networks. Smart Agricultural Technology. 2: 100054. 2022.
- C-1 Islam MP\*, Hatou K\*. DeepD381v1-An asymmetric multi-branch dilated TheLR531v2 network for day-night autonomous image segmentation of horticultural crops. The XX CIGR World Congress 2022. 2022年12月.
- C-2 羽藤堅治\*. スマート農業における生体情報の計測・収集・解析・利用. JSAI. 2022年5月.
- C-3 Islam MP\*, Hatou K\*. DeepD381v1-A deep-learning architecture for the automatic detection of tomato leaf disease. International Conference on Organic Agriculture in the Tropics: State-of-Art, Challenges and Opportunities. JSAI. 2022年5月.
- C-4 Islam MP\*, Hatou K\*. TheLR531v1-A deep learning architecture for the automatic segmentation of

- horticultural crops. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.
- C-5 Aihara T\*, Kawahara M, Okamoto S\*, Senoo S\*, Islam MP\*, Hatou K\*. Visualization of SPAD values using image. The XX CIGR World Congress 2022. 2022 年 12 月.
- C-6 相原孝徳\*・川原正己・岡本宗樹\*・羽藤堅治\*・Md Parvez Islam\*. 植物生育診断に最適な空撮画像計測方法の確立に向けた検討. JSAI. 2022 年 5 月.
- C-7 相原孝徳\*・川原正己・岡本宗樹\*・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. SPAD 値を用いた栽培時期キャベツの生育状態可視化. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.
- C-8 湊由梨香\*・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 植物工場における画像収集ネットワークシステムの構築. 農業情報学会全国大会. 2022 年 5 月.
- C-9 妹尾脩平・桐野董・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 植物工場内におけるミニトマト葉の SPAD 値を RGB 画像から推定する方法の研究. 農業情報学会全国大会. 2022 年 5 月.
- C-10 川原正己\*・相原孝徳・岡本宗樹・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. ドローン画像を用いた単面葉植物の SPAD 値推定方法の検討. 農業情報学会全国大会. 2022 年 5 月.
- C-11 川原正己\*・相原孝徳・岡本宗樹・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. ドローン画像を用いたタマネギの SPAD 値推定方法の検討. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.
- C-12 桐野董・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 事前学習済みネットワーク CNN を用いたトマト葉病の Deep Learning 検出方法の研究. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.
- C-13 妹尾脩平・桐野董・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 植物工場内におけるミニトマト植物体の SPAD 値推定に用いる植生指標の検討. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.
- C-14 岡本宗樹・相原孝徳・川原正己\*・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. ドローン空撮画像を用いたレタスの SPAD 値推定方法の検討と可視化. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.
- C-15 湊由梨香・相原孝徳・Md Parvez Islam\*・羽藤堅治\*. 大規模温室への利用に向けた画像収集ネットワークシステムの検討. 日本生物環境工学会 2022 年福岡大会. 2022 年 9 月.

## 生命機能学科

(Department of Applied Bioscience)

### 応用生命化学専門教育コース (Department of Applied Bioscience)

#### 生物有機化学教育分野 (Laboratory of bioorganic chemistry)

- B2-1 Sartiva H\*, Ishida M\*, Yoneyama K\*, Nishiwaki H\*, Yamauchi S\*. Plant growth suppressive activity of (R)-3-(7'-aryl-9'-hydroxyprop-8'-yl)coumarin, structural isomer of Z-2-hydroxybenzylidene- $\gamma$ -butyrolactone-type lignin. Journal of Agricultural and Food Chemistry. 70: 8767-8775. 2022.
- B2-2 Ochi R\*, Taniyama Y\*, Nishiwaki H\*, Nishi K, Sugahara T, Yamauchi S\*. Syntheses of 6-(2-hydroxy-6-phenylhexyl)-5,6-dihydro-2H-pyran-2-one derivatives and their cytotoxicities. Phytochemical Letters. 52: 118-121. 2022.
- B2-3 Vinde MH, Cao D, Chesterfield RJ, Yoneyama K\*, Gumulya Y, Thomson RES, Matila T, Ebert BE, Beveridge CA, Vickers CE, Gillam EMJ. Ancestral sequence reconstruction of the CYP711 family reveals functional divergence in strigolactone biosynthetic enzymes associated with gene duplication events in monocot grasses. New Phytologist. 235: 1900-1912. 2022.

- B2-4 Kodama K, Rich MK, Yoda A, Shimazaki S, Xie X, Akiyama K, Mizuno Y, Komatsu A, Luo Y, Suzuki H, Kameoka H, Libourel C, Keller J, Sakakibara K, Nishiyama T, Nakagawa T, Mashiguchi K, Uchida K, Yoneyama K\*, Tanaka Y, Yamaguchi S, Shimamura M, Delaux P, Nomura T, Kyojuka J. Ancestral function of strigolactones as symbiotic rhizosphere signals. *Nature Communications*. 13: 3974. 2022.
- B2-5 Wheeldon CD, Hamon-Josse M, Lund H, Yoneyama K\*, Bennett T. Environmental strigolactone drives early growth responses to neighbouring plants and soil volume in pea. *Current Biology*. 32: 3593-3600. 2022.
- B2-6 Yoneyama K\*, Xie X, Nomura T, Yoneyama K, Bennett T. Supra-organismal regulation of strigolactone exudation and plant development in rice in response to rhizospheric cues. *Current Biology*. 32: 3601-3608. 2022.
- B2-7 Cao D, Barbier F, Yoneyama K\*, Beveridge CA. Extraction and quantification of plant hormones and RNA from pea axillary buds. *Bio-protocol*. 12: e4524. 2022.
- B2-8 Fukuhara S, Watanabe S, Watanabe Y, Nishiwaki H\*. Crystal structure of 1-2,4-diketo-3-deoxyrhamnonate hydrolase involved in the nonphosphorylated l-rhamnose pathway from bacteria. *Biochemistry*. 62: 524-534. 2023.
- C-1 中田晶大・西甲介・西脇寿\*・菅原卓也・今井祐記. フラボノイド Chrysin は破骨細胞分化を抑制する. 日本骨代謝学会学術集会. 岐阜. 2022年7月.
- C-2 中田晶大・西脇寿\*・西甲介・菅原卓也・今井祐記. フラボノイド 5,7-Dihydroxyflavone は破骨細胞分化を抑制する. 日本ポリフェノール学会第15回学術集会. 東京. 2022年8月.
- C-3 三河大倫\*・山内聡\*・西脇寿\*. Cyanobacterin 新規不斉合成経路の探索. 第36回農薬デザイン研究会. オンライン. 2022年10月.
- C-4 岡本和樹\*・山内聡\*・西脇寿\*. ヘキサヒドロピリミジン環4位, 6位にメチル基を有するイミダクロプリド類縁体の生物活性評価および受容体との相互作用の検討. 第36回農薬デザイン研究会. オンライン. 2022年10月.
- C-5 中田晶大・西脇寿\*・西甲介・菅原卓也・今井祐記. フラボノイド 5,7-Dihydroxyflavone は破骨細胞分化を抑制する. 日本農芸化学会2022年度中四国支部第64回講演会. 講演要旨集49. 岡山. 2023年1月.
- C-6 岩田愛莉\*・西脇寿\*・米山香織\*・山内聡\*. Furofuranone 型リグナンの立体異性体と sesamine との植物成長調節活性の比較. 日本農薬学会第48回大会. 東京. 2023年3月.
- C-7 田中美葉\*・西脇寿\*・米山香織\*・山内聡\*. テトラヒドロフラン及びテトラヒドロピラン型 8,7'-ネオリグナンの植物生長抑制活性. 日本農薬学会第48回大会. 東京. 2023年3月.
- C-8 堤麻結・益村晃司・金井宗良・米山香織\*・河田美幸・関藤孝之・水沼正樹. 出芽酵母の MATE ファミリーは S-アデノシルメチオニンの液胞輸送に関与する. 日本農芸化学会2023年大会. 広島. 2023年3月.
- D-1 米山香織\*. 植物の地下部でのコミュニケーションを可能にしている分子? 愛媛大学プレスリリース. 2022年8月9日.
- D-2 米山香織\*. 植物の地下部でのコミュニケーションを可能にしている分子? 愛媛大学研究成果ストックサイト. 2022年8月9日.
- D-3 米山香織\*. 根分泌ストリゴラクトンを利用 イネの生存戦略解明. 科学新聞. 2022年9月2日.
- D-4 西脇寿\*. 「機能性を有する天然有機化合物の探索とその応用」. 日本農芸化学会中四国支部 支部創立20周年記念 第44回市民フォーラム. 松山. 2022年11月26日.
- D-5 米山香織\*. 植物 地下で空気読む? 毎日新聞. 2022年11月29日.
- D-6 西脇寿\*. 病害虫防除のための天然由来成分の選抜. 宇和島市受託研究報告会. 宇和島. 2023年3月2日.

#### 栄養科学教育分野 (Laboratory of Nutritional Science)

- B2-1 Okuyama S, Kotani M, Ninomiya F, Sawamoto A, Fujitani M\*, Ano Y, Kishida T\*, Nakajima M, Furukawa Y.

The beneficial effects of *Citrus kawachiensis* peel on neurogenesis in the hippocampus and gut microbiota changes in a chronic unpredictable mild stress mouse model. *Nutraceuticals*. 2: 91-101. 2022.

#### 生化学教育分野 (Laboratory of Biochemistry)

- B2-1 Yoshiwara K\*, Watanabe S\*, Watanabe Y. Molecular evolutionary insight of structural zinc atom in yeast xylitol dehydrogenases and its application in bioethanol production by lignocellulosic biomass. *Scientific Reports*. 13: 1920. 2023.
- B2-2 Fukuhara S\*, Watanabe S\*, Watanabe Y, Nishiwaki\*. Crystal structure of L-2,4-diketo-3-deoxyrhamnonate hydrolase involved in the nonphosphorylated L-rhamnose pathway from bacteria. *Biochemistry*. 62: 524-534. 2023.
- C-1 赤樫実結\*・渡辺誠也\*. 細菌由来のリン酸化を必要としない L-フコース代謝経路に関与する L-2-Keto-3-deoxyfuconate 4-dehydrogenase の X 線結晶構造解析. 日本農芸化学会中四国支部第 64 回講演会 (例会). 2023 年 1 月 21 日.
- C-2 吉原健太郎\*・渡辺誠也\*・渡邊康紀. バイオエタノール生産の鍵酵素であるキシリトール脱水素酵素の構造生物学および生化学的解析. 第 95 回日本生化学会大会. 2022 年 11 月 9 日.
- C-3 福原将太\*・渡辺誠也\*・渡邊康紀・西脇寿. 細菌由来非リン酸化 L-ラムノース代謝経路に関与する L-2,4-ジケト-3-デオキシラムノン酸ヒドロラーゼの立体構造解析. 第 95 回日本生化学会大会. 2022 年 11 月 9 日.
- C-4 吉原健太郎\*・渡辺誠也\*・渡邊康紀. キシリトール脱水素酵素の亜鉛原子による構造安定化機構の解明. 日本農芸化学会 2022 年度中四国支部大会 (第 63 回講演会). 2022 年 9 月 22 日.
- D-1 吉原健太郎\*・渡辺誠也\*・渡邊康紀. バイオエタノール生産の鍵酵素であるキシリトール脱水素酵素の構造生物学および生化学的解析. 第 95 回日本生化学会大会. 若手優秀発表賞. 2022 年 11 月 11 日.
- D-2 農学部ホームページ研究トピックス. 大学院農学研究科 2 年生の福原将太さんの論文が国際学術誌「*Biochemistry*」にオンライン掲載されました. 2023 年 12 月 23 日.
- D-3 全学ホームページ研究トピックス. 大学院農学研究科 2 年生の吉原健太郎さんが「第 95 回日本生化学会大会」において「若手優秀発表賞」を受賞し, 研究成果が国際学術誌 *Scientific Reports* にオンライン掲載されました. 2023 年 11 月 11 日 (2 月 2 日更新)
- D-4 渡辺誠也\*. ARG「生命機能科学応用開発グループ」研究成果報告書. 2022 年 4 月.

#### 発酵化学教育分野 (Laboratory of Fermentation Chemistry)

- B2-1 Okuyama S, Kotani M, Ninomiya F, Sawamoto A, Fujitani M, Ano Y\*, Kishida T, Nakajima M, Furukawa Y. The beneficial effects of *Citrus kawachiensis* peel on neurogenesis in the hippocampus and gut microbiota changes in a chronic unpredictable mild stress mouse model. *Nutraceuticals*. 2: 91-101. 2022.
- B2-2 Usui M, Kubota H, Ishihara M, Matsuki H, Kawabe S, Sugiura Y, Kataoka N, Matsushita K, Ano Y\*, Akakabe Y, Hours RA, Yakushi T, Adachi O. Histamine elimination by a coupling reaction of fungal amine oxidase and bacterial aldehyde oxidase. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 86: 1438-1447. 2022.
- B2-3 Nagaki K, Kataoka N, Theeragool G, Matsutani M, Ano Y\*, Matsushita K, Yakushi T. Periplasmic dehydroshikimate dehydratase combined with quinate oxidation in *Gluconobacter oxydans* for protocatechuate production. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 86: 1151-1159. 2022.
- B2-4 Kataoka N, Naoki K, Ano Y\*, Matsushita K, Yakushi T. Development of efficient 5-ketogluconate production system by *Gluconobacter japonicus*. *Applied Microbiology and Biotechnology*. 106: 7751-7761. 2022
- C-1 平野成菜\*・阿野嘉孝\*. 酢酸菌機能を活用した食品機能性の向上. 日本生物工学会西日本支部大会. 高知. 2022 年 11 月.
- D-1 阿野嘉孝\*. 微生物を見てみよう! 愛媛大学ジュニアドクター育成塾開講講座. オンライン. 2023 年 1 月 7 日.

## 動物細胞工学教育分野 (Laboratory of Animal Cell Technology)

- A-1 菅原卓也\*. 機能性食品の開発を核とした食品産業の活性化 - 農学研究科附属食品健康科学研究センターの取り組み -. 松山商工会議所所報. 760 : 14. 2022 年.
- A-2 菅原卓也\*. 地域の産学による学生への働きかけ. 就職みらい研究所. 就職白書 2023-学生の働く組織のより良いつながりに向けて. 26-29. 2023 年.
- B2-1 Harjadi KR, Ishida M\*, Nishi K\*, Sugahara T\*, Putra ABN. Water and ethanol extracts of tamarind (*Tamarindus indica*) suppress lipid accumulation in 3T3-L1 cells. *Canrea Journal: Food Technology, Nutritions, and Culinary Journal*. 5: 1-11. 2022.
- B2-2 Ishida M\*, Takekuni C, Nishi K\*, Sugahara T\*. *p*-Synephrine suppresses inflammatory responses in lipopolysaccharide-stimulated RAW264.7 cells and alleviates systemic inflammatory response syndrome in mice. *Food and Function*. 13: 5229-5239. 2022.
- B2-3 Ishida M\*, Ohara R, Miyagawa F, Kikuzaki H, Nishi K\*, Onda H, Yoshino N, Sugahara T\*. Umbelliferose isolated from *Cuminum cyminum* L. seeds inhibits antigen-induced degranulation in rat basophilic leukemia RBL-2H3 cells. *Molecules*. 27: 4101. 2022.
- B2-4 Kitamura Y, Nishi K\*, Ishida M\*, Nishimoto S, Sugahara T\*. Anti-allergic effect of aqueous extract of coriander (*Coriandrum sativum* L.) leaf in RBL-2H3 cells and cedar pollinosis model mice. *Nutraceuticals*. 2: 170-180. 2022.
- B2-5 Ohara R, Sugahara T\*, Sugie Y, Onda H, Yoshino N, Nishi K\*, Ishida M\*, Kikuzaki H. Identification of components in coriander (*Coriandrum sativum* L.) inhibiting degranulation of RBL-2H3 cells. *Fitoterapia*. 163: 105298. 2022.
- B2-6 Ishida M\*, Miyagawa F, Nishi K\*, Sugahara T\*. Aqueous extract from *Cuminum cyminum* L. seed alleviates ovalbumin-induced allergic rhinitis in mouse via balancing of helper T cells. *Foods*. 11: 3224. 2022.
- B2-7 Ochi R, Taniyama Y, Nishiwaki H, Nishi K\*, Sugahara T\*, Yamauchi S. Syntheses of 6-(2-hydroxy-6-phenylhexyl)-5,6-dihydro-2*H*-pyran-2-one derivatives and their cytotoxicities. *Phytochemical Letters*. 52: 118-121. 2022.
- B2-8 Minamoto C, Kondo R, Shiomi M, Kita A, Tagashira A, Ohmura SD, Matsuki T, Yano J, Nishi K\*, Sugahara T\*, Tomioka K. Effects of water hardness on the flavor and antioxidant activity of Ishizuchi dark tea. *Food Chemistry Advances*. 2: 100253. 2023.
- C-1 Nishi K\*. Anti-allergy effect of coffee. OTTIMMO International Master Gourmet Academy International Webinar “Current and Future Trends on Functional Food”. OTTIMMO International Master Gourmet Academy. Surabaya, Indonesia. Online. May, 2022.
- C-2 八木葵・石田萌子\*・西甲介\*・門田歩・菅原卓也\*. キウイフルーツ水溶性抽出物の抗アレルギー作用に関する研究. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会. 要旨 p. 191. 西宮市. 2022 年 6 月.
- C-3 吉井万由\*・石田萌子\*・藤井暁・早瀬川倫太郎・西甲介\*・菅原卓也\*. 熟成期間の違いによる黒酢の抗アレルギー効果の比較に関する研究. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会. 要旨 p. 191. 西宮市. 2022 年 6 月.
- C-4 石田萌子\*・竹國千尋\*・西甲介\*・菅原卓也\*. *p*-シネフリンの抗炎症効果とその作用機構に関する研究. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会. 要旨 p. 198. 西宮市. 2022 年 6 月.
- C-5 延岡玲奈\*・石田萌子\*・西甲介\*・恩田浩幸・菅原卓也\*. 黒コショウエタノール抽出物の抗炎症作用に関する研究. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会. 要旨 p. 214. 西宮市. 2022 年 6 月.
- C-6 小原理加・石田萌子\*・恩田浩幸・吉野七海・菅原卓也\*・杉江優奈・菊崎泰枝. コリアンダー (*Coriandrum sativum* L.) の抗アレルギー活性と活性寄与成分の解明. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会. 要旨 p. 239. 西宮市. 2022 年 6 月.
- C-7 金光穂乃花・池田剛・石田萌子\*・西甲介\*・菊崎泰枝・小原理加・恩田浩幸・菅原卓也\*. コリアンダー葉水溶性抽出物の脱顆粒抑制効果に関する研究. 第 76 回日本栄養・食糧学会大会. 要旨 p. 304.

西宮市. 2022年6月.

- C-8 中田晶大・西脇寿・西甲介\*・菅原卓也\*・今井祐記. フラボノイド Chrysin は破骨細胞分化を抑制する. 第40回日本骨代謝学会学術集会. 岐阜市. 2022年7月.
- C-9 田口裕菜\*・石田萌子\*・西甲介\*・敷島康普・三浦宏之・菅原卓也\*. ポリメトキシフラボノイドの抗炎症効果に関する研究. 日本動物細胞工学会2022年度大会 (JAAC2022 Tokyo). 要旨 p. 67. 東京. 2022年7月.
- C-10 高石萌加・西甲介\*・石田萌子\*・土居幹治・松本淳一・菅原卓也\*. 海産物水溶性抽出物の破骨細胞分化抑制効果に関する研究. 日本動物細胞工学会2022年度大会 (JAAC2022 Tokyo). 要旨 p. 72. 東京. 2022年7月.
- C-11 中田晶大・西脇寿・西甲介\*・菅原卓也\*・今井祐記. フラボノイド 5,7-Dihydroxyflavone は破骨細胞分化を抑制する. 日本ポリフェノール学会第15回学術集会. 東京. 2022年8月.
- C-12 Nishi K\*. Antiallergic activity of docosahexaenoic acid. 日本食品科学工学会第69回大会 国際交流シンポジウム「Innovation and International Collaboration of Food Science and Technology –International Cooperation Towards Sustainable Future–». 要旨 p. 43. オンライン. 2022年8月.
- C-13 古川美子・天倉吉章・奥山聡・好村守生・中島光業・伊賀瀬道也・菅原卓也\*・井上久雄・菊地毅洋・越智洋之・福田直大・玉井敬久・福田裕子・大谷友香・首藤正彦・菅原邦明. 高齢者の認知機能維持に貢献する河内晩柑由来機能性表示食品の開発. 日本生薬学会第68回年会 シンポジウム「生薬・食品等の天然素材の利活用に向けた基礎研究」. 要旨 p. 81-82. オンライン. 2022年9月.
- C-14 菅原卓也\*・安永翔\*・原裕子・白石敦・坂根由梨・鎌尾知行・竹澤由起・大橋裕一・菊池泰三・窪千明・門田歩・西甲介\*. 食品成分の抗アレルギー効果とそれを活用した商品開発. 日本生薬学会第68回年会 シンポジウム「生薬・食品等の天然素材の利活用に向けた基礎研究」. 要旨 p. 85-88. オンライン. 2022年9月.
- C-15 池田剛・中嶋圭介・金光穂乃花\*・石田萌子\*・西甲介\*・恩田浩幸・吉野七海・菅原卓也\*. コリアンダー (*Coriandrum sativum* L.) 葉水抽出物の脱顆粒抑制成分の探索研究. 日本生薬学会第68回年会. オンライン. 2022年9月.
- C-16 小原理加・石田萌子\*・恩田浩幸・菅原卓也\*・杉江優奈・菊崎泰枝. コリアンダー (*Coriandrum sativum* L.) 水溶性抽出物における脱顆粒抑制活性と活性寄与成分の解明. フードサイエンスフォーラム第25回学術集会. 神戸市. 2022年9月.
- C-17 Sugahara T\*. Development of functional food from wasted citrus peel for achievement of sustainable society. The 3rd International Conference of Agriculture (ICA). Faculty of Agriculture, University of Pembangunan Nasional “Veteran” Jawa Timur. Surabaya, Indonesia. Online. September, 2022.
- C-18 Sugahara T\*. Anti-allergic effect of ethanol extract of passion fruit seeds. The 2nd ISST 2022 Accelerating sustainable innovation towards Society 5.0. University of Terbuka, Indonesia. Online. October, 2022.
- C-19 Sugahara T\*, Mizusaki A\*, Murakami Y\*, Ishida M\*, Nishi K\*. Anti-allergy effect of passion fruit seed ethanol extract and identification of the active substances. 21st IUFOST World Congress 2022. Singapore. October, 2022.
- C-20 Nobuoka R\*, Nishi K\*, Ishida M\*, Onda H, Sugahara T\*. Anti-inflammatory effect of black pepper ethanol extract on adipocytes. 21st IUFOST World Congress 2022. Singapore. October, 2022.
- C-21 Yoshii M\*, Ishida M\*, Fujii A, Hayase R, Nishi K\*, Sugahara T\*. Anti-degranulation activity of black vinegar produced by traditional fermentation methods. 21st IUFOST World Congress 2022. Singapore. October, 2022.
- C-22 延岡玲奈\*・石田萌子\*・西甲介\*・恩田浩幸・菅原卓也\*. 黒コショウの脂肪細胞に対する抗炎症効果. 第36回日本香辛料研究会. 要旨 p. 12. 奈良市. 2022年11月.
- C-23 池田剛・中嶋圭介・金光穂乃花\*・石田萌子\*・西甲介\*・恩田浩幸・吉野七海・菅原卓也\*. パクチー水抽出物の抗アレルギー成分の探索研究. 第36回日本香辛料研究会. 要旨 p. 14. 奈良市. 2022年11月.

- C-24 小原理加・石田萌子\*・宮川楓加\*・菅原卓也\*・西甲介\*・恩田浩幸・吉野七海・米山茄那・裏谷瑞穂・平池葉月・良知桃子・菊崎泰枝. クミン (*Cuminum syminum* L.) の脱顆粒抑制活性及び活性寄与成分の解明. 第36回日本香辛料研究会. 要旨 p. 15. 奈良市. 2022年11月.
- C-25 菅原卓也\*. ノビレチンの保健機能における組合せ効果. ノビレチン研究会第6回学術研究会. 那覇市. 2022年11月.
- C-26 西甲介\*. 食べて機能性を発揮する天然物有機化合物. 日本農芸化学会中四国支部第44回市民フォーラム. 松山市. 2022年11月.
- C-27 Sugahara T\*. Development of functional food and possibility for collaboration in bioactive isolation research. BADAN POM Workshop on Reference Standards: establishment and use. Indonesia. Online. January, 2023.
- C-28 中田晶大・西脇寿・西甲介\*・菅原卓也\*・今井祐記. フラボノイド 5,7-Dihydroxyflavone は破骨細胞分化を抑制する. 日本農芸化学会中四国支部第64回講演会. 要旨 p. 39. 岡山市. 2023年1月.
- C-29 田口裕菜\*・石田萌子\*・西甲介\*・敷島康普・三浦宏之・菅原卓也\*. スダチチンとデメトキシスダチチンの抗炎症効果. 2022年度生物機能研究. 要旨 p. 13. 大阪市. 2023年3月.
- C-30 Sugahara T\*. Health functions of spices and herbs. Workshop on Spices and Herbs for Health. Gadjah Mada University. Yogyakarta, Indonesia. March, 2023.
- D-1 菅原卓也\*. 東温地域の食品関連産業の活性化. 愛媛大学地域協働センター中予東温開所記念シンポジウム. 東温市. 2022年4月7日.
- D-2 菅原卓也\*・中田充則. 愛媛 Food Camp (上) 学生と企業でヒット製品開発に挑戦. 日経キャリア教育 キャリエデュ. 2022年3月25日.
- D-3 菅原卓也\*. 愛媛 Food Camp (下) 学ぶ意欲を向上させ、進学誘導も. 日経キャリア教育 キャリエデュ. 2022年5月18日.
- D-4 池田剛・中嶋圭介・吉野七海・中村俊輔・恩田浩幸・葛西雅博・小池麻里子・菅原卓也\*・西甲介\*・石田萌子\*. 2-O-トランス-カフェオイルヒドロキシクエン酸の製造方法. 特願 2022-158668. 2022年9月30日出願.
- D-5 菅原卓也\*. 柑橘の栄養と機能性成分. 令和4年度柑橘産業人材育成プログラム. 松山市. オンライン. 2022年10月15日.
- D-6 菅原卓也\*. 食べて健康になる方法ー食品の機能性についてー. 済美高等学校 高大連携出張講義. 松山市. 2022年11月10日.
- D-7 菅原卓也\*. ミカンの健康効果ー大学の研究成果を活用した機能性食品開発ー. 愛媛県立今治西高等学校 高大連携出張講義. 今治市. 2022年11月16日.
- D-8 菅原卓也\*. ミカンの健康効果ー大学の研究成果を活用した機能性食品開発ー. 愛媛県立宇和島東高等学校 高大連携出張講義. 宇和島市. 2022年11月18日.
- D-9 菅原卓也\*. 愛媛 FoodCamp. 商願 2022-139956. 2022年12月7日出願.
- D-10 菅原卓也\*. 柑橘成分の免疫促進機能の特徴とする飼料で飼育ー産官学金共同開発製品「吟醸eポーク」の応用例ー. 伴走型小規模事業者支援推進事業 地元大学を活用した共同研究開発セミナー. 西条商工会議所. 西条市. 2022年12月20日.
- D-11 菅原卓也\*・西甲介\*. レモンの機能成分分析. 高大連携 新田青雲中等教育学校. 2023年1月.
- D-12 菅原卓也\*・恩田浩幸・西本壮吾. 免疫賦活剤及び免疫不活用食品組成物. 特許第7212329号. 2023年1月17日登録.
- D-13 辻岡芽依\*. 日本農芸化学会中四国支部奨励賞 (学生部門). 日本農芸化学会中四国支部. 2023年2月1日.
- D-14 田口裕菜\*. 優秀発表賞. 2022年度生物機能研究会. 2023年3月4日.

#### 遺伝子制御工学教育分野 (Laboratory of Molecular Physiology and Genetics)

- B2-1 Ohnishi S\*, Kawano-Kawada M\*, Yamamoto Y\*, Akiyama K\*, Sekito T\*. A vacuolar membrane protein

Vsb1p contributes to the vacuolar compartmentalization of basic amino acids in *Schizosaccharomyces pombe*. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 85: 587-599. 2022.

- C-1 御供遥\*・佐藤明香音\*・河田（河野）美幸\*・関藤孝之\*。酵母液胞アミノ酸トランスポーターAvt1の調節とその生理的意義の検討。第63回日本生化学会中国・四国支部例会。発表番号B06。オンライン開催。2022年5月。
- C-2 河田（河野）美幸\*・関藤孝之\*。酵母液胞膜の多様なアミノ酸トランスポーター。第16回トランスポーター研究会年会。発表番号S-5。徳島大学。2022年7月。
- C-3 Yamamoto Y\*, Kawano-Kawada M\*, Sato Y\*, Ishimoto M\*, Nozawa A, Kosako H, Sawasaki T, Sekito T\*. The N-terminal hydrophilic region of Avt4 plays a regulatory role on its and TORC1 activity to maintain amino acid homeostasis. The Protein Island Matsuyama, the 20th International Symposium. 愛媛大学。2022年9月。
- C-4 Sekito T\*, Kawano-Kawada M\*. The analysis of vacuolar amino acid transporters involved in the autophagic amino acid recycling. The 10th International Symposium on Autophagy. Poster 003. Chateraise Gateaux Kingdom Sapporo Hotel and SPA Resort. 2022年10月。
- C-5 御供遥\*・佐藤明香音\*・中城遥登\*・河田（河野）美幸\*・関藤孝之\*。酵母液胞アミノ酸トランスポーターの発現誘導とその生理的役割について。第45回日本分子生物学会年会。発表番号1P-434。幕張メッセ。2022年11月。
- C-6 山本悠介\*・佐藤有美香\*・石本品也\*・野澤彰・小迫英尊・澤崎達也・関藤孝之\*・河田（河野）美幸\*。液胞アミノ酸トランスポーターAvt4の輸送活性調節におけるN末端親水性領域による活性調節の役割について。第45回日本分子生物学会年会。発表番号1P-433。幕張メッセ。2022年11月。
- C-7 大西祥太\*・市村悠\*・川崎裕美\*・山本悠介\*・秋山浩一\*・関藤孝之\*・河田（河野）美幸\*。液胞への塩基性アミノ酸蓄積に関わるタンパク質の同定とその機能解析。第45回日本分子生物学会年会。発表番号1P-432。幕張メッセ。2022年11月。
- C-8 益村晃司・金井宗良・米山香織・河田美幸\*・関藤孝之\*・水沼正樹。出芽酵母の寿命制御に関与する液胞膜局在性トランスポーターSsg1の機能解析。第45回日本分子生物学会年会。発表番号3P-351。幕張メッセ。2022年12月。
- C-9 山本悠介\*・佐藤有美香\*・石本品也\*・野澤彰・小迫英尊・澤崎達也・関藤孝之\*・河田（河野）美幸\*。液胞アミノ酸トランスポーターAvt4 N末端領域の機能とその分子機構解明。日本農芸化学会中四国支部第64回講演会。発表番号H-7。岡山県立大学。2023年1月。
- C-10 中城遥登\*・濱田和\*・阿部創始\*・中川栞\*・河田（河野）美幸\*・関藤孝之\*。液胞アミノ酸リサイクルの生理的意義。日本農芸化学会中四国支部第64回講演会。発表番号H-6。(岡山県立大学) 2023年1月
- C-11 Sekito T\*. Vacuolar membrane ~A new world of transporters~. Kagawa International Forum on Advanced Genomics. かがわ国際会議場。2023年1月。
- D-1 秋山浩一\*・河田美幸\*・関藤孝之\*・村田希。令和4年度遺伝子組換え生物実験公開講座。愛媛大学農学部生命機能学科高大連携企画。2022年8月8日。
- D-2 関藤孝之\*。愛媛大学グローバルサイエンスキャンパス基盤学習講義 自分を食べるってどういうこと？～オートファジーの話～。2022年7月31日。
- D-3 関藤孝之\*。愛媛県立今治北高等学校模擬授業。2022年8月18日。
- D-4 秋山浩一\*。出張講義「原子力防災の基礎知識」。公益財団法人原子力安全技術センター主催愛媛県原子力防災訓練講習会。2022年10月12日。
- D-5 関藤孝之\*。済美平成中等教育学校学部説明。2022年10月13日。
- D-6 秋山浩一\*。出張講義「遺伝子組換え生物とゲノム編集生物」。済美高等学校。2022年11月10日。
- D-7 大西祥太\*。MBSJ 2022 サイエンスピッチアワード（優秀発表賞）。第45回日本分子生物学会年会。2022年12月。
- D-8 大西祥太\*。令和4年度日本化学会中国四国支部支部長賞。日本化学会中国四国支部。2023年3月。

地域健康栄養学分野 (Laboratory of Community Health and Nutrition)

- B2-1 Cui R, Iso H, Eshak ES, Maruyama K\*, Ishihara J, Takachi R, Sawada N, Tsugane S; JPHC Study Group. Non-alcoholic beverages intake and risk of CVD among Japanese men and women: the Japan Public Health Center study. *British Journal of Nutrition*. 127: 1742-1749. 2022.
- B2-2 Takahashi M, Kinoshita T, Maruyama K\*, Suzuki T. CYP7A1, NPC1L1, ABCB1, and CD36 polymorphisms associated with coenzyme Q10 availability affect the subjective quality of life score (SF-36) after long-term CoQ10 supplementation in women. *Nutrients*. 14: 2579. 2022.
- B2-3 Tajima T, Ikeda A, Steptoe A, Takahashi K, Maruyama K\*, Tomooka K, Saito I, Tanigawa T. The independent association between salivary alpha-amylase activity and arterial stiffness in Japanese men and women: the Toon health study. *Hypertension Research*. 45: 1249-1262. 2022.
- B2-4 Maruyama K\*, Khairunnisa S, Saito I, Tanigawa T, Tomooka K, Minato-Inokawa S, Sano M, Takakado M, Kawamura R, Takata Y, Osawa H. Association of fish and omega-3 fatty acid intake with carotid intima-media thickness in middle-aged to elderly Japanese men and women: the Toon health study. *Nutrients*. 14: 3644. 2022.
- B2-5 Saito I, Maruyama K\*, Kato T, Takata Y, Tomooka K, Kawamura R, Osawa H, Tanigawa T. Role of insulin resistance in the association between resting heart rate and type 2 diabetes: a prospective study. *Journal of Diabetes and its Complications*. 36: 108319. 2022.
- B2-6 Ishihara M, Imano H, Muraki I, Yamagishi K, Maruyama K\*, Hayama-Terada M, Tanaka M, Yasuoka M, Kihara T, Kiyama M, Okada T, Takada M, Shimizu Y, Sobue T, Iso H. Relationships of habitual daily alcohol consumption with all-day and time-specific average glucose levels among non-diabetic population samples. *Environmental Health and Preventive Medicine*. 28: 20. 2023.
- B2-7 Yamagishi K, Maruyama K\*, Ikeda A, Nagao M, Noda H, Umesawa M, Hayama-Terada M, Muraki I, Okada C, Tanaka M, Kishida R, Kihara T, Ohira T, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Tanigawa T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H. Dietary fiber intake and risk of incident disabling dementia: the circulatory risk in communities study. *Nutritional Neuroscience*. 26: 148-155. 2023.
- B2-8 Matsuo R, Tanigawa T, Oshima A, Tomooka K, Ikeda A, Wada H, Maruyama K\*, Saito I. Decreased psychomotor vigilance is a risk factor for motor vehicle crashes irrespective of subjective daytime sleepiness: the Toon health study. *Journal of Clinical Sleep Medicine*. 19: 319-325. 2023.
- B2-9 Kishida R, Yamagishi K, Maruyama K\*, Okada C, Tanaka M, Ikeda A, Hayama-Terada M, Shimizu Y, Muraki I, Umesawa M, Imano H, Brunner EJ, Sankai T, Okada T, Kitamura A, Kiyama M, Iso H. Dietary intake of beans and risk of disabling dementia: The Circulatory Risk in Communities Study (CIRCS). *European Journal of Clinical Nutrition*. 77: 65-70. 2023.
- B2-10 三好賢一・大蔵隆文・上村太朗・七條聖・牧田愛祐・長尾知明・丸山広達\*・水口聡・山口修. 愛媛県農林水産研究所で開発された難消化蛋白米の慢性腎臓病患者に対する有用性の検討. *愛媛医学*. 41: 87-91. 2022.
- B2-11 久保彰子・久野一恵・丸山広達\*・月野ホルミ・野田博之・江川賢一・澁谷いづみ・勢井雅子・千原三枝子・仁科一江・八谷寛. 新型コロナウイルス感染症蔓延による都道府県民健康・栄養調査への影響: 日本公衆衛生学会公衆衛生モニタリング・レポート委員会報告. *日本公衆衛生雑誌*. 69: 586-594. 2022.
- B3-1 Yoshiuchi K, Yamada H, Takakura S, Isobe M, Maruyama K\*, Nagata T. Assessment and Treatment of Eating Disorders. *Journal of Nutritional Science and Vitaminology (Tokyo)*. 68 (Supplement):S46-S48. 2022.
- C-1 石木純\*・宮崎さおり\*・丸山広達\*・友岡清秀・谷川武・斉藤功. 菓子類摂取量と要介護認知症の関連: 東温スタディ. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 西宮. 2022年6月.
- C-2 古川結唯\*・丸山広達\*・友岡清秀・谷川武・斉藤功. BMIと糖尿病発症との関連における栄養補助食品の影響: 東温スタディ. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 西宮. 2022年6月.

- C-3 許婷婷\*・李佳\*・猪川聡美\*・丸山広達\*. 高アミロース米の食後血糖値に関するシステマティックレビュー. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 西宮. 2022年6月.
- C-4 李佳\*・丸山広達\*・水口聡・利光久美子・川村良一・高田康徳・大澤春彦. 糖尿病患者を対象とした高アミロース米「ホシニシキ」によるFGMで評価した食後のグルコース値への影響. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 西宮. 2022年6月.
- C-5 土居龍之介\*・王ヨウタン\*・木下徹\*・丸山広達\*. 瀬戸内地域の食品を使った健康食パターンの確立. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 西宮. 2022年6月.
- C-6 猪川聡美\*・丸山広達\*・本田まり. 男性勤労者の高血圧発症要因—職域における栄養教育と食環境介入のための疫学的検討. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 西宮. 2022年6月.
- C-7 松崎有紗\*・丸山広達\*. ダイエット食品に対するインターネット上の口コミデータにみる減量者の口コミの特徴. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-8 宮崎さおり\*・丸山広達\*・友岡清秀・谷川武・斉藤功. 低炭水化物食と軽度認知障害との関連：東温スタディ. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-9 山崎幸\*・丸山広達\*・友岡清秀・谷川武・斉藤功. 食事バランスガイド遵守と要介護認知症との関連：東温スタディ. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-10 矢吹友哉\*・丸山広達\*・淡野寧彦・友岡清秀・谷川武・斉藤功. 居住地域別でみた一次産業従事者と活力との関連：東温スタディ. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-11 Salsabila Khairunnisa, Koutatsu Maruyama, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. Association between dietary fat intake and mild cognitive impairment. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-12 木下徹\*・丸山広達\*・赤井圭二. 北海道沼田町のトマトまたはサウナを活用した地域住民との健康づくり活動. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-13 斉藤功・山内加奈子・舩越弥生・丸山広達\*・加藤匡宏. 心拍変動と健康関連 QOL に関する横断的研究. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-14 謝敷裕美・友岡清秀・野田愛・丸山広達\*・斉藤功・谷川武. 地域住民における歯痕舌と上腕血圧ならびに中心血圧との関連：東温スタディ. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-15 大竹理功・野田愛・丸山広達\*・和田裕雄・谷川武. 小児におけるソーシャルジェットラグと多動及び不安の関連. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-16 丸山広達\*・入野了士・淡野寧彦・岡田克俊・和田彩子・白石由起・河野英明・斉藤功. 愛媛県ビッグデータ活用県民健康づくり～国保の特定健康診査項目の経年推移について～. 第81回日本公衆衛生学会総会. 甲府. 2022年10月.
- C-17 松崎有紗\*・丸山広達\*. インターネット上の口コミデータにみるダイエット食品の形態ならびに口コミと体重変化との関連. IDR ユーザフォーラム 2022. Web 開催. 2022年12月.
- C-18 Yui Furukawa\*, Koutatsu Maruyama\*, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. The association between rice intake and snoring: the Toon health study. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-19 Saori Miyazaki\*, Koutatsu Maruyama\*, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. Association between predicted body fat mass and mild cognitive impairment among community-dwelling Japanese men and women: the Toon health study. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-20 Daiki Kanno\*, Koutatsu Maruyama\*, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. The association between diabetic status and BMI change during the COVID-19 pandemic: the Toon health study. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-21 Jun Ishiki\*, Koutatsu Maruyama\*, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. The association of  $\beta$ -carotene intake with mild cognitive impairment: the Toon health study. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-22 Yuya Yabuki\*, Koutatsu Maruyama\*, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. Associations of

- vegetable intake and primary industry workers with vitality: the Toon health study. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-23 Jia Li\*, Koutatsu Maruyama\*, Kiyohide Tomooka, Takeshi Tanigawa, Isao Saito. The association between rice intake and chronic kidney disease: the Toon health study. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-24 Arisa Matsuzaki\*, Koutatsu Maruyama\*. Associations of review patterns of diet foods and drinks with self-reported weight changes among Japanese men and women. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-25 Tingting Xu\*, Jia Li\*, Salsabila Khairunnisa\*, Satomi Inokawa\*, Koutatsu Maruyama\*. A meta-analysis of the effect of high-amylose rice consumption on postprandial glycemic response. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-26 Salsabila Khairunnisa\*, Satomi Inokawa\*, Koutatsu Maruyama\*. The association between N-3 fatty acids intake and risk of dementia: a systematic review and meta-analysis. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-27 Satomi Minato-Inokawa\*, Yasuna Tabuchi, Yuna Naraoka, Koutatsu Maruyama\*, Momo Hosokawa. Maternal vitamin D deficiency and the intention to exclusive breastfeeding during the COVID-19 pandemic in Japan. The 22nd International Congress of Nutrition. 東京. 2022年12月.
- C-28 許婷婷\*・丸山広達\*. 糖尿病患者を対象とした愛媛県産高アミロース米粉パンの糖代謝指標に及ぼす影響に関する無作為化比較試験. 第68回四国公衆衛生学会総会・2022年度四国公衆衛生研究発表会. 高松. 2023年2月.
- C-29 渡津麻由\*・丸山広達\*. 中高齢者における新型コロナウイルス感染症流行下での外食の頻度の変化に関連する要因: 東温スタディ. 第68回四国公衆衛生学会総会・2022年度四国公衆衛生研究発表会. 高松. 2023年2月.
- C-30 金田みなみ\*・丸山広達\*. 肥満者の健康補助食品の摂取状況について: 東温スタディ. 第68回四国公衆衛生学会総会・2022年度四国公衆衛生研究発表会. 高松. 2023年2月.
- C-31 土居龍之介\*・丸山広達\*・木下徹\*. 瀬戸内地域の食品を使った食パターンに関連した料理の特徴について. 第68回四国公衆衛生学会総会・2022年度四国公衆衛生研究発表会. 高松. 2023年2月.
- D-1 丸山広達\*・山岸良匡. 国内コホート研究の知見に基づく循環器疾患予防のための栄養・食生活. 医学のあゆみ. 284: 25-32. 2023.

### 健康機能栄養科学特別コース (Special Course of Food and Health Science)

#### 食品微生物機能学教育分野 (Laboratory of Food Microbial Biotechnology)

- B2-1 Okuyama S, Kotani M, Ninomiya F, Sawamoto A, Fujitani M, Ano Y\*, Kishida T, Nakajima M, Furukawa Y. The beneficial effects of *Citrus kawachiensis* peel on neurogenesis in the hippocampus and gut microbiota changes in a chronic unpredictable mild stress mouse model. *Nutraceuticals*. 2: 91-101. 2022.
- B2-2 Usui M, Kubota H, Ishihara M, Matsuki H, Kawabe S, Sugiura Y, Kataoka N, Matsushita K, Ano Y\*, Akakabe Y, Hours RA, Yakushi T, Adachi O. Histamine elimination by a coupling reaction of fungal amine oxidase and bacterial aldehyde oxidase. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 86: 1438-1447. 2022.
- B2-3 Nagaki K, Kataoka N, Theeragool G, Matsutani M, Ano Y\*, Matsushita K, Yakushi T. Periplasmic dehydroshikimate dehydratase combined with quinate oxidation in *Gluconobacter oxydans* for protocatechuate production. *Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry*. 86: 1151-1159. 2022.
- B2-4 Kataoka N, Naoki K, Ano Y\*, Matsushita K, Yakushi T. Development of efficient 5-ketogluconate production system by *Gluconobacter japonicus*. *Applied Microbiology and Biotechnology*. 106: 7751-7761. 2022

- C-1 平野成菜\*・阿野嘉孝\*. 酢酸菌機能を活用した食品機能性の向上. 日本生物工学会西日本支部大会. 高知. 2022年11月.
- D-1 阿野嘉孝\*. 微生物を見てみよう! 愛媛大学ジュニアドクター育成塾開講講座. オンライン. 2023年1月7日.

**生物環境学科**  
(Department of Forest Resources)

**森林資源科学専門教育コース (Department of Forest Resources)**

**森林遺伝学教育分野 (Laboratory of Forest Genetics)**

- B2-1 Kamiya K\*, Ogasahara M\*, Kenzo T, Muramoto Y, Araki T, Ichie T. Genetic diversity and structure of *Quercus hondae*, a rare evergreen oak species in Southwestern Japan. *Forests*. 13: 579. 2022.
- B2-2 Okuno S, Yin T, Nanami S, Matsuyama S, Kamiya K\*, Tan S, Davies SJ, Mohamad M, Yamakura T, Itoh A. Community phylogeny and spatial scale affect phylogenetic diversity metrics in a species-rich rainforest in Borneo. *Ecology and Evolution*. 12: e9536. 2022.
- B2-3 Mufarhatun N, Susilowati A, Hilwan I, Arrofa N, Yulita KS, Dwiyantri FG, Hidayat A, Kamiya K\*, Rachmat HH. Leaf morphological traits of nine major tropical trees of *Shorea* species (Dipterocarpaceae). *Biodiversitas*. 24: 1704-1712. 2023.
- C-1 Aulianisa EN\*, Siregar UJ, Siregar IZ, Hamzah H, Ogasahara M\*, Kamiya K\*. Morphological and molecular evidence of natural interspecific hybridization between *Dyera polyphylla* and *D. costulata* in Sumatra and Kalimantan. 第32回日本熱帯生態学会大会. 名古屋. 2022年6月.
- C-2 Nutiprapun P・Itoh A・Nanami S・Okuno S・Matsuyama S・Kamiya K\*・Tan S・Mohamad M. Conspecific negative density dependence in Bornean rainforest seedlings. 第32回日本熱帯生態学会大会. 名古屋. 2022年6月.
- C-3 奥野聖也・Yin T・名波哲・松山周平・上谷浩一\*・Tan S・山倉拓夫・伊東明. ボルネオ熱帯雨林樹木におけるニッチ分割とその進化的プロセス. 第70回日本生態学会大会. 仙台. 2023年3月.
- C-4 小笠原実里\*・Cobb AR・Sukri RS・Metali F・田中憲蔵・米田令仁・Azani MA・Lum SKY・上谷浩一\*. MIG-seq法を用いたフタバガキ科樹木セラヤの遺伝的変異と集団構造の評価. 第134回日本森林学会大会. 鳥取. 2023年3月.

**森林資源利用システム教育分野 (Laboratory of Wood Science and Technology)**

- B1-1 杉元宏行\*. 内部構造変化をもたらす木材の光透過性の向上. 日本接着学会誌. 58(9):306-312. 2022.
- C-1 西原裕記\*・杉元宏行\*・杉森正敏\*. 抽出処理による木材の可視光分光特性の変化. 第73回日本木材学会大会. 福岡. 2023年3月15日.

**森林環境制御教育分野 (Laboratory of Geo-ecosystem Control and Watershed Management)**

- A-1 桂真也・畠田和弘・木村誇\*・丸山清輝・池田慎二・秋山一弥. 第10章 積雪期における地すべり土塊内の地下水の流れの解明. 公益社団法人砂防学会 編「砂防の観測の現場を訪ねて3～水の動きの不思議～」. 129-136. 2022年.
- B2-1 Kimura T\*, Sakai N, Tanaka Y, Nagakura K, Matsuya K. Millennial-scale coseismic landslide history inferred from topographic and stratigraphic features of a post-caldera cone of Aso Volcano in southwestern Japan. *Geomorphology*. 422: 108553. 2023.

- B3-1 木村誇\*. 空中写真・航空レーザ測量等を用いた斜面崩壊と地すべりの判読. 砂防学会誌 75(4): 36-42. 2022.
- C-1 Thang NV, Kitamura N, Wakai A, Sato G, Kimura T\*, Osman A, Toll D, Taib AM, Taha MR. Landslide risk assessment during rainfall based on a prediction model for surface water and groundwater: A case study in Kajang, Selangor, Malaysia. The 3rd International Symposium on Risk Assessment and Sustainable Stability Design of Slopes (ISRSS-Sendai 2022). 仙台市. 2022年3月.
- C-2 木村誇\*. 航空レーザ測量の標高差解析における誤差要因と土砂量推定への影響: 阿蘇火山の火山灰被覆斜面における事例. 第71回砂防学会研究発表会. 第71回砂防学会研究発表会概要集 237-238. 宮崎市. 2022年5月.
- C-3 木村誇\*・佐藤剛. 平成30年7月豪雨により芸予諸島大三島で発生した造成農地斜面の崩壊とその要因. 日本地球惑星科学連合2022年大会. 千葉市. 2022年5月.
- C-4 木村誇\*. Mobility of earthquake-induced tephra deposit landslides: Error factors in elevation differential analysis and their impact on mobility evaluation. 日本地球惑星科学連合2022年大会. 千葉市. 2022年5月.
- C-5 山田隆二・村松武・苅谷愛彦・木村誇\*・佐藤昌人・寺岡義治. 長野県南信州地域の河谷に分布する埋もれ木の年代と地変. 日本地球惑星科学連合2022年大会. 千葉市. 2022年5月.
- C-6 北村七葉・Nguyen Van Thang・若井明彦・尾崎昂嗣・佐藤剛・木村誇\*・Jessada Karnjana・Kanokvate Tungpimolrut・Seksun Sartsatit・Udom Lewlomphaisarl. 広域的な土砂災害危険度評価における空間補間した降雨強度の適用性. 第57回地盤工学研究発表会. 新潟市. 2022年7月.
- C-7 北村七葉・若井明彦・Nguyen Van Thang・尾崎昂嗣・佐藤剛・木村誇\*. 地下水位変動を考慮した広域的な土砂災害危険度評価に用いる表層モデルの検討. 第61回日本地すべり学会研究発表会. 福岡市. 2022年9月.
- C-8 Nguyen Van Thang・尾崎昂嗣・木村誇\*・若井明彦・佐藤剛・北村七葉. Simulation of rainfall-induced disasters in Gogoshima, Ehime, Japan based on a simple method. 第61回日本地すべり学会研究発表会. 福岡市. 2022年9月.
- C-9 須藤皓介・若井明彦・佐藤剛・尾崎昂嗣・蜂屋孝太郎・木村誇\*・林田昇. 豪雨時崩壊の早期警戒システム検討のための実斜面モニタリング事例. 第61回日本地すべり学会研究発表会. 福岡市. 2022年9月.
- C-10 佐藤剛・尾崎昂嗣・横山修・山崎孝成・若井明彦・北村七葉・木村誇\*. タイ・チェンマイ県 Homong 村落を対象とした地形分類に基づく土砂災害ハザードマップの作成. 第61回日本地すべり学会研究発表会. 福岡市. 2022年9月.
- D-1 木村誇\*. 放棄地を含む造成農地の分布把握と崩壊危険性評価. すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会 第2回研究委員会. 三好市. 2022年10月.

#### 森林化学教育分野 (Laboratory of Forest Chemistry)

- B2-1 伊藤和貴\*・庭先隆・田中寿郎. 教室機械換気の実際—教室の換気はどうなっているの?—. 大学教育実践ジャーナル. 22: 27-30. 2023年3月.
- C-1 伊藤和貴\*・隅田学・田中寿郎. 中学校理科実験で繰り返し発生する硫化水素事故. 第12回 REHSE 環境安全研究発表会. 東京. 2023年3月8日.

#### 森林資源計画教育分野 (Laboratory of Forest Resources Planning)

- B-1 都築勇人\*. 航空機 LiDAR による森林環境評価技術. 車載テクノロジー. 10: 42-45. 2023.
- C-1 小関崇・寺下太郎・山田容三・都築勇人\*・川崎章恵. 林業技能者における就業前専門教育の役割—大分県を事例に—. 第134回日本森林学会大会. 鳥取市. 2023年3月26日.
- D-1 都築勇人\*. 林業のスマート化について. 愛媛大学大学院農学研究科・愛媛県農林水産研究所合同研修会. 松山市. 資料 21-30. 2022年9月13日.
- D-2 Nurdin D\*. Investigation of the abundance of tree resources in the Wallacea region of Sulawesi (Case study:

- Hasanuddin university forest). 農学研究科国際ワークショップ 2022. 松山市. 2022 年 12 月 12 日.
- D-3 Amela P\*. Analysis of land use in the face of climate change in the territory of KUTU in the province of Mai-Ndombe in the Democratic Republic of Congo (DRC). 農学研究科国際ワークショップ 2022. 松山市. 2022 年 12 月 12 日.
- D-4 都築勇人\*. J-クレジット森林関係について. 西予市森林協議会. 西予市. 2023 年 2 月 20 日.

#### 森林環境管理学教育分野 (Laboratory of Forest Environment Management)

- C-1 川崎章恵\*. 林業における労災保険特別加入制度と一人親方団体を取り巻く状況. 林業経済学会 2022 年秋季大会. 京都大学. 2022 年 12 月.
- C-2 小関崇\*・寺下太郎・山田容三・都築勇人・川崎章恵\*. 林業技能者養成における就業前専門教育の役割—大分県を事例に—. 第 134 回日本森林学会大会. オンライン. 2023 年 3 月.
- D-1 川崎章恵\*. 林業技術者育成に向けた課題—滋賀県の事例—. 令和 4 年度「緑の雇用」事業の評価に関する調査報告書. 全国森林組合連合会. pp.151-160. 2023 年 3 月.

#### 地域環境工学専門教育コース (Department of Rural Engineering)

##### 施設基盤学研究室 (Laboratory of Geotechnical and Geoenvironmental Engineering)

- B2-1 豊田辰方・泉智揮・木全卓・熊野直子\*・小林範之\*. 3D-DEM-MPS 法を用いた背面土の飽和による農地石垣崩壊シミュレーション. 農業農村工学会論文集. 90 : I\_175-I\_182. 2022.
- C-1 平石カムイ・武山絵美・小林範之\*. ため池群を構成する各ため池の類型化と立地特性および管理実態. 2022 年度 (第 71 回) 農業農村工学会大会講演会講演要旨集. 391-392. 金沢市. 2022 年 8 月.
- C-2 指原豊・上加裕子・土井義典・大畑秀平・六車浩二・有馬誠一・武山絵美・小林範之\*. 急傾斜地小型ロボット農業システムの開発—走行ユニット安定化のための重心制御機構—. 第 80 回農業食料工学会年次大会. オンライン. 2022 年 9 月.
- C-3 六車浩二・上加裕子・指原豊・大畑秀平・有馬誠一・武山絵美・小林範之\*. 急傾斜地小型ロボット農業システムの開発—音源定位を利用した人追従アルゴリズムの実装—. 第 80 回農業食料工学会年次大会. オンライン. 2022 年 9 月.
- C-4 泉智揮・田淵完斗・岡川達哉・山下尚之・小林範之\*. 急傾斜園地模型を用いた降雨強度の違いによる斜面安定性の実験的検討. 第 77 回農業農村工学会中国四国支部講演会. 6-8. WEB 公開形式. 2022 年 12 月.
- C-5 重松菜南子・小林範之\*. ウェーブレット変換による荒砥沢ダムの地震伝播特性の評価. 第 77 回農業農村工学会中国四国支部講演会. 24-25. WEB 公開形式. 2022 年 12 月.
- C-6 大槻ちひろ・小林範之\*. 経験的モード分解を援用した地震波干渉法による大柿ダムのクラック発生要因の検討. 第 77 回農業農村工学会中国四国支部講演会. 38-39. WEB 公開形式. 2022 年 12 月.
- C-7 大竹里沙・小林範之\*. 地理情報システム GIS と Deep Learning による斜面土砂崩壊量の推定. 第 77 回農業農村工学会中国四国支部講演会. 52-53. WEB 公開形式. 2022 年 12 月.
- C-8 久保田彩水・武山絵美・行長啓三・小林範之\*. ヌートリアによる農業用水路の利用・損壊現象と被害対策の実態解明. 2022 年度農村計画学会秋期大会学術研究発表会. 21-22. 松山市. 2022 年 12 月.

##### 水資源システム工学教育分野 (Laboratory of Water Resources Engineering)

- B2-1 豊田辰方・泉智揮\*・木全卓・熊野直子・小林範之. 3D-DEM-MPS 法を用いた背面土の飽和による農地石垣崩壊シミュレーション. 農業農村工学会論文集. 314 : I\_175-I\_182. 2022.
- B2-2 Izumi T\*, Yamashita N. Numerical models for non-Darcy flow based on Forchheimer's law and Izbash's law.

Proceedings of the 39th IAHR World Congress. 4081-4086. 2022.

- B2-3 山口武志・田中宏明・井原賢・山下尚之\*. 合流式下水処理場における溶存態有機物を用いた雨天時簡易処理放流発生を検出法の比較. 環境衛生工学研究. 36 : 108-113. 2022.
- B2-4 山口武志・山下尚之\*・田中宏明. 混同行列に基づいた河川水中の溶存態有機物による雨天時下水処理場簡易処理放流発生を検出法の比較. 土木学会論文集 G (環境). 78 : III\_195-III\_203. 2022.
- C-1 Unami K, Fadhil RM, Al-Ta' ee SSQ, Izumi T\*, Sato M. Two-dimensional kinematic waves over small watersheds of non-convex topography in Northern Iraq. 6th International Congress on Water, Waste and Energy Management. 84. July 22, 2022.
- C-2 竹内潤一郎・王霄逸・竹内雄人・藤原正幸・泉智揮\*. 変分法を用いた非ダルシー流れの定式化. 第30回日本雨水資源化システム学会. 88-91. 岐阜市. 2022年10月.
- C-3 渡邊佳成・藤原正幸・一恩英二・長野峻介・泉智揮\*. 起伏ゲート・落差工のある農業水路におけるアユの遡上シミュレーション. 第79回農業農村工学会京都支部研究発表会. 神戸市. 2022年11月.
- C-4 泉智揮\*・田淵完斗・岡川達哉・山下尚之\*・小林範之. 急傾斜園地模型を用いた降雨強度の違いによる斜面安定性の実験的検討. 第77回農業農村工学会中国四国支部講演会. 6-8. オンライン. 2022年12月.
- C-5 山口武志・田中宏明・井原賢・山下尚之\*. 合流式下水処理場における溶存態有機物を用いた雨天時簡易処理放流発生を検出法の比較. 第44回京都大学環境衛生工学研究会. 京都市. 2022.
- C-6 Qun X, Fukahori S, Im D, Yamashita N\*, Takeuchi H, Tanaka H, Fujiwara T. Removal of pharmaceuticals and personal care products in reverse osmosis concentrate from a water reclamation plant by a rotating advanced oxidation contactor. 第44回京都大学環境衛生工学研究会. 京都市. 2022.
- C-7 山口武志・山下尚之\*・田中宏明. 混同行列に基づいた河川水中の溶存態有機物による雨天時下水処理場簡易処理放流発生を検出法の比較. 第59回環境工学研究フォーラム. 盛岡市. 2022.
- C-8 姫野光生・山下尚之・泉智揮. 重信川水系における無機態および有機態栄養塩類の存在実態. 第57回日本水環境学会年会. 松山市. 2023.
- C-9 山下尚之\*・泉智揮. 下水処理場の各処理過程における第3世代セファロsporin耐性大腸菌の存在実態. 第57回日本水環境学会年会. 松山市. 2023.
- D-1 佐藤麻理恵・宇波耕一・泉智揮\*. イラク北部ニーナワー県における多元社会の学際的将来像 (The interdisciplinary landscape of a pluralistic society in Nineveh Governorate of Northern Iraq). 海外学術調査フォーラム. オンライン. 2022年6月.
- D-2 泉智揮\*. 松山市の地下水について. 令和4年度重信川流域地下水保全連絡会. 2023年2月.
- D-3 小林範之・泉智揮\*. 樹園地における斜面崩壊の防災・減災に関する研究. 柑橘産業復興支援事業 (復興支援活動調査研究) 成果報告書. 1-32. 2023年3月.
- D-4 小林範之・泉智揮\*. 樹園地における斜面崩壊の防災・減災に関する研究. 柑橘産業復興支援事業 (復興支援活動調査研究) 成果報告会. 宇和島市. 2023年3月.

#### 地域水文気象学教育分野 (Laboratory of Hydrometeorology for Environmental Science)

- B2-1 Oue H\*, Mon MM\*, Irsyad F\*, Utami AS\*, Zaw Y\*. Stomatal and photosynthetic responses of soybean with two types of mulch under different soil water conditions. IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science. 1059: 012038. 2022. doi:10.1088/1755-1315/1059/1/012038
- B2-2 Irsyad F\*, Oue H\*, Mon MM\*. Monitoring responses of NDVI and canopy temperature in a rice field to soil water and meteorological conditions. IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science. 1059: 012037. 2022. doi:10.1088/1755-1315/1059/1/012037
- B2-3 Utami AS\*, Oue H\*. Traditional ecological knowledge in irrigation water management in Tanah Datar District West Sumatera. IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science. 1059: 012036. 2022. doi:10.1088/1755-1315/1059/1/012036

- B2-4 Zaw Y\*, Oue H\*. Comparison of interception loss by different rainfall magnitudes within a secondary forest of Popa Mountain Park, Myanmar. IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science. 1059: 012039. 2022. doi:10.1088/1755-1315/1059/1/012039
- B2-5 Mon MM\*, Oue H\*. Effects of mulches combination with different SWC on soil properties and soybean production. IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science. 1059: 012040. 2022. doi:10.1088/1755-1315/1059/1/012040
- B2-6 Irsyad F\*, Oue H\*, Utami AS\*, Ekaputra EG. Impacts of the dry season on rice production using Landsat 8 in West Sumatra. Paddy and Water Environment. 21. 2022. doi:10.1007/s10333-022-00922-6.
- B2-7 Utami AS\*, Oue H\*. Traditional value and its function in managing modern irrigation system in West Sumatra Indonesia. Sustainable Water Resources Management. 9: 1-11. 2022. doi:10.1007/s40899-023-00830-5.
- B2-8 野原大督・佐藤嘉展\*・角哲也. 150年連続気候実験データを用いた積雪地域におけるダム季節運用への気候変動の影響評価. 土木学会論文集 B1 (水工学). 78 : I\_73-I-78. 2022.
- C-1 Oue H\*. Use of agricultural meteorological data to support the plant production management. International Seminar on Smart Farming 2022. Hasanuddin University. August 10, 2022.
- C-2 Oue H\*. Use of agricultural meteorology data for sustainable plant production. empowering rostrum for innovation and development. water application and sustainability in agriculture. Jiangsu University. October 11, 2022.
- C-3 Oue H\*, Zaw Y\*, Yuliawan T\*, Ichwan N\*, Ukpoju A\*, Irsyad F\*, Mon MM\*, Utami AS\*. Comparisons in the stomatal conductance and electron transport rate of the four Japanese rice cultivars. The 5th International Conference on Sustainability Agriculture and Biosystem. Andalas University. November 24, 2022.
- C-4 Yuliawan T\*, Oue H\*, Ichwan N\*, Ukpoju A\*. Comparison of plant growth and yield of rice under double-row and tile transplanting systems. The 5th International Conference on Sustainability Agriculture and Biosystem. Andalas University. November 24, 2022.
- C-5 Ichwan N\*, Oue H\*, Yuliawan T\*, Ukpoju A\*. Yield and Biomass under the Different Water Levels on Three Japonica Rice Cultivars. The 5th International Conference on Sustainability Agriculture and Biosystem. Andalas University. November 24, 2022.
- C-6 大上博基\*, Zaw Y\*, Yuliawan T\*, Ichwan N\*, Ukpoju A\*. 主要コメ3品種と比較した「ひめの凜」群落温度の特性. 令和4年度農業気象学会中四国支部. 中国四国の農業気象. 35. 2022年12月2日.
- C-7 Oue H\*, Zaw Y\*, Yuliawan T\*, Ichwan N\*, Ukpoju A\*. Specificities in the stomatal conductance and canopy temperature of Himenorin compared with the other three rice cultivars. International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM2023). ISAM-1-1. 182. March 17, 2023.
- C-8 Ichwan N\*, Oue H\*, Yuliawan T\*, Ukpoju A\*. Evapotranspiration and water use efficiency under the different water levels on three Japonica rice cultivars. International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM2023). ISAM-1-2. 183. March 17, 2023.
- C-9 Ukpoju A\*, Oue H\*, Yuliawan T\*, Ichwan N\*. Effect of plant spacing on crop coefficient for estimating evaporation of Japonica rice. International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM2023). ISAM-1-3. 184. March 17, 2023.
- C-10 Yuliawan T\*, Oue H\*, Ichwan N\*, Ukpoju A\*. Comparison of production and grain quality of rice under double-row and tile transplanting system. International Symposium on Agricultural Meteorology (ISAM2023). ISAM-1-4. 185. March 17, 2023.
- C-11 佐藤嘉展\*・高瀬恵次・藤原洋一. 温暖化が進むと石川県の気象や水資源はどうなってしまうのか? ~コンピュータシミュレーションによる手取川流域のこれまでとこれから~. いしかわ環境フェア 2022. 2022年8月20-21日.
- C-12 野原大督・佐藤嘉展\*・角哲也. 150年連続気候データを用いた積雪地域のダム季節運用に対する気

- 候変動の影響評価. 令和4年度土木学会全国大会第77回年次学術講演会. 2022年9月16日.
- C-13 野原大督・佐藤嘉展\*・角哲也. 150年連続気候実験データを用いた積雪地域におけるダム季節運用への気候変動の影響評価. 第67回水工学講演会. 2022年11月23日.
- D-1 佐藤嘉展\*. 木曾三川における流況シミュレーションのモデル化及び評価. 令和4年度研究成果報告書. 名古屋市上下水道局. 2023年3月.

#### 地域環境整備学教育分野 (Laboratory of Rural Resource Management for Environmental Preservation)

- A-1 Akça E, Nagano T, Kume T\*, Zucca C, Kapur S. Traditional land use systems' potential as the framework for soil organic carbon plans and policies. *Plans and Policies for Soil Organic Carbon Management in Agriculture*. 59-93. 2022.
- B1-1 治多伸介\*・服部俊宏・牧山正男・九鬼康彰・中島正裕・遠藤和子・堀畑正純. 農村計画および農村整備における科学・技術の発展と展望. *農業農村工学会誌 (水土の知)*. 90: 849-854. 2022.
- B1-2 藤川智紀・中野拓治・大澤和敏・久米崇\*・中村真也. 農地保全研究の歩みと今後の展望. *水土の知. 農業農村工学会誌*. 90: 783-788. 2022.
- B2-1 中野拓治・李雨桐・山岡賢・治多伸介\*. 農業集落排水処理水の灌漑利用からみた連続流入間欠ばつ気活性汚泥法の運転管理. *水環境学会誌*. 46: 21-33. 2023.
- B2-2 久米崇\*・稲田唯花・嶋村鉄也・治多伸介\*. NaCl を添加した水田土壌におけるワサビノキの耐塩性評価. *農業農村工学会論文集*. 91: 49-56. 2023.
- B2-3 久米崇\*・鈴木芽偉・嶋村鉄也・治多伸介\*. 原料と焼成条件の異なるバイオ炭の性質と塩類土壌への施用が耐塩性作物の成長へ与える影響. *農業農村工学会論文集*. 91: 39-47. 2023.
- C-1 村田遼馬\*・治多伸介\*. 水田の硫黄欠乏に対する農業集落排水施設の処理水の有用性. 第77回農業農村工学会中国四国支部講演会講演要旨集. オンライン開催. 2022年12月.
- C-2 久米崇\*・稲田唯花・治多伸介\*. 水田土壌におけるワサビノキの耐塩性評価と根の伸長による土壌透水性の改良効果. 第71回農業農村工学会大会講演会講演要旨集. 85-86. 金沢市. 2022年8月.
- C-3 Takashi Kume\*. International Research Collaboration. Workshop on Curriculum Development and Research Counterparts in Environmental Study. Asian Development Bank. Vientiane, Laos. December, 2022.
- C-4 Takashi Kume\*, Chuleemas Boonthai Iwai, Tetsuya Shimamura, Shinsuke Haruta\*. Growth and mineral uptake of *Moringa oleifera* Lam. in low-permeability soils at different salinity levels. The 14th International Conference on Environmental and Rural Development. Book of Abstracts. 52. Siem Reap, Cambodia. 3-5 March, 2023.
- C-5 Ubukata F, Matsuda H, Boonthai Iwai C, Kume T\*, Yamamoto T. A resource or a toxin? Social process of soil salinization and local inland salt production in Khon Kaen, Thailand. The 14th ICERD. Siem Reap, Cambodia. 3-5 March, 2023.
- D-1 治多伸介\*. 令和4年度受託研究「農業集落排水処理水の再利用並びに森川・三秋川の現況水質に関する調査・研究」業務報告書. 2023年3月.
- D-2 治多伸介\*. 令和4年度共同研究「膜処理浄水装置の機能低下に繋がる原水溶存成分の集水域における発生原因と対策の解明」業務報告書. 2023年3月.
- D-3 久米崇\*. 塩類の起源に迫る ―農地が汗をかくと塩を吹く―. 同位体環境学がえがく世界. 2023年版. ISBN 978-4-910834-17-7. 2023年3月.

#### 農村計画学教育分野 (Laboratory of Rural Planning)

- B2-1 武山絵美\*・金脇慶郎・吉元淳記\*. 野生動物の新規分布拡大地域において地域主体の捕獲体制はどのように構築できるのか―海を越えてイノシシが移入した愛媛県中島本島に着目して―. *農村計画学論文集*. 2: 17-26. 2022.
- B2-2 藤原千里・武山絵美\*. 農振農用地区域における非農地通知制度運用の阻害要因―愛媛県全20自治体を対象としたアンケート調査結果より―. *農業農村工学会論文集*. 315: I\_299-I\_308. 2022.

- B2-3 武山絵美\*・服部俊宏・山下良平. 農林業センサスの農業集落単位による愛媛県臨海エリアの地域特性に関する基礎的研究. 農村計画学会論文集. 2: 62-68. 2022.
- B2-4 西原杏華・武山絵美\*. 集塊性・連結性分析に基づくイノシシ生息地孤立化手法の広域スケールへの適用. 愛媛大学農学部紀要. 67: 52-57. 2022.
- B2-5 久保田彩水\*・武山絵美\*・東出大志・濱野博幸・政本泰幸・笹山新生・高木俊・横山真弓・小林範之. 移入後 10 年が経過した島嶼におけるイノシシの生息実態—愛媛県松山市二神島を対象として—. 農村計画学会論文集. 3: 9-18. 2023.
- C-1 平石カムイ\*・武山絵美\*・小林範之. ため池群を構成する各ため池の類型化と立地特性および管理実態. 令和 4 年度農業農村工学会大会講演会. 石川県地場産業振興センター. 金沢市. 2021 年 8 月.
- C-2 古川なつ実\*・武山絵美\*. 樹園地整備を可能にする計画立案プロセスデザイン要素の解明. 令和 4 年度農業農村工学会大会講演会. 石川県地場産業振興センター. 金沢市. 2021 年 8 月.
- C-3 指原豊・上加裕子・土井義典・大畑秀平・六車浩二・有馬誠一・武山絵美\*・小林範之. 急傾斜地小型ロボット農業システムの開発—走行ユニット安定化のための重心制御機構—. 第 80 回農業食料工学会年次大会. オンライン. 2022 年 9 月.
- C-4 六車浩二・上加裕子・指原豊・大畑秀平・有馬誠一・武山絵美\*・小林範之. 急傾斜地小型農業ロボットシステムの開発—音源定位を利用した人追従アルゴリズムの実装—. 第 80 回農業食料工学会年次大会. オンライン. 2022 年 9 月.
- C-5 武山絵美\*. 被害および捕獲データ収集集の実態—どうすれば正確なデータが集まるのか—. 「野生生物と社会」学会第 27 回大会. 酪農学園大学. 江別市. 2022 年 10 月.
- C-6 吉元淳記\*・武山絵美\*・横山真弓. イノシシの捕獲個体情報を捕獲戦略の立案に活かす. 「野生生物と社会」学会第 27 回大会. 酪農学園大学. 江別市. 2022 年 10 月.
- C-7 久保田彩水\*・武山絵美\*・行長啓三・小林範之. ノートリアによる農業用水路の利用・損壊現象と被害対策の実態解明. 2022 年度農村計画学会秋期大会学術研究発表会. 愛媛大学. 松山市. 2022 年 12 月.
- C-8 中村百花・服部俊宏・武山絵美\*・山下良平. 農地面積変化を中心とした臨海集落の特徴—愛媛県・長崎県を事例として—. 2022 年度農村計画学会秋期大会学術研究発表会. 愛媛大学. 松山市. 2022 年 12 月.
- D-1 武山絵美\*. 新規分布拡大地域における捕獲対策の効果検証, 独立行政法人環境再生保全機構環境研究総合推進費 4G-2001 「イノシシの個体数密度および CSF 感染状況の簡易モニタリング手法の開発」. 成果報告集: 9-18. 2023. オンライン公開. URL: <https://www.hitohaku.jp/shizenken/news/c04db4eec8df2cc6e148cd286f5e2b003427c7b5.pdf>.
- D-2 武山絵美\*. 海を越えて生息拡大したイノシシにどのように対応していくか? 独立行政法人環境再生保全機構・環境研究総合推進費 4G-2001 「イノシシの個体数密度および CSF 感染状況の簡易モニタリング手法の開発」研究成果報告会『イノシシと豚熱(CSF)の新たなモニタリングと管理の手法』. オンライン. 2023 年 3 月.

#### 地域防災学 (Laboratory of Engineering Mechanics for Disaster Prevention)

- B2-1 倉澤智樹\*・高橋仁太郎・前野一稀・鈴木麻里子・井上一哉. 琉球石灰岩帯水層を対象とした地下水流速と間隙率の評価. 地下水学会誌. 64: 189-200. 2022.
- B2-2 倉澤智樹\*・高橋仁太郎・稲口知花・鈴木麻里子・井上一哉. 単孔式希釈試験による石灰岩帯水層のパラメータ推定と群知能の適用性評価. 土木学会論文集 B1 (水工学). 78: I\_775-780. 2022.
- B2-3 Kurasawa T\*, Takahashi Y, Suzuki M, Inoue, K. Laboratory flushing tests of dissolved contaminants in heterogeneous porous media with low-conductivity zones. *Water, Air, and Soil Pollution*. 234: 240. 2023.
- D-1 倉澤智樹\*. 技術者から研究者へ. 日本地下水学会 2022 年若手交流会. ハイブリッド開催. 2022 年 5 月.
- D-2 倉澤智樹\*. 低透水領域に保持された物質の回収効率向上に向けた基礎的研究. 一般社団法人環境地

生物環境保全学専門教育コース (Department of Environmental Conservation)

生態系保全学教育分野 (Laboratory of Ecosystem Conservation)

- B2-1 Takeuchi I\*, Gushi M\*, Das RR, Yamashiro H. Spawning record of hermatypic coral *Acropora digitifera* documented by the action camera at one-minute interval. *Plankton and Benthos Research*. 17: 178-184. 2022.
- B2-2 Takeuchi I\*, Mizuguchi M\*, Ishibashi H\*, Takayama K, Yamashiro H. Upper thermal tolerance of hermatypic coral *Acropora digitifera* collected from Sesoko Island, southern Japan, based on a laboratory experiment. *Fisheries Science*. 89: 181-189. 2023.
- B2-3 Uchida M, Addai-Arhin S, Ishibashi H\*, Hirano M, Fukushima S, Ishibashi Y, Tominaga N, Arizono K. Developmental toxicity and transcriptome analysis of equine estrogens in developing medaka (*Oryzias latipes*) using nanosecond pulsed electric field incorporation. *Comparative Biochemistry and Physiology Part C: Toxicology and Pharmacology*. 266: 109547. 2023.
- B2-4 Chen X, Hirano M, Ishibashi H\*, Lee JS, Kawai YK, Kubota A. Efficient in vivo and in silico assessments of antiandrogenic potential in zebrafish. *Comparative Biochemistry and Physiology Part C: Toxicology and Pharmacology*. 264: 109513. 2023.
- C-1 豊久志朗・藤原尚美・野中信一・宮後靖浩・森岡あゆみ・石橋弘志\*・為,田一雄・樋口壯太郎. 最終処分場浸出水原水に対するバイオアッセイの適用研究. 福岡大学産学官連携研究機関資源循環・環境制御システム研究所令和3年度研究成果発表会. 2022年6月.
- C-2 藤原尚美・豊久志朗・野中信一・中嶋友希子・石橋弘志\*・為,田一雄・樋口壯太郎. バイオアッセイを用いた複数の最終処分場浸出水の各処理工程水評価の研究. 福岡大学産学官連携研究機関資源循環・環境制御システム研究所令和3年度研究成果発表会. 2022年6月.
- C-3 Lee JS, Matsumoto K, Kawai Y, Ishibashi H\*, Kubota A. Morphological and transcriptome analyses of perfluorinated alkyl substances in zebrafish embryos towards understanding of developmental toxicity and its mechanism. 環境化学物質3学会合同大会. 富山. 2022年6月.
- C-4 石橋弘志\*・平野将司・岩田久人. 新興およびレガシーPFASのバイカルアザラシPPAR $\alpha$ 結合親和性の*in silico*予測. 環境化学物質3学会合同大会. 富山. 2022年6月.
- C-5 伊藤健登・藤森崇・塩田憲司・松神秀徳・高岡昌輝・高橋真・石橋弘志\*. 燃焼イオンクロマトグラフィーを用いた底質中有機フッ素の測定に向けた試み. 環境化学物質3学会合同大会. 富山. 2022年6月.
- C-6 池尾拓馬・高橋真・水川葉月・高須賀智奈美・Ahn HQ・石橋弘志\*・加三千宣. 別府湾および大阪湾の底質柱状試料を用いたPFAS汚染の時系列評価. 環境化学物質3学会合同大会. 富山.
- C-7 高橋真・Ahn HQ・田口雄一朗・青野大地・石井晃太郎・Falahudin D・池尾拓馬・高須賀智奈美・渡邊功・水川葉月・加三千宣・石橋弘志\*. 大阪湾および別府湾の底質柱状試料を用いたレガシー&新興POPs汚染の時系列評価. 環境化学物質3学会合同大会. 富山. 2022年6月.
- C-8 Hirano M, Uchida M, Tominaga N, Arizono A, Ishibashi H\*. Transcriptome analysis of ecdysteroid signaling pathway in the estuarine mysid *Americamysis bahia*. 環境化学物質3学会合同大会. 富山. 2022年6月.
- C-9 Hirano M, Uchida M, Kobayashi J, Ishibashi H\*. RNA-seq analysis of the digestive gland transcriptome in mussel treated with naturally occurring 1,3,7-tribromodibenzo-*p*-dioxin. 環境化学物質3学会合同大会. 富山. 2022年6月.
- C-10 内田雅也・石橋弘志\*・平野将司・水川葉月・松尾楓・富永伸明・有菌幸司. 汽水域における農薬類

の汚染実態と甲殻類を用いた環境リスク評価. 環境化学物質 3 学会合同大会. 富山. 2022 年 6 月.

- C-11 Lee JS, Matsumoto K, Kawai Y, Ishibashi H\*, Kubota A. Mechanistic investigation on developmental toxicity caused by perfluorinated alkyl substances in zebrafish embryos. 第 49 回日本毒性学会学術年会. 2022 年 7 月.
- C-12 豊久志朗・藤原尚美・野中信一・中嶋友希子・宮後靖浩・森岡あゆみ・平野豊・臼井裕幸・石橋弘志\*・樋口壮太郎・為,田一雄・佐藤研一. 浸出水原水モニタリングへのバイオアッセイ適用研究 (その 2). 第 33 回廃棄物資源循環学会研究発表会. 宮崎. 2022 年 9 月.
- C-13 Ito K, Fujimori T, Shiota K, Matsukami H, Takaoka M, Takahashi S, Ishibashi H\*. The study of recovery and reproducibility of extractable organofluorine in sediment samples using uncustomed combustion ion chromatography. Dioxin 2022 - 42nd International Symposium on Halogenated Persistent Organic Pollutants. New Orleans, USA. Oct, 2022.
- C-14 平野将司・小林淳・内田雅也・有菌幸司・石橋弘志\*. 有明海の魚介類における臭素化ダイオキシン類の分析とイガイへの影響評価. 日本食品衛生学会第 118 回学術講演会. 長崎. 2022 年 11 月.
- C-15 石橋弘志\*・西村紗織里\*・田中こころ\*・治多伸介・高山弘太郎・山城秀之・竹内一郎\*. 環境中で検出される日焼け止め成分オキシベンズンはウスエダミドリイシ *Acropora tenuis* の光合成収率や遺伝子発現に影響するのか? 日本サンゴ礁学会第 24 回大会. 沖縄. 2022 年 11 月.
- C-16 Kubota A, Lee JS, Matsumoto K, Ishibashi H\*, Kawai Y. Developmental toxicity and gene expression changes posed by perfluoroalkyl substances in zebrafish. 6th Chemical Hazard Symposium. Hokkaido/Online, Japan. Jan, 2023.
- C-17 内田雅也・河野碧颯・平野将司・水川葉月・有菌幸司・富永伸明・石橋弘志\*. ジノテフランの海産甲殻類アミに対する慢性影響. 第 57 回日本水環境学会年会. 愛媛. 2023 年 3 月.
- C-18 林拳士朗・内田雅也・富永伸明・有菌幸司・石橋弘志\*. 日焼け止め成分の海産甲殻類アミに対する急性毒性影響. 第 57 回日本水環境学会年会. 愛媛. 2023 年 3 月.
- D-1 石橋弘志\*. 水圏化学汚染の生態毒性研究から海の豊かさを守る. 愛媛大学大学院農学研究科 SDGs シンポジウム「持続可能な化学物質管理に向けた環境計測・生態毒性研究の最前線」. 愛媛. 2022 年 11 月.
- D-2 石橋弘志\*. 農業と環境の共生を目指す先端研究. 第 2 回えひめの食農の未来とイノベーションシンポジウム 2022. 愛媛. 2022 年 12 月.
- D-3 竹内一郎\*. 海面上昇に対応した浅海域の環境保全, 特に, カキ礁の再構築. 第 19 回環境先端技術セミナー「気候変動に対応した環境保全技術」. オンライン開催. 2023 年 3 月.
- D-4 石橋弘志\*. PFAS 汚染を問う: 次世代型有機フッ素化合物の検出とメカニズムの探究. 科学. 92 : 484-487. 2022.

#### 水族保全学 (Laboratory of Fish Conservation)

- B2-1 高木基裕\*・山下知聡\*. 愛媛県御荘湾における絶滅危惧貝類ドロアワモチの分布様式. 水生動物. AA2022-7. 2022.
- B2-2 高木基裕\*・木村真\*・坂口秀雄. 飼育下におけるマダコの交接行動と複数父性. 水産増殖. 70 : 131-140. 2022.
- C-1 高木基裕\*・青木萌子\*・佐藤琢・菅谷琢磨. クルマエビ育成期の飼育密度および給餌間隔の影響. 令和 4 度日本水産学会秋季大会. 講演要旨集 : 25. 2022 年 9 月.
- C-2 高木基裕\*・三浦天伸\*. 胎生魚ウミタナゴの飼育下での出産. 令和 4 度日本水産学会秋季大会. 講演要旨集 : 12. 2022 年 9 月.
- C-3 澤山英太郎・田内哲平・山崎藤子・藤原成晴・高木基裕\*. マダイの系統識別を目的とした一塩基パネルの開発. 令和 4 度日本水産学会秋季大会. 講演要旨集 : 20. 2022 年 9 月.
- C-4 藤原成晴・田内哲平・山崎藤子・高木基裕\*・澤山英太郎. 日本近海に生息するマダイの集団遺伝構造. 令和 5 度日本水産学会春季大会. 講演要旨集 : 71. 2023 年 3 月.

- D-1 高木基裕\*. 絶滅危惧貝類ドロアワモチの生息環境・生態および分類に関する研究. 日本学術振興会. 2022.
- D-2 高木基裕\*. クルマエビの耐病性品種の育成と管理に関する技術開発報告書. 農林水産省. 2022.
- D-3 高木基裕\*. 令和4年度漁場環境改善事業 愛南町沿岸海域の漁場環境改善に係る研究開発受託成果報告書. 愛南町. 2022.

#### 水族繁殖生理学研究室 (Laboratory of Fish Reproductive Physiology)

- A-1 三浦猛\*. 第6章第2節「飼料としての昆虫の機能性と今後の展望」. 情報機構編 代替タンパク質の現状と社会実装へ向けた取り組み. 情報機構. 228-237.
- B1-1 三浦猛\*・大津有稀\*・三浦智恵美\*・三浦仁嗣. 絶食によるマダイ養殖の効率化. アクアネット. 25: 22-27.
- B2-1 Fukada H, Yabuki H, Miura C\*, Miura T\*, Kato K. Regulation of lipid metabolism by water temperature and photoperiod in yellowtail *Seriola quinqueradiata*. *Fisheries Science*. 89: 191-202. 2023.
- B2-2 Ido A, Miura T\*. Species identification in fish meal from urban fisheries biomass with DNA metabarcoding analysis. *Aquaculture, Fish and Fisheries*. 2: 562-571. 2022.
- B2-3 Mita M, Osugi T, Kawada T, Satake H, Katayama H, Kitamura T, Miura T\*, Miura C\*. Characterization and localization of relaxin-like gonad-stimulating peptide in the crown-of-thorns starfish, *Acanthaster cf. solaris*. *General and Comparative Endocrinology*. 328: 114107. 2022.
- B2-4 Ali MFZ\*, Nakahara S, Otsu Y\*, Ido A, Miura C\*, Miura T\*. Effects of functional polysaccharide from silkworm as an immunostimulant on transcriptional profiling and disease resistance in fish. *Journal of Insects as Food Feed*. 8: 1221-1233. 2022.
- B2-5 喜多村鷹也\*・岩井俊治\*・重松佑依\*・三浦智恵美\*・三浦猛\*. 四国西南部におけるサンゴ食巻貝の大発生と近年の発生状況. 保全生態学研究. 27: 247. 2022.
- C-1 大津有稀\*・Ali MFZ\*・三浦智恵美\*・三浦仁嗣・清水徹・松本隆盛・三浦猛\*. 絶食により誘導される魚類の成長加速とその分子メカニズム. 日本動物学会第93回大会. 東京. 2022年9月.
- C-2 三浦智恵美\*・梶本恭平・加藤隆史・田辺匠太郎・三浦猛\*. 魚類の成長促進因子の探索とその作用機序の解析. 日本動物学会第93回大会. 東京. 2022年9月.
- C-3 三浦猛\*・大津有稀\*・Ali MFZ\*・三浦智恵美\*. カイコに含まれる多糖類が魚類の高温耐性を向上させる. 日本動物学会第93回大会. 東京. 2022年9月.
- C-4 三田雅敏・大杉知裕・川田剛士・佐竹炎・片山秀和・喜多村鷹也・三浦猛\*・三浦智恵美\*. オニヒトデのリラキシン様生殖腺刺激ペプチドについて. 日本動物学会第93回大会. 東京. 2022年9月.
- C-5 三浦猛. 新しい食資源ー昆虫の道なる機能性ー. 日本農芸化学会四国支部第44回市民フォーラム. 愛媛. 2022年11月.
- C-6 三浦猛\*・井戸篤史\*・三浦智恵美\*. 昆虫の水産養殖への利用: 飼料原料としての利用と機能性の利用. 第67回応用動物昆虫学会大会. 大阪. 2023年3月.
- C-7 三浦猛\*. 昆虫飼料の魚介類に対する生理学的機能とその利用. 令和5年度日本水産学会春季大会シンポジウム. 東京. 2023年3月.
- C-8 西口陽基\*・Ali MFZ\*・三浦猛\*. アメリカミズアブ由来多糖: ディプテロースの魚類に対する耐病性向上効果. 令和5年度日本水産学会大会春季大会. 東京. 2023年3月.

#### 海洋分子生態学教育分野 (Laboratory of Marine Molecular Ecology)

- B2-1 Kenmochi A, Matsuura H, Yoshikawa T, Sohrin R, Obayashi Y\*, Nishikawa J. Seasonal abundance of marine cladocerans in the offshore waters of Suruga Bay, Japan. *Plankton and Benthos Research*. 17: 57-65. 2022.
- B2-2 Kobayashi K, Nauny P, Takano Y, Honma C, Kurizuka T, Ishikawa Y, Yogosawa S, Obayashi Y\*, Kaneko T, Kebukawa Y, Mita H, Ogawa M, Enya K, Yoshimura Y, McKay CP. Biomarkers in the Atacama Desert along the moisture gradient and the depth in the hyperarid zone: Phosphatase activity as trace of microbial

activity. *International Journal of Astrobiology*. 21: 329-351. 2022.

- C-1 濱崎恒二・黄燦・高見英人・小林陽子・Wong Shu-Kuan・関口俊男・大林由美子\*・岩田歩・岩本洋子. 海表面マイクロ層・海水泡沫・エアロゾルの微生物動態—九十九湾における集中観測と「波の花」の解析—. 2022年度日本海洋学会秋季大会. 名古屋市. オンライン (ハイブリッド). 2022年9月.
- C-2 増井和樹・宗林留美・西川淳・松浦弘行・吉川尚・大林由美子\*. 海洋細菌による難分解性オリゴ糖の生産の検証. 2022年度日本海洋学会秋季大会. 名古屋市. オンライン (ハイブリッド). 2022年9月.
- C-3 相田奈々・池上輝・吉川尚・松浦弘行・西川淳・宗林留美・大林由美子\*. 駿河湾における植物プランクトン群集構造の経時変動. 2022年度日本海洋学会秋季大会. 名古屋市. オンライン (ハイブリッド). 2022年9月.
- C-4 剣持瑛行・平井惇也・吉川尚・大林由美子\*・西川淳. 駿河湾沖合域に大量出現する海産枝角類の食物網における役割: 安定同位体比解析とメタバーコーディング食性解析によるアプローチ. 2022年日本プランクトン学会・日本ベントス学会合同大会. オンライン. 2022年9月.
- C-5 大林由美子\*. 北太平洋亜熱帯域と亜寒帯域の微生物群集の生きざま: 有機物と温度の効果. 北海道大学低温科学研究所共同研究集会 亜寒帯-亜熱帯域含めた日本周辺の海洋環境科学の統合的理解. 札幌市. オンライン (ハイブリッド). 2022年11月.
- C-6 高尾祥丈・山本哲史・中村兼蔵・和田良太・大林由美子\*. 両極性ラビリンチュラ Amphifilidae 科の原生生物の分離. 第7回ラビリンチュラシンポジウム. 福井県小浜市. 2022年12月.
- C-7 大林由美子\*. 「波の花」から探る大気海洋境界の生物地球化学. 寒冷圏大気-海洋間の生物地球化学的相互作用に関する研究集会. 札幌市. オンライン (ハイブリッド). 2023年2月.
- C-8 渡邊里帆・大林由美子\*・北村真一. ヒラメ養殖場近海の底泥からのスクーチカ症原因繊維毛虫 *Miamiensis avidus* の検出. 神奈川県藤沢市. 2023年3月.
- D-1 轡田邦夫・市川洋・渡部裕美・須賀利雄・柏野祐二・藤井直紀・安中さやか・道田豊・大林由美子\*・今宮則子. ライブ配信企画「世界の海をめぐる流れと私たちの生活」出展報告. JOS ニュースレター. 12: 11. 2022.
- D-2 安中さやか・酒井秋絵・大林由美子\*・川合美千代・野口真希・伊藤進一. 「女子中高生夏の学校 2022 ~科学・技術・人との出会い~」参加報告. JOS ニュースレター. 12: 12. 2022.

#### 水圏・土壌環境学教育分野 (Aquatic & Soil Environmental Science Laboratory)

- B2-1 Fukugaichi S\*, Mayasari E\*, Johan S\*, Matsue N\*. One-step preparation of lignocellulose from *Musa* bajoo pseudo-stem. *Chemical Papers*. 2023.
- B-2 Yoda K, Takagi T, Koito T, Okai M, Makita H, Mitsunobu S\*, Yoshida T, Inoue K. Heterologous expression and functional characterization of cysteamine dioxygenase from the deep-sea mussel *Bathymodiolus septemdierum*. *Fisheries Science*. 89:1-11. 2023.
- B-3 Johan E\*, Fernando VAA, Sadia S\*, Mitsunobu S\*, Hirai S\*, Matsue N\*. A new tool for disinfecting household drinking water for rural residents: protonated mordenite-embedded sheet. *Journal of Water, Sanitation and Hygiene for Development*. 12: 271-277. 2022.
- C-1 Hamamura N, Kashima H, Mitsunobu S\*. Characterization of electroactive microorganisms associated with stibnite mine wastewater. 2022 Goldschmidt Conference. Hawaii (USA). July, 2022.
- D-1 光延聖\*・和穎朗太. N<sub>2</sub>O 消去用団粒資材及びその製造方法. 特願 2022-197147. 2022年12月出願.

#### 環境産業科学教育分野 (Environmental Science for Industry)

- C-1 中島舞・水川葉月・川嶋文人\*・岡本みなみ\*・横山望・池中良徳・高橋真. 膜ろ過精製法を用いたハウスダスト中家庭用薬剤等の曝露実態解明とリスク評価. 第30回環境化学討論会. 富山. 2022年6月.

- C-2 堤智昭・足立梨華・川嶋文人\*・山本一樹・上田祐子・高附巧・穂山浩. 自動前処理装置を用いた肉類及び卵類中のダイオキシン類分析の検討. 第30回環境化学討論会. 富山. 2022年6月.
- C-3 牧野崇伯・石坂閣啓・吉田良二・堀尾郁夫・川嶋文人\*. パッシブサンプリングによる愛媛県における学校環境の室内空気調査. 第30回環境化学討論会. 富山. 2022年6月.
- C-4 Derosya V\*・Kawashima A\*. スターチ, セルロース混合物からの 5-(hydroxymethyl)furfural のワンポット合成法. 第31回日本エネルギー学会大会. 東京. ハイブリッド. 2022年8月.
- C-5 駒場啓祐・大河内博・鈴木美成・川嶋文人\*. 都市大気中および雨水中農薬の実態解明と個人暴露評価のためのウェアブルサンプラーの開発. 第63回大気環境学会年会. 境. 2022年9月.
- C-6 清家伸康・川嶋文人\*. 膜ろ過を利用した農作物中クロピラリドの精製. 第45回農薬残留分析研究会. 香川. ハイブリッド. 2022年11月.
- C-7 石坂閣啓・川嶋文人\*. パッシブサンプリングによる新築住宅空気中の $\alpha$ -ピネン濃度調査. 2022年室内環境学会学術大会. 東京. 2022年12月.
- C-8 中島舞・水川葉月・横山望・池中良徳・野見山桂・川嶋文人\*・岡本みなみ\*・高橋真. ハウスダストおよびペット血清中家庭用薬剤等の測定とリスク評価. 2022年室内環境学会学術大会. 東京. 2022年12月.
- C-9 Derosya V\*, Kawashima A.\* One-pot conversion of sago pith waste (SPW) into 5-hydroxymethyl furfural (HMF). International Postgraduate Conference for Energy Research. クアラルンプール. オンライン. 2022年12月.
- C-10 Nakajima M, Mizukawa H, Yokoyama N, Ikenaka Y, Nomiyama K, Kawashima A\*, Okamoto M\*, Takahashi S. ハウスダストおよびペット血清中家庭用薬剤等の曝露実態解明とリスク評価. 第6回ケミカルハザードシンポジウム. 札幌. ハイブリッド. 2023年1月.
- C-11 清家伸康・川嶋文人\*. 膜ろ過を利用した農作物中クロピラリドの精製. 第48回日本農薬学会. 東京. 2023年3月.
- D-1 高橋真・川嶋文人\*・石橋弘志. 有機フッ素化合物 PFAS の環境・食品分析と *in silico* 毒性予測. 令和4年愛媛大学大学院農学研究科・愛媛県農林水産研究所合同研修会. 松山. 2022年9月.
- D-2 石坂閣啓・牧野崇伯・吉田良二・堀尾郁夫・川嶋文人\*. パッシブサンプリングによる愛媛県における学校環境の室内空気調査. 室内環境「2002」. 25: 267-274. 2022.
- D-3 川嶋文人\*. 環境中化学物質の簡易迅速モニタリング. 愛媛大学大学院農学研究科 SDGs シンポジウム. 松山. オンライン. 2022年11月.
- D-4 川嶋文人\*. 膜ろ過精製を利用した残留農薬の簡易,迅速,一斉分析法の開発. 令和4年度衛生理化学分野研修会. オンライン. 2023年2月.

#### 環境計測学教育分野 (Laboratory of Environmental Analytical Chemistry)

- B1-1 Kuwae M, Finney BP, Shi Z, Sakaguchi A, Tsugeki N, Omori T, Agusa T, Suzuki Y, Yokoyama Y, Hinata H, Hatada Y, Inoue J, Matsuoka K, Shimada M, Takahara H, Takahashi S\*, Ueno D, Amano A, Tsutsumi J, Yamamoto M, Takemura K, Yamada K, Ikehara K, Haraguchi T, Tims S, Froehlich M, Fifield LK, Aze T, Sasa K, Takahashi T, Matsumura M, Tani Y, Leavitt PR, Doi H, Irino T, Moriya K, Hayashida A, Hirose K, Suzuki H, Saito Y. Beppu Bay, Japan, as a candidate Global Boundaries Stratotype Section and Point for an Anthropocene series. *The Anthropocene Review*. 10: 49-86. 2022.
- B1-2 Capela E Silva F, Sousa AC, Pastorinho MR, Mizukawa H\*, Ishizuka M. Editorial: animal poisoning and biomarkers of toxicity. *Frontiers in Veterinary Science*. 9: 891483-891483. 2022.
- B1-3 Hoang AQ, Tue NM, Tu MB, Suzuki G, Matsukami H, Tuyen LH, Viet PH, Kunisue T, Sakai SI, Takahashi S\*. A review on management practices, environmental impacts, and human exposure risks related to electrical and electronic waste in Vietnam: findings from case studies in informal e-waste recycling areas. *Environmental Geochemistry and Health*. 2022. doi: 10.1007/s10653-022-01408-4.

- B2-1 Suzuki G, Uchida N, Tuyen LH, Tanaka K, Matsukami H, Kunisue T, Takahashi S\*, Viet PH, Kuramochi H, Osako M. Mechanical recycling of plastic waste as a point source of microplastic pollution. *Environmental Pollution*. 303: 119114. 2022.
- B2-2 Tran LT, Kieu TC, Bui HM, Nguyen NT, Nguyen TTT, Nguyen DT, Nguyen TQ, Nguyen HTA, Le TH, Takahashi S\*, Tu MB, Hoang AQ. Polybrominated diphenyl ethers in indoor dusts from industrial factories, offices, and houses in northern Vietnam: Contamination characteristics and human exposure. *Environmental Geochemistry and Health*. 44: 2375-2388. 2022.
- B2-3 Hoang AQ, Karyu R, Tue NM, Goto A, Tuyen LH, Matsukami H, Suzuki G, Takahashi S\*, Viet PH, Kunisue T. Comprehensive characterization of halogenated flame retardants and organophosphate esters in settled dust from informal e-waste and end-of-life vehicle processing sites in Vietnam: Occurrence, source estimation, and risk assessment. *Environmental Pollution*. 310: 119809. 2022.
- B2-4 Matsukami H, Wannomai T, Uchida N, Tue NM, Hoang AQ, Tuyen LH, Viet PH, Takahashi S\*, Kunisue T, Suzuki G. Silicone wristband- and handwipe-based assessment of exposure to flame retardants for informal electronic-waste and end-of-life-vehicle recycling workers and their children in Vietnam. *Science of the Total Environment*. 853: 158669. 2022.
- B2-5 Hoang AQ, Duong HT, Trinh HT, Kadokami K, Takahashi S\*. Sediment contamination with polybrominated diphenyl ethers and alternative brominated flame retardants: case study in urban lakes of Hanoi, Vietnam. *Environmental Science and Pollution Research*. 30: 31436-31445. 2022.
- B2-6 Misaki K, Tue NM, Takamura-Enya T, Takigami H, Suzuki G, Tuyen LH, Takahashi S\*, Tanabe S. Antiandrogenic and estrogenic activity evaluation of oxygenated and nitrated polycyclic aromatic hydrocarbons using chemically activated luciferase expression assays. *International Journal of Environmental Research and Public Health*. 20: 80. 2022.
- B2-7 Nomiya K, Yamamoto Y, Eguchi A, Nishikawa H, Mizukawa H\*, Yokoyama N, Ichii O, Takiguchi M, Nakayama SMM, Ikenaka Y, Ishizuka M. Health impact assessment of pet cats caused by organohalogen contaminants by serum metabolomics and thyroid hormone analysis. *Science of the Total Environment*. 842: 156490. 2022.
- B2-8 Uno Y, Murayama N, Ijiri M, Kawaguchi H, Yamato O, Shiraishi M, Asano A, Teraoka H, Mizukawa H\*, Nakayama S.M.M, Ikenaka Y, Ishizuka M, Yamazaki H. Cytochrome P450 2J (CYP2J) genes in dogs, cats, and pigs are expressed and encode functional drug-metabolizing enzymes. *Drug Metabolism & Disposition*. 50: 1434-1441. 2022.
- B2-9 Ichii O, Oyamada K, Mizukawa H\*, Yokoyama N, Namba T, Otani Y, Elewa YHA, Sasaki N, Nakamura T, Kon Y. Ureteral morphology and pathology during urolithiasis in cats. *Research in Veterinary Science*. 151: 10-20. 2022.
- B2-10 Shimasaki M, Mizukawa H\*, Takaguchi K, Saengtienchai A, Ngamchirttakul A, Pencharee D, Khidkhan K, Ikenaka Y, Nakayama SMM, Ishizuka M, Nomiya K. Contamination status of pet cats in Thailand with organohalogen compounds (OHCs) and their hydroxylated and methoxylated derivatives and estimation of sources of exposure to these contaminants. *Animals*. 12: 3520. 2022.
- B2-11 Kawashima Y, Onishi Y, Tatarazako N\*, Yamamoto H, Koshio M, Oka T, Horie Y, Watanabe H, Nakamoto T, Yamamoto J, Ishikawa H, Sato T, Yamazaki K, Iguchi T. Summary of 17 chemicals evaluated by OECD TG229 using Japanese Medaka, *Oryzias latipes* in EXTEND 2016. *Journal of Applied Toxicology*. 42: 750-777. 2022.
- B2-12 Toyota K, Yasugi M, Tatarazako N\*, Iguchi T, Watanabe E. Laterally biased diffusion of males of the water flea *Daphnia magna*. *Journal of Experimental Zoology Part A*. 337: 626-638. 2022.

- B2-13 Horie Y, Kanazawa N, Takahashi C, Tatarazako N\*, Iguchi T. Gonadal soma-derived factor expression is a potential biomarker for predicting the effects of endocrine-disrupting chemicals on gonadal differentiation in Japanese medaka (*Oryzias Latipes*). *Environmental Toxicology and Chemistry*. 41: 1875-1884. 2022.
- B2-14 Hoang AQ, Takahashi S\*, Tue NM, Tuyen LH, Tran TM, Yen NTH, Tu MB. Occurrence, emission sources, and risk assessment of polybrominated diphenyl ethers and current-use brominated flame retardants in settled dust from end-of-life vehicle processing, urban, and rural areas, northern Vietnam. *Environmental Science and Pollution Research*. 30: 2061-2074. 2023.
- B2-15 Duong HT, Kadokami K, Nguyen DT, Trinh HT, Doan NH, Mizukawa H\*, Takahashi S\*. Occurrence, potential sources, and risk assessment of pharmaceuticals and personal care products in atmospheric particulate matter in Hanoi, Vietnam. *Environmental Science and Pollution Research*. 30: 34814-34826. 2023.
- B2-16 Falahudin D\*, Hukom FD, Arifin Z, Dirhamsyah D, Peristiwady T, Sudaryanto A, Iwata M, Hoang AQ, Watanabe I\*, Takahashi S\*. First insight into accumulation of characteristics and tissue distribution of PCBs, PBDEs, and other BFRs in the living Indonesian coelacanth (*Latimeria menadoensis*). *Environmental Science and Pollution Research*. 30: 49368-49380. 2023.
- B2-17 Kondo M, Ikenaka Y, Nakayama SMM, Kawai YK, Mizukawa H\*, Mitani Y, Nomyama K, Tanabe S, Ishizuka M. Sulfotransferases (SULTs), enzymatic and genetic variation in Carnivora: Limited sulfation capacity in pinnipeds. *Comparative Biochemistry and Physiology Part C: Toxicology & Pharmacology*. 263: 109476. 2023.
- B2-18 Khidkhan K, Mizukawa H\*, Ikenaka Y, Nakayama SMM, Nomiya K, Yokoyama N, Ichii O, Takiguchi M, Tanabe S, Ishizuka M. Biological effects related to exposure to polychlorinated biphenyl (PCB) and decabromodiphenyl ether (BDE-209) on cats. *PLOS ONE*. 18: e0277689. 2023.
- C-1 鑓迫典久\*. 新興化学物質の水生生物に対する悪影響について. 環境化学物質 3 学会合同公開シンポジウム. 要旨集 J-4. 富山市. 2022 年 6 月.
- C-2 Falahudin D\*, Arifin Z, Yogaswara D, Edward, Wulandari I, Sudaryanto A, Anh HQ, Takahashi S\*. A comprehensive investigation of persistent organic pollutants (POPs) in mangrove sediments from Bintan Island, Indonesia: Occurrence, profiles, spatial distribution, and ecological risk assessment. 環境化学物質 3 学会合同大会. 要旨集 TU-D2-1. 富山市. 2022 年 6 月.
- C-3 Falahudin D\*, Sekar MC, Hukom FD, Arifin Z, Edward, Yogaswara D, Wulandari I, Sudaryanto A, Anh HQ, Watanabe I\*, Takahashi S\*. Comprehensive assessment of persistent organic pollutants (POPs) in the blubber of short-finned pilot whales (*Globicephala macrorhynchus*) stranded along the coast of Savu Island, Indonesia. 環境化学物質 3 学会合同大会. 要旨集 TU-D2-2. 富山市. 2022 年 6 月.
- C-4 池尾拓馬\*・高橋真\*・水川葉月\*・高須賀智奈美\*・Ahn HQ・石橋弘志・加 三千宣. 別府湾および大阪湾の底質柱状試料を用いた PFAS 汚染の時系列評価. 環境化学物質 3 学会合同大会. 要旨集 WE-A4-1. 富山市. 2022 年 6 月.
- C-5 野見山 桂・佐藤楓夏・水川葉月\*・池中良徳・田上瑠美・横山 望・滝口満喜. 日本のペット動物における有機フッ素化合物の汚染実態. 環境化学物質 3 学会合同大会. 要旨集 WE-A4-5. 富山市. 2022 年 6 月.
- C-6 鈴木 剛・道中智恵子・Tuyen LH・田中厚資・宇智田奈津代・松神秀徳・国末達也・高橋 真\*・Viet PH・倉持秀敏・大迫政浩. マテリアルリサイクル施設で採取した再商品化製品(再生プラスチック・フレーク)の細胞アッセイによる影響指標評価. 環境化学物質 3 学会合同大会. 要旨集 WE-B4-1. 富山市. 2022 年 6 月.
- C-7 鑓迫典久\*・笠原晴海\*・世羅弥江子\*・高橋真\*・岡崎友紀代\*. マイクロプラスチックのベクター効果について. 環境化学物質 3 学会合同大会. 要旨集 WE-B4-5. 富山市. 2022 年 6 月.

- C-8 水川葉月\*・渡辺桃加\*・一瀬貴大・石塚真由美・池中良徳・中山翔太・高橋真\*。鳥類シナントロープ（ヒト生活圏近傍動物種）における POPs 蓄積と代謝特性の解明。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 WE-C3-1。富山市。2022 年 6 月。
- C-9 政木仁哉・藤森 崇・伊藤健登・高岡昌輝・福谷 哲・渡辺桃加\*・水川葉月\*・高橋真\*。野生のトビを対象にした抽出可能性有機塩素・臭素の時系列変化。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 WE-C3-4。富山市。2022 年 6 月。
- C-10 高橋真\*・Anh HQ・田口雄一朗\*・青野大地\*・石井晃太郎\*・Falahudin D\*・池尾拓馬\*・高須賀智奈美\*・渡邊 功\*・水川葉月\*・加 三千宣・石橋弘志。大阪湾および別府湾の底質柱状試料を用いたレガシー&新興 POPs 汚染の時系列評価。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 WE-C3-5。富山市。2022 年 6 月。
- C-11 伊藤健登・藤森 崇・福谷 哲・加 三千宣・Anh HQ・Falahudin D\*・高岡昌輝・高橋真\*。大阪湾底質コアを用いた有機塩素マスバランスの時系列変化。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 WE-C3-6。富山市。2022 年 6 月。
- C-12 中島 舞\*・水川葉月\*・川嶋文人・岡本みなみ・横山 望・池中良徳・高橋真\*。膜ろ過精製法を用いたハウスダスト中家庭用薬剤等の曝露実態解明とリスク評価。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 TH-B2-6。富山市。2022 年 6 月。
- C-13 伊藤健登・藤森 崇・塩田憲司・松神秀徳・高岡昌輝・高橋真\*・石橋弘志。燃焼イオンクロマトグラフィを用いた底質中有機フッ素の測定に向けた試み。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 P-12。富山市。2022 年 6 月。
- C-14 伊藤健登・藤森 崇・塩田憲司・福谷 哲・大下和徹・高岡昌輝・高橋真\*。中性子放射化分析における揮発性液体試料中塩素・臭素の測定方法の検討。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 P-13。富山市。2022 年 6 月。
- C-15 鈴木 剛・道中智恵子・Anh HQ\*・渡邊 功\*・加 三千宣・高橋真\*。別府湾底質柱状試料の AhR アゴニスト活性プロファイリング。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 P-90。富山市。2022 年 6 月。
- C-16 高橋真\*・嶽盛公昭・高菅卓三・Anh HQ\*・加 三千宣。別府湾底質柱状試料を用いたダイオキシン類縁化合物汚染の時系列評価。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 P-117。富山市。2022 年 6 月。
- C-17 内田雅也・石橋弘志・平野将司・水川葉月\*・松尾 楓・富永伸明・有菌幸司。汽水域における農薬類の汚染実態と甲殻類を用いた環境リスク評価。環境化学物質 3 学会合同大会。要旨集 P-122。富山市。2022 年 6 月。
- C-18 Nomiya K, Yamamoto Y, Eguchi A, Nishikawa H, Mizukawa H\*, Yokoyama N, Ichii O, Takiguchi M, Nakayama SMM, Ikenaka Y, Ishizuka M. 血清中メタボロミクスおよび甲状腺ホルモン分析による有機ハロゲン化合物曝露に伴うペットネコの健康影響評価。第 49 回日本毒性学会学術年会。要旨集 P-128。札幌市。2022 年 7 月。
- C-19 中島 舞\*・水川葉月\*・横山 望・池中良徳・野見山桂・川嶋文人・岡本みなみ・高橋真\*。ハウスダストおよびペット血清中家庭用薬剤等の測定とリスク評価。2022 年室内環境学会学術大会。要旨集 A-10。東京都。2022 年 12 月。
- C-20 Falahudin D\*, Arifin Z, Yogaswara D, Edward, Wulandari I, Dharmawan IWE, Sudaryanto A, Anh HQ, Takahashi S\*. インドネシア、ビンタン島のマングローブ林堆積物を対象とした微量有機汚染物質の包括的調査：物質分布・発生源解析と生態学的リスク評価。6th International Chemical Hazard Symposium 第 6 回環境化学討論会北海道東北地区部会・中国四国地区部会合同シンポジウム。札幌市。2023 年 1 月。
- C-21 Nakajima M\*, Mizukawa H\*, Yokoyama N, Ikenaka Y, Nomiya K, Kawashima A, Okamoto M, Takahashi S\*. ハウスダストおよびペット血清中家庭用薬剤等の曝露実態解明とリスク評価。6th International Chemical Hazard Symposium 第 6 回環境化学討論会北海道東北地区部会・中国四国地区部会合同シンポジウム。札幌市。2023 年 1 月。

- C-22 Ito K, Fujimori T, Fukutani S, Mizukawa H\*, Kunisue T, Takaoka M, Takahashi S\*. Comparison of the temporal trends of extractable organochlorine and organobromine in archive samples. 6th International Chemical Hazard Symposium 第6回環境化学討論会北海道東北地区部会・中国四国地区部会合同シンポジウム, 札幌市, 2023年1月.
- D-1 高橋真\*・国末達也. 特集「環境モニタリングからみる POPs 条約の成果と今後の課題」一斉網羅分析法による POPs および関連物質の環境モニタリングと今後の展望. 水環境学会誌. 321-325. 2022.
- D-2 高橋真\*・水川葉月\*. ミクロの世界の探求: 目に見えない“リスク”をはかる. 愛媛大学農学部高大連携企画. 愛媛大学農学部樽味キャンパス. 松山市. 2022年9月18日.
- D-3 高橋真\*. 化学物質利用の持続可能性と環境モニタリング. 愛媛大学大学院農学研究科 SDGs シンポジウム「持続可能な化学物質管理に向けた環境計測・生態毒性研究の最前線」. オンライン. 2022年11月29日.
- D-4 鏑迫典久\*. 持続可能な事業場排水の管理と環境影響. 愛媛大学大学院農学研究科 SDGs シンポジウム「持続可能な化学物質管理に向けた環境計測・生態毒性研究の最前線」. オンライン. 2022年11月29日.
- D-5 水川葉月\*. 室内の化学物質汚染から考える One health. 愛媛大学大学院農学研究科 SDGs シンポジウム「持続可能な化学物質管理に向けた環境計測・生態毒性研究の最前線」. オンライン. 2022年11月29日.
- D-6 高橋真\*. 地産地消によるカーボンニュートラルの達成～廃食用油等資源の高度活用. 愛媛大学大学院農学研究科附属環境先端技術センター第19回環境先端技術セミナー「気候変動に対応した環境保全技術」. オンライン. 2023年3月28日.

### バイオマス資源学コース (Course of Biomass Resources Science)

#### 紙産業教育分野 (Laboratory of New Paper Industry Program Center)

- A-1 内村浩美\*. 紙の化学. 木材学 (基礎編). 海青社. 209-216. 2023.
- B2-1 Fukugaichi S\*, Tomosugi Y, Aono H. Facile synthesis of hydrophilic layered double hydroxide film on aluminum plate. Inorganic Chemistry Communications. 142: 109647. 2022.
- B2-2 Takemoto T, Konagaya K, Kuramoto M, Fukugaichi S\*, Kondo N. Response of sweet pepper autofluorescence against solar radiation. Photochemical & Photobiological Sciences. 21: 2053-2060. 2022.
- B2-3 福垣内暁\*・丸山颯己・竹内久登・清水園子. 銅イオン担持ガラス繊維シートによる有害植物プランクトンの殺藻効果. 愛媛大学社会共創学部紀要. 6: 22-29. 2022.
- B2-4 Fukugaichi S\*, Mayasari E, Johan E, Matsue N. One-step preparation of lignocellulose nanofibers from Musa basjoo pseudo-stem. Chemical Papers. 2023.
- B2-5 Nomura Y, Koga K, Ohnishi K, Fukahori S\*, Fujiwara T. Inactivation of plant pathogenic bacterium *Ralstonia solanacearum* in drainage solution from hydroponic system by a rotating advanced oxidation contactor equipped with TiO<sub>2</sub>/zeolite composite sheet. Journal of Water Process Engineering. 48: 102936-102945. 2022.
- C-1 内村浩美\*・藪谷智規\*・瀧岡陽\*. 医療検査・診断用ペーパーデバイスの開発. 四国 CNF 展示会. 四国中央. 2022年10月.
- C-2 内村浩美\*・藪谷智規\*・伊藤弘和\*・秀野晃大\*・瀧岡陽\*・川之江造機株式会社. CNF 連続脱水技術の開発. ふじのくに CNF 総合展示会. 富士. 2022年11月.
- C-3 Yabutani T\*. Introduction of scientific activities with regard to nanomaterials and advanced composites in Paper Industry Innovation Center, Ehime University. 3rd International Conference on Nanomaterials and

Advanced Composites (NAC 2022). Tokushima, Japan. July 15-17, 2022.

- C-4 Yamada Y, Yabutani T\*. Development of recovery and separation methods for useful elements in groups 4, 5, and 6. 3rd International Conference on Nanomaterials and Advanced Composites (NAC 2022). Tokushima, Japan. July 15-17, 2022.
- C-5 山田洋平・薮谷智規\*. 過酸化水素水を抽出媒とするキレート樹脂及びランタン水酸化物共沈殿からの4, 5, 6族元素の溶離挙動の把握. 日本分析化学会第71回年会. 岡山. 2022年9月.
- C-6 薮谷智規\*. 「日本一の紙のまち」での産官学連携—紙製品開発と分析化学の関わり. 日本分析化学会第71年会. 岡山. 2022年9月.
- C-7 Fuchigami T, Goda K, Tanoue K, Ito H\*. Efficient utilization of palm oil residue as material / energy products. The 15th Biennial International Conference on ECO Balance. Fukuoka, Japan. November 1, 2022.
- C-8 Johan E, Fukugaichi S\*, Matsue N. A simple tool for removing pathogens from rural household water pots by adsorption. International Conference on sustainable environment, agriculture and tourism 2022. Online. July 21, 2022.
- C-9 丸山颯己・エルニジョハン・松枝直人・福垣内暁\*. Al基板上に形成されたMgAl型層状複水酸化物(LDH)の大腸菌除去. 第65回粘土科学討論会. 2022年9月8日.
- C-10 須賀悠介・竹山和宏・能浦崇太・青野宏通・福垣内暁\*. ステアリン酸挿入MgAl型LDH膜の短時間合成及びその特性. 公益社団法人日本セラミックス協会第35回秋季シンポジウム. 2022年9月.
- C-11 Mayasari E, Fukugaichi S\*, Johan E, Matsue N. Low-cost extraction of crude nanocellulose from musa basjoo using dilute alkaline. The 4th International Seminar on Sciences and Technology. November 3, 2022.
- C-12 能浦崇太・福垣内暁\*・北村憲彦. フッ素フリー粘土化法潤滑膜によるアルミニウム冷間鍛造潤滑剤の後方押出試験. 第73回塑性加工連合講演会. 2022年11月.
- C-13 Fujiwara T, Fukahori S\*, Nomura Y, Xiang Q. Development of a rotating advanced oxidation contactor with composite sheets: From idea to future perspectives. The 13th CESE Conference International Conference in Challenges in Environmental Science & Engineering (CESE-2022). November 27-December 1, 2022.
- C-14 國見悠真・井原賢・Sorn Sovannlaksmy・藤原拓・野村洋平・深堀秀史\*. 機能性シートによる青枯病菌 *Ralstonia solanacearum* の殺菌作用の評価. 第57回日本水環境学会年会. 松山. 2023年3月.
- C-15 埜康介・深堀秀史\*・岡本隆・曾我亘由・園田雅江. インターンシップ科目におけるルーブリック導入による教育効果の検証. 第29回大学教育研究フォーラム. オンライン. 2023年3月.
- C-16 Kataoka Y\*, Hideno A\*, Fukahori S\*, Uchimura H\*, Ito H\*. Recycled pulp/polyethylene composite material: preparation by different pulverizing methods and analysis of mechanical properties. 3rd International Conference on Nanomaterials and Advanced Composites (NAC 2022). Tokushima, Japan. July 15-17, 2022.
- C-17 潟岡陽\*・秀野晃大\*・深堀秀史\*・福垣内暁\*・薮谷智規\*・内村浩美\*・神原聖史・伊藤弘和\*. 異なる粉碎法によるリサイクルパルプ/ポリエチレン複合材料の機械的特性. 日本エネルギー学会第18回バイオマス科学会議. 前橋. ハイブリッド開催. 2022年12月.
- C-18 川原京佳・池田直人・松岡亜祐・大成奏子・秀野晃大\*・八塚愛実・藤谷美菜・岸田太郎. 河内晩柑果皮摂取はセルラーゼ処理の有無にかかわらずラットの肝臓中性脂肪量を減少させる. 第76回日本栄養・食糧学会大会. 神戸. 2022年6月.
- C-19 秀野晃大\*. 柑橘果皮 CNF の特徴と用途開発. 四国 CNF 展示会. 四国中央. 2022年10月.
- C-20 Hideno A\*, Ohta M, Suzuki S, Ariyoshi M, Yamada T. Making and characterizing paper mulch from *Miscanthus × giganteus*. 10th Asian Conference on Biomass Science (ACBS2022). Panyapiwat, Thailand (Online). November 25, 2022.
- C-21 横田大樹\*・秀野晃大\*. バイオマス分解酵素による改質 CNF 製シートの特性評価. 日本エネルギー学会第18回バイオマス科学会議. 前橋. ハイブリッド開催. 2022年12月.
- C-22 横川賀信・加藤舞・田之上健一郎・秀野晃大\*. 木質バイオマスの半炭化による燃料生成および特性評価. 日本エネルギー学会第18回バイオマス科学会議. 前橋. ハイブリッド開催. 2022年12月.

- D-1 西谷慎也・合田真二・内村浩美\*・薮谷智規\*・伊藤弘和\*・秀野晃大\*. 微細繊維シート製造装置. 特許 7156652. 2022 年 10 月 19 日登録.
- D-2 塩路世洋・内村浩美\*・薮谷智規\*・秀野晃大\*. セルロースナノファイバー含有シートおよびその製造方法. 特許第 7093920. 2022 年 6 月 23 日登録.
- D-3 酒井博文・内村浩美\*・薮谷智規\*. クロマトグラフ媒体及びその製造方法. 特許 7207719. 2023 年 1 月 10 日登録.
- D-4 日浅祥\*・内村浩美\*・薮谷智規\*. スルホン化パルプ繊維, 誘導体パルプ, スルホン化微細セルロース繊維, スルホン化微細セルロース繊維の製造方法およびスルホン化パルプ繊維の製造方法. 17/850,514. 2022 年 6 月 27 日出願.
- D-5 内村浩美\*. お札の技術とバイオマテリアルからの新製品開発. 香川県高等学校教育研究会理化部会. 善通寺. 2022 年 6 月.
- D-6 内村浩美\*. お札の技術と新たな紙製品開発の可能性. 四国中央市立新宮小中学校. 四国中央. 2022 年 6 月.
- D-7 内村浩美\*. 次世代素材『セルロースナノファイバー』の可能性と産業振興について. 四国中央市議会 議員研修会. 四国中央. 2022 年 7 月.
- D-8 内村浩美\*. ものづくり体験講座・紙産業を学ぼう. 四国中央市立三島南中学校. 四国中央. 2022 年 10 月.
- D-9 内村浩美\*. お札の技術と新たな紙製品開発の可能性. 香川県立観音寺第一高等学校サイエンスレクチャー. 観音寺. 2022 年 10 月.
- D-10 内村浩美\*. ものづくり体験講座・紙産業を学ぼう. 四国中央市立川之江北中学校. 四国中央. 2022 年 10 月.
- D-11 内村浩美\*. 愛媛県の紙産業の課題と紙産業イノベーションセンターの取組み～大学が地域産業の発展に果たす役割 紙産業の事例から～. 地域創生イノベーター育成プログラム. 西条. 2022 年 10 月.
- D-12 内村浩美\*. ものづくり体験講座・紙産業を学ぼう. 四国中央市立川之江南中学校. 四国中央. 2022 年 11 月.
- D-13 内村浩美\*. お札の技術と新しい紙の製品開発について. 愛媛県総合科学博物館講演会. 新居浜. 2023 年 1 月.
- D-14 内村浩美\*. お札の技術と新しい紙の製品開発について. 高松市立高松第一高等学校スーパーサイエンスハイスクール研究開発自然科学講演会. 高松. 2023 年 2 月.
- D-15 内村浩美\*. お札の技術と新たな紙製品開発の可能性. 鹿児島大学先端科学特別講義. 鹿児島. 2023 年 2 月.
- D-16 薮谷智規\*. 分光分析に関する体験講座. 愛媛県立三島高等学校課外授業. 四国中央. 2022 年 8 月.
- D-17 薮谷智規\*. 紙と化学の関わりについての講義. 四国中央市立新宮小中学校課外授業. 四国中央. 2022 年 11 月.
- D-18 内村浩美\*・伊藤弘和\*・木下尚樹・深堀秀史\*・瀧岡陽\*. 製紙スラッジ灰を活用した機能材料の開発. 愛媛県紙パルプ工業会総会. 2022 年 6 月.
- D-19 伊藤弘和\*・瀧岡陽\*. 快適な暮らしと地球環境～石油系資源使用量の削減～. 山口大学特別授業. 2022 年 6 月.
- D-20 伊藤弘和\*・瀧岡陽\*. セルロースナノファイバー～期待の新素材～. 岐阜県立岐阜高校最先端科学体験プログラム. 2022 年 6 月.
- D-21 伊藤弘和\*・瀧岡陽\*. プラスチックってどんなもの. 四国中央市立新宮小中学校課外授業. 四国中央. 2022 年 7 月.
- D-22 伊藤弘和\*・瀧岡陽\*. 紙から新しいイノベーション. 愛媛サイエンスセミナー. 松山工業高校. 2022 年 7 月.
- D-23 伊藤弘和\*. プラスチック製品のカーボンニュートラルに向けた古紙/プラスチック複合材料の技術開

- 発. 紙産業イノベーションセンター第7回シンポジウム. 2022年10月.
- D-24 伊藤弘和\*. セルロース系素材とプラスチックの複合化について. かがわ次世代ものづくり研究会第三回勉強会. 2022年12月.
- D-25 内村浩美\*・伊藤弘和\*・潟岡陽\*. CNF体験セミナー. 四国CNFプラットフォーム事業. 2022年12月.
- D-26 伊藤弘和\*. プラスチックは本当に悪者か～木とプラスチックのハイブリッド～. 社会共創学部出前授業. 2022年12月.
- D-27 福垣内暁\*. 芭蕉和紙による地方創生. 台日文化比較研究オンライン講演. 2022年11月.
- D-28 深堀秀史\*. 紙製品の機能と拡がり. 愛媛県立土居高等学校 出張講義. 四国中央. 2022年5月.
- D-29 深堀秀史\*. 働く紙づくりにチャレンジしてみよう. 四国中央市立新宮小中学校 課外授業. 四国中央. 2022年7月.
- D-30 深堀秀史\*. 水中の微量環境汚染物質の除去. 愛媛県立三島高等学校 課外授業. 四国中央. 2022年8月.
- D-31 深堀秀史\*. 化学の力できれいな水を作ろう! 観音寺第一高校「科学探究基礎」サイエンスレクチャー. 観音寺. 2022年10月.
- D-32 深堀秀史\*. 紙の機能と将来を考える. 愛媛県立土居高等学校出張講義. 四国中央. 2022年11月.
- D-33 潟岡陽\*. 天然繊維強化複合材料の力学的特性とその改善. 第7回繊維学会西部支部若手支部講演会～産学官で未来に繋ぐ地域の紙産業～. 2023年2月.
- D-34 秀野晃大\*. セルラーゼと遺伝子. 愛媛県立三島高等学校 課外授業. 四国中央. 2022年8月.
- D-35 秀野晃大\*. PCRとは? 紙を溶かす酵素の遺伝子を増やして確認してみよう. 四国中央市立新宮小中学校課外授業. 四国中央. 2022年11月.
- D-36 秀野晃大\*. バイオマス分解酵素を用いて地域資源からつくるCNFの特性と応用. 2022年度CNF人材育成講座(産総研)ミニワークショップ. ハイブリッド開催. 東広島(オンライン). 2022年12月.
- D-37 秀野晃大\*・伊藤弘和・毛利恵美子・吉村利夫. 第7回繊維学会西部支部若手講演会～産官学で未来に繋ぐ地域の紙産業～. ハイブリッド開催. 四国中央. 2023年2月.
- D-38 秀野晃大\*. 傍流から期待するセルロース科学の未来. Cellulose Communications. 30:14-15. 2023.